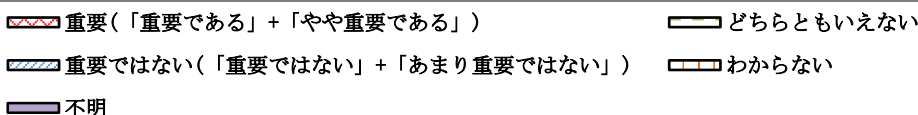


問2-1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。

(1) 重要度について

重要が7割強(72.1%)

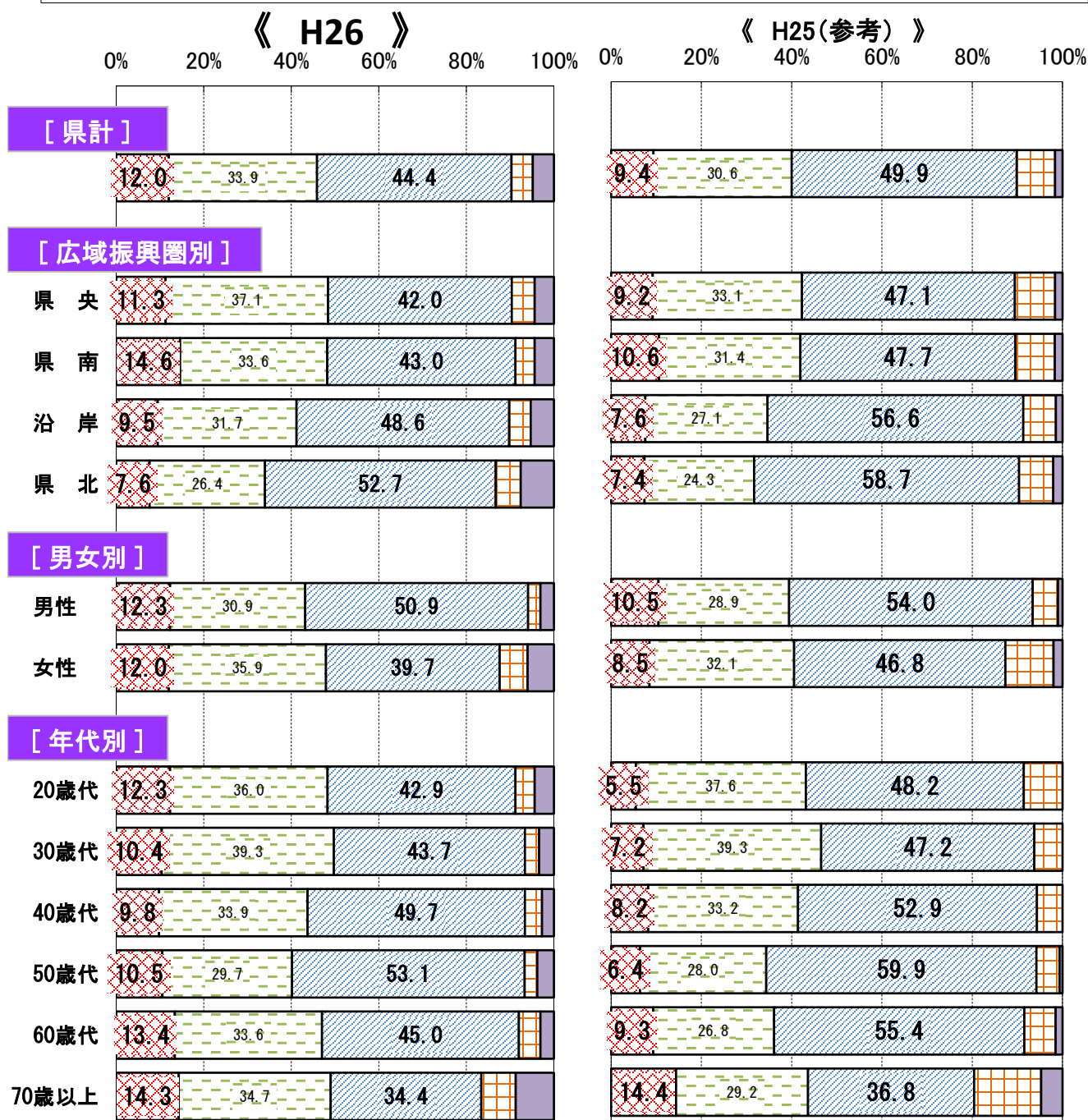
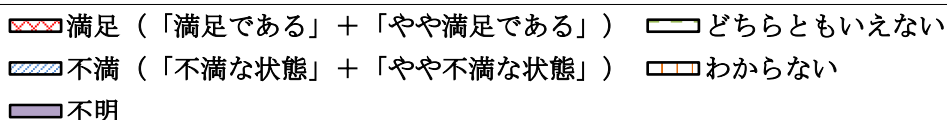
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が72.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の73.9%、最も低いのが県北の67.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が12.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合44.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(14.6%)、年代別では70歳以上(14.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

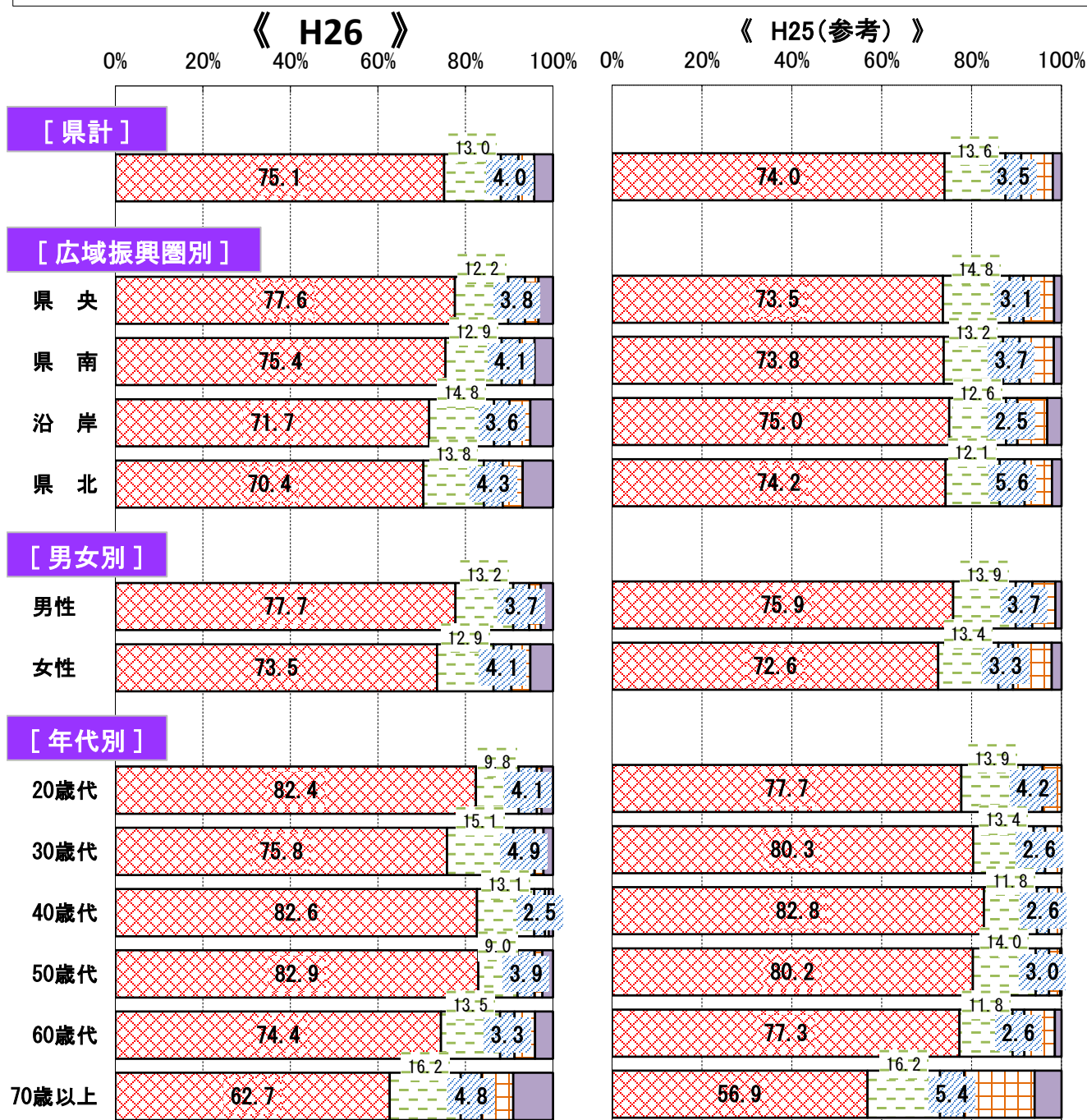
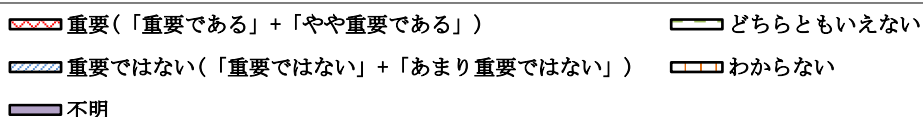


問2-2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。

(1) 重要度について

重要が約75% (75.1%)

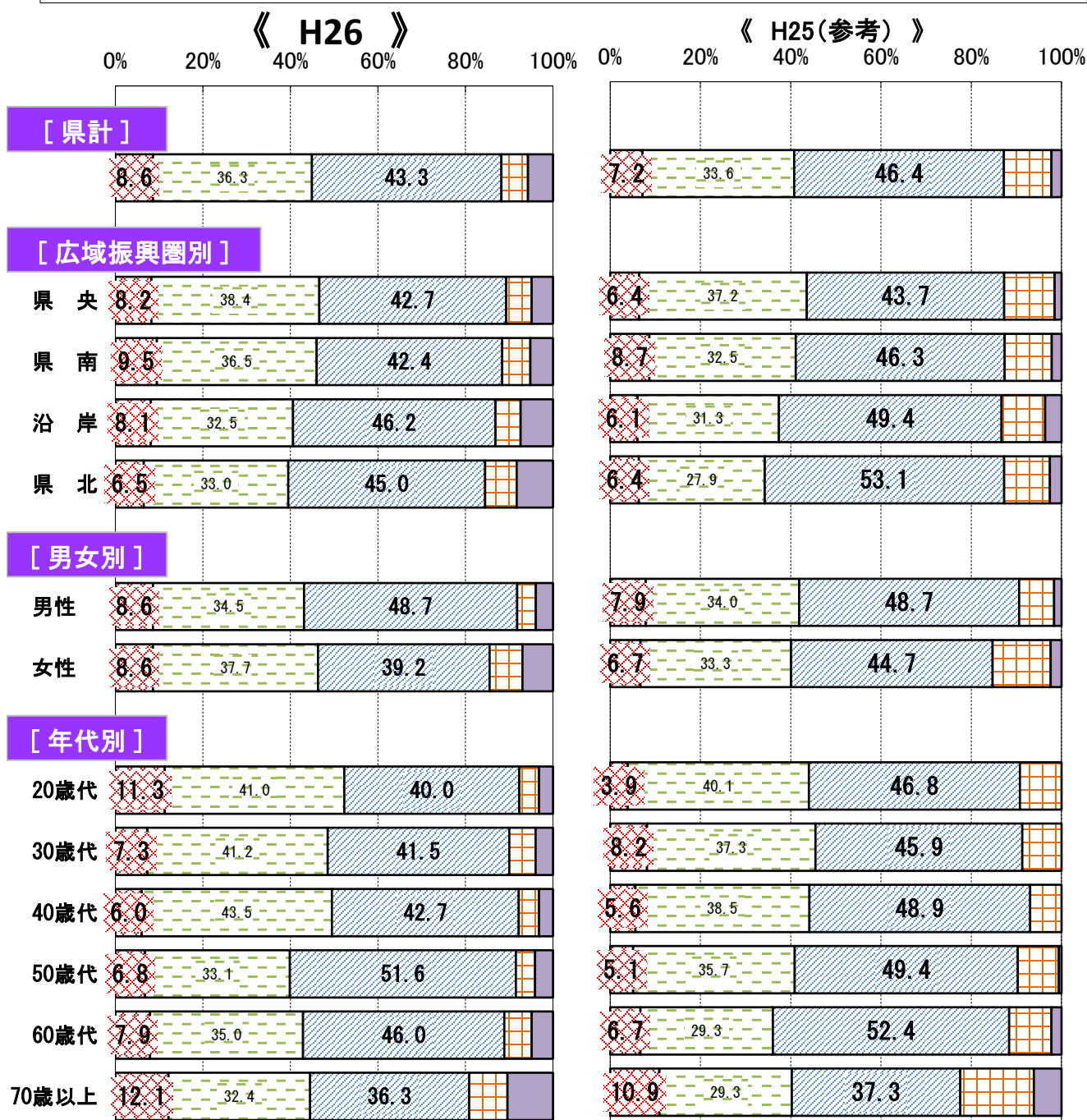
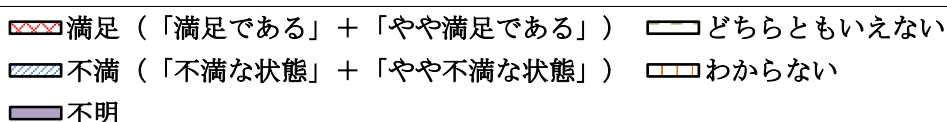
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が75.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が4.0%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の77.6%、最も低いのが県北の70.4%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が8.6%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合43.3%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南（9.5%）、年代別では70歳以上（12.1%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

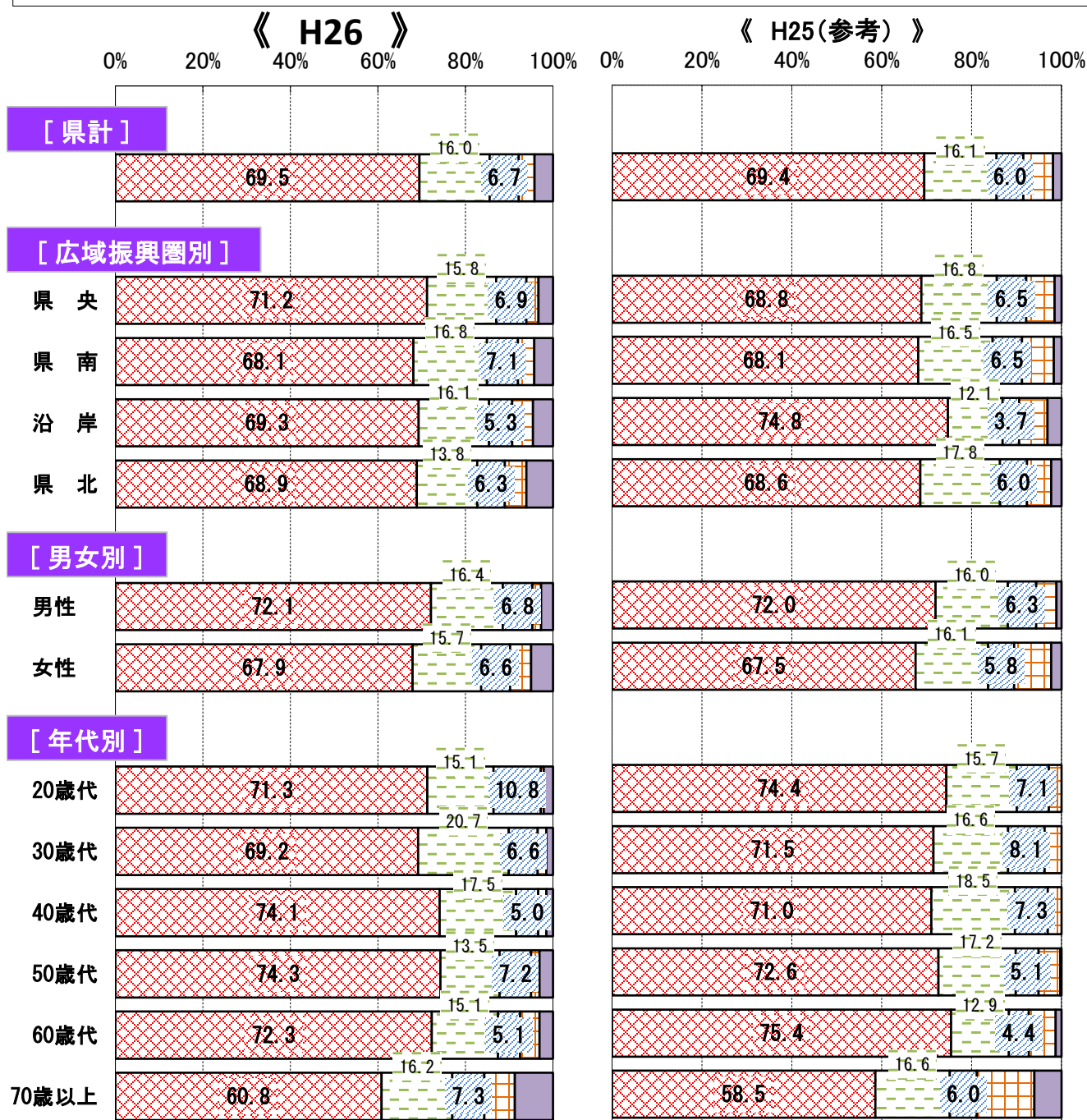
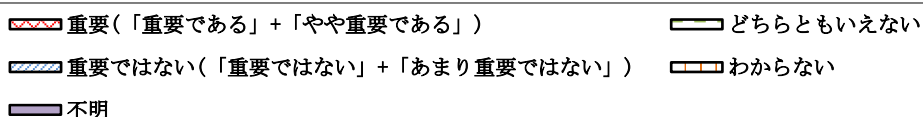


問2-3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。

(1) 重要度について

重要が約7割(69.5%)

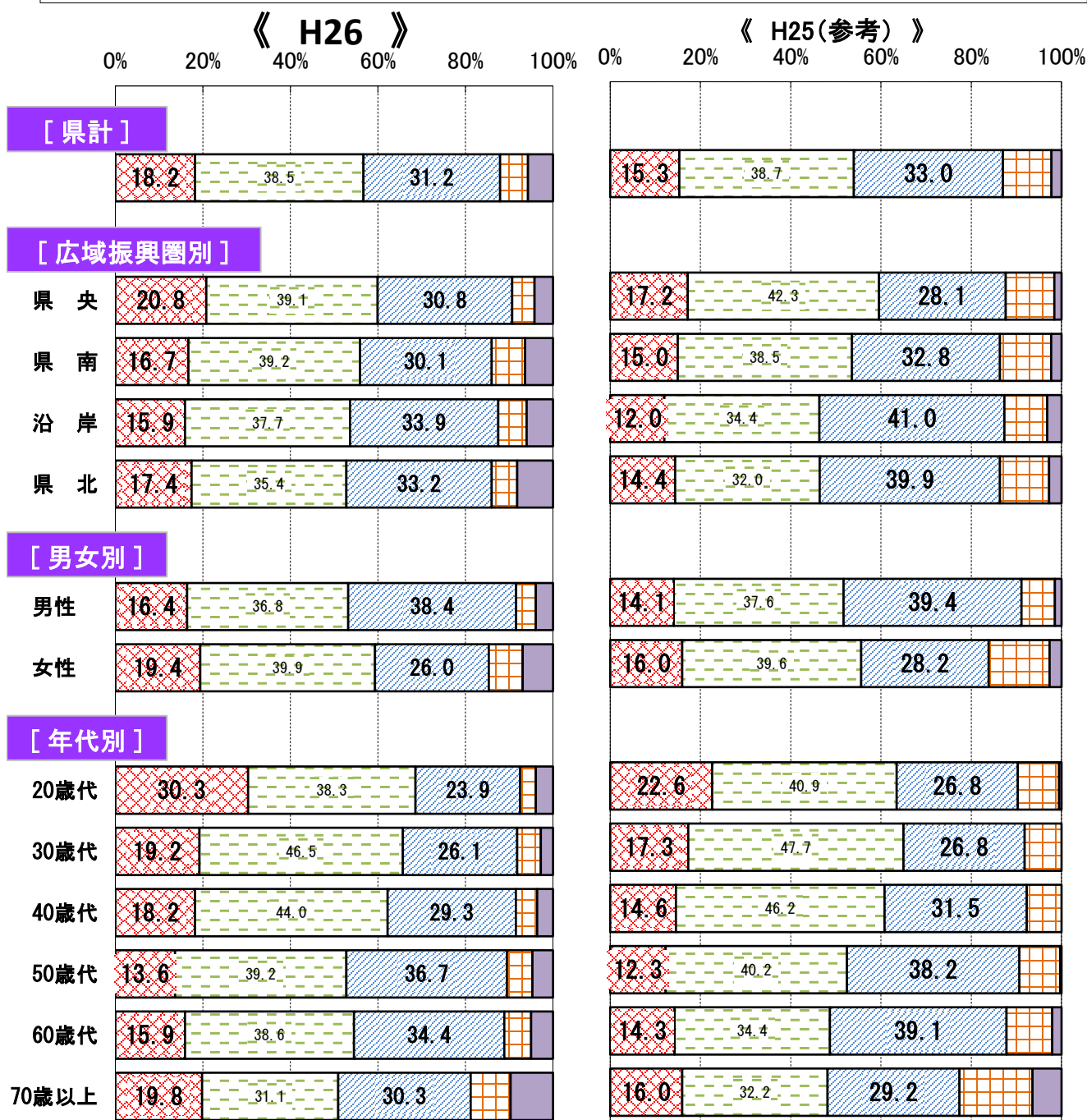
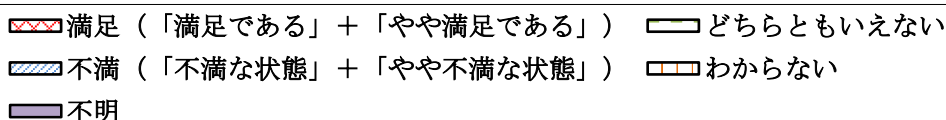
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が69.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の71.2%、最も低いのが県南の68.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合31.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(20.8%)、男女別では女性(19.4%)、年代別では20歳代(30.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

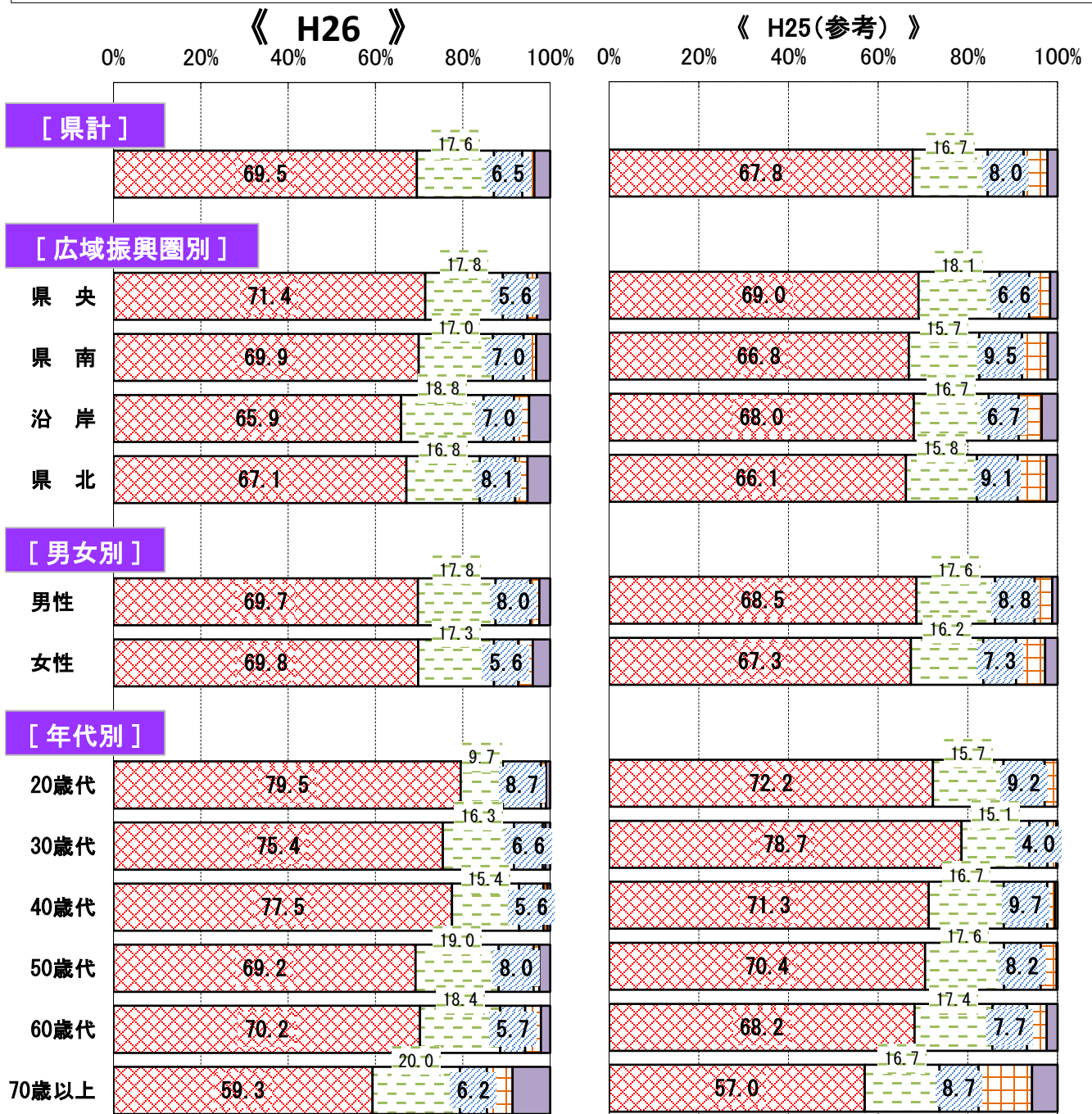
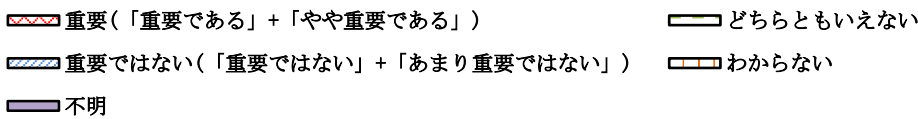


問2-4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。

(1) 重要度について

重要が約7割(69.5%)

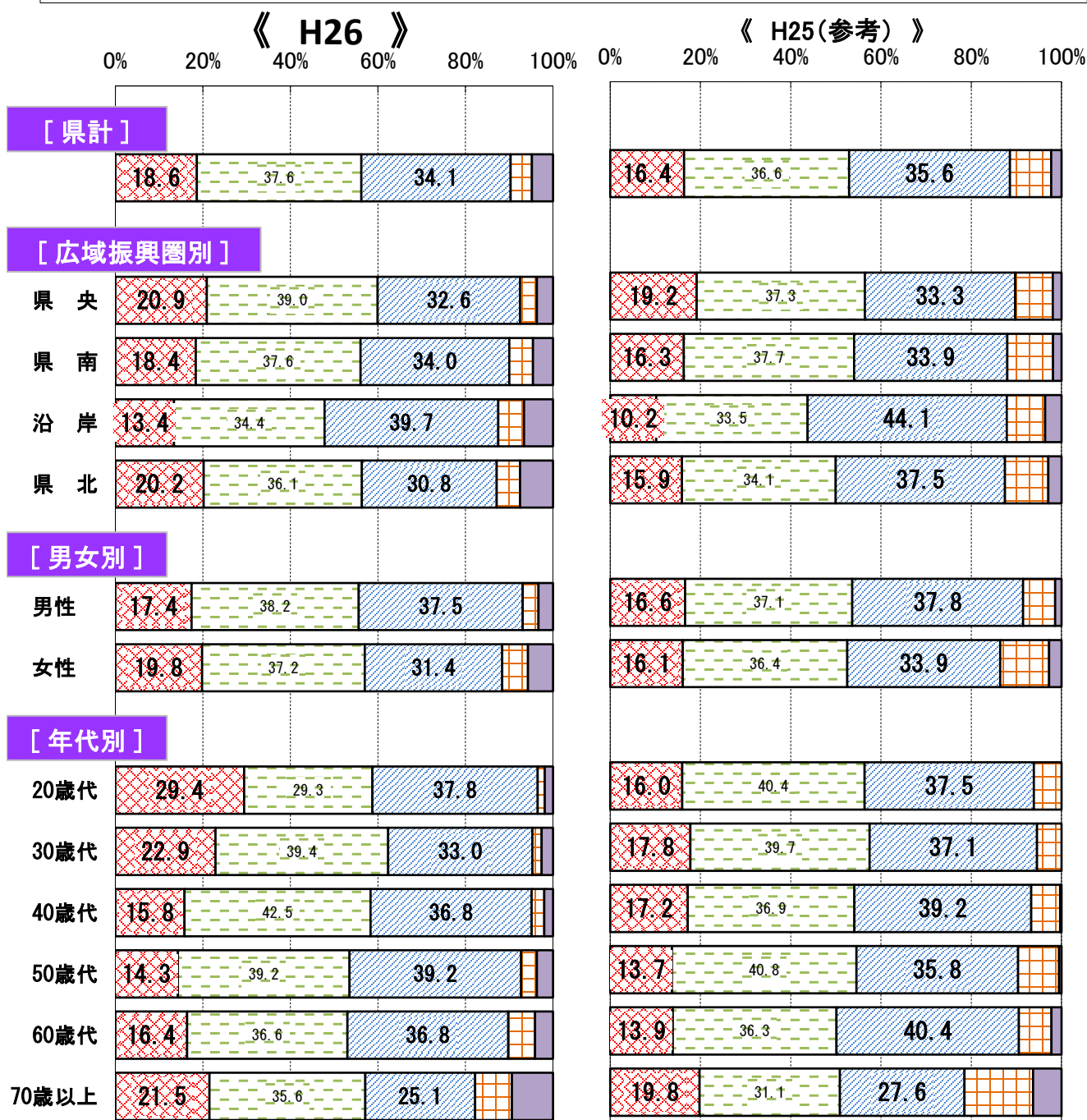
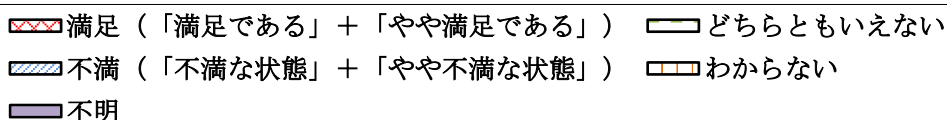
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が69.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の71.4%、最も低いのが沿岸の65.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合34.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(20.9%)、男女別では女性(19.8%)、年代別では20歳代(29.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

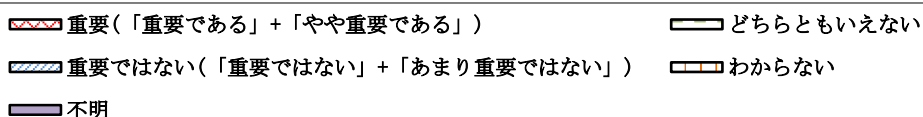


問2-5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。

(1) 重要度について

重要が8割弱(76.3%)

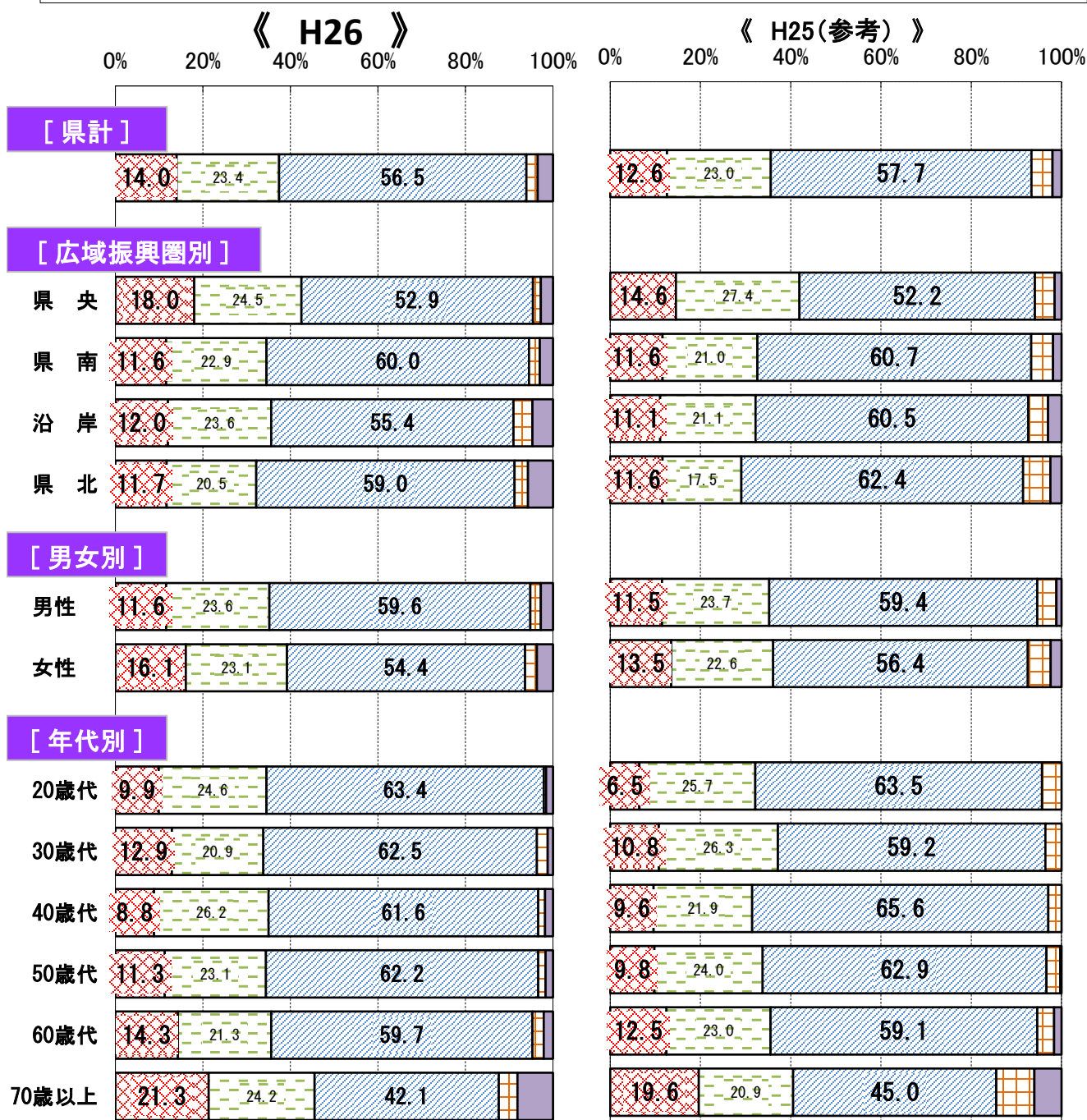
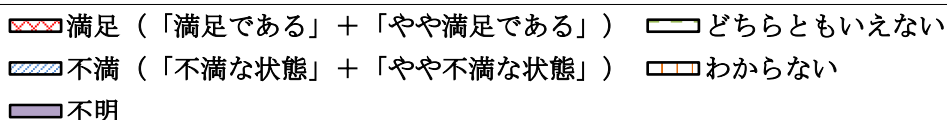
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が76.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が5.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の79.1%、最も低いのが沿岸の71.8%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合56.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(18.0%)、男女別では女性(16.1%)、年代別では70歳以上(21.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

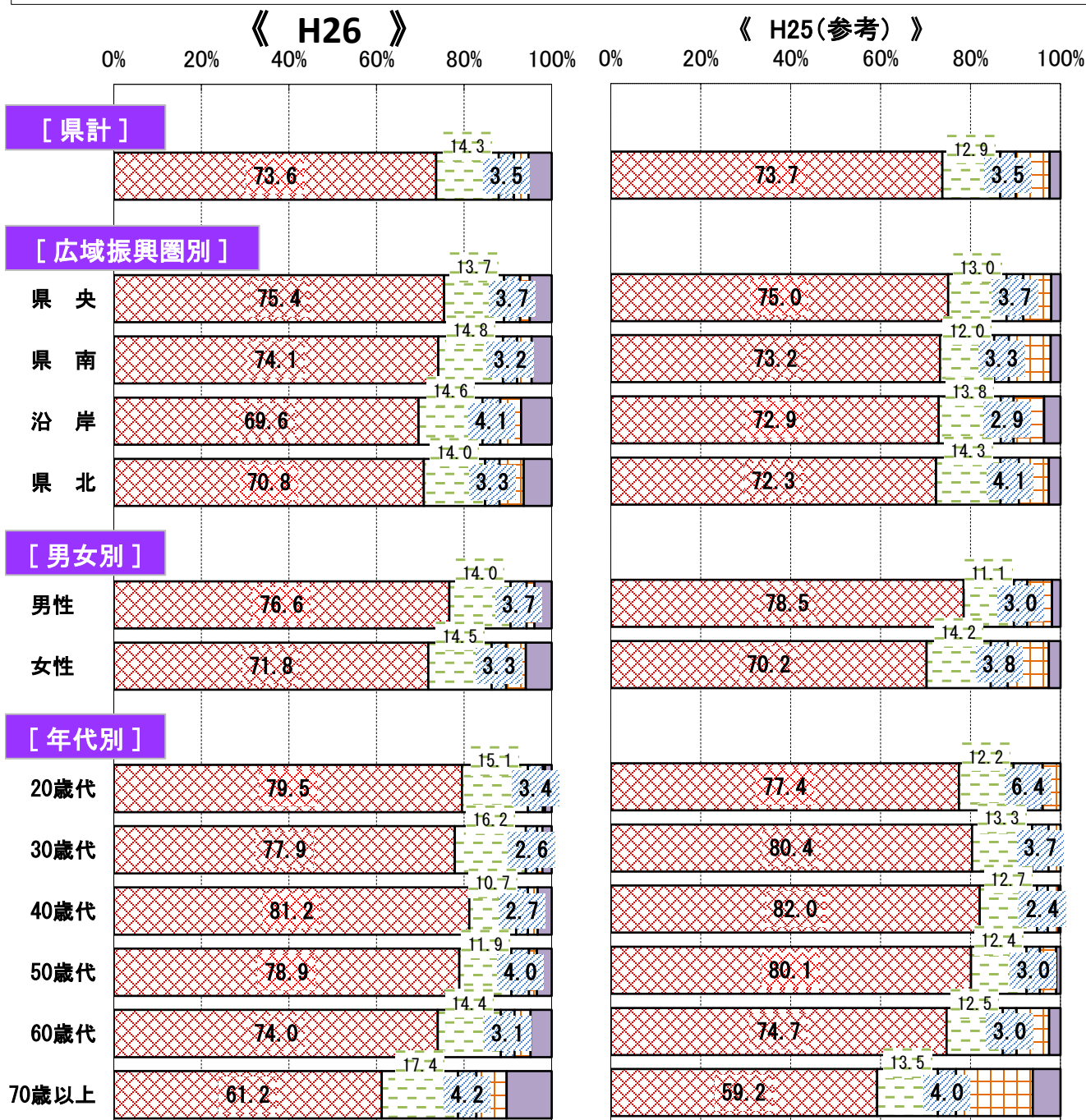
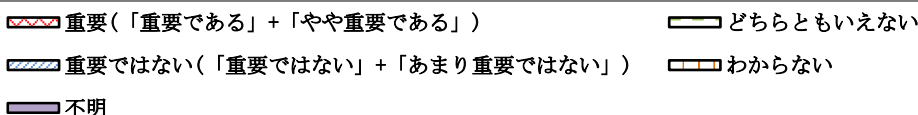


問2-6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。

(1) 重要度について

重要が7割強(73.6%)

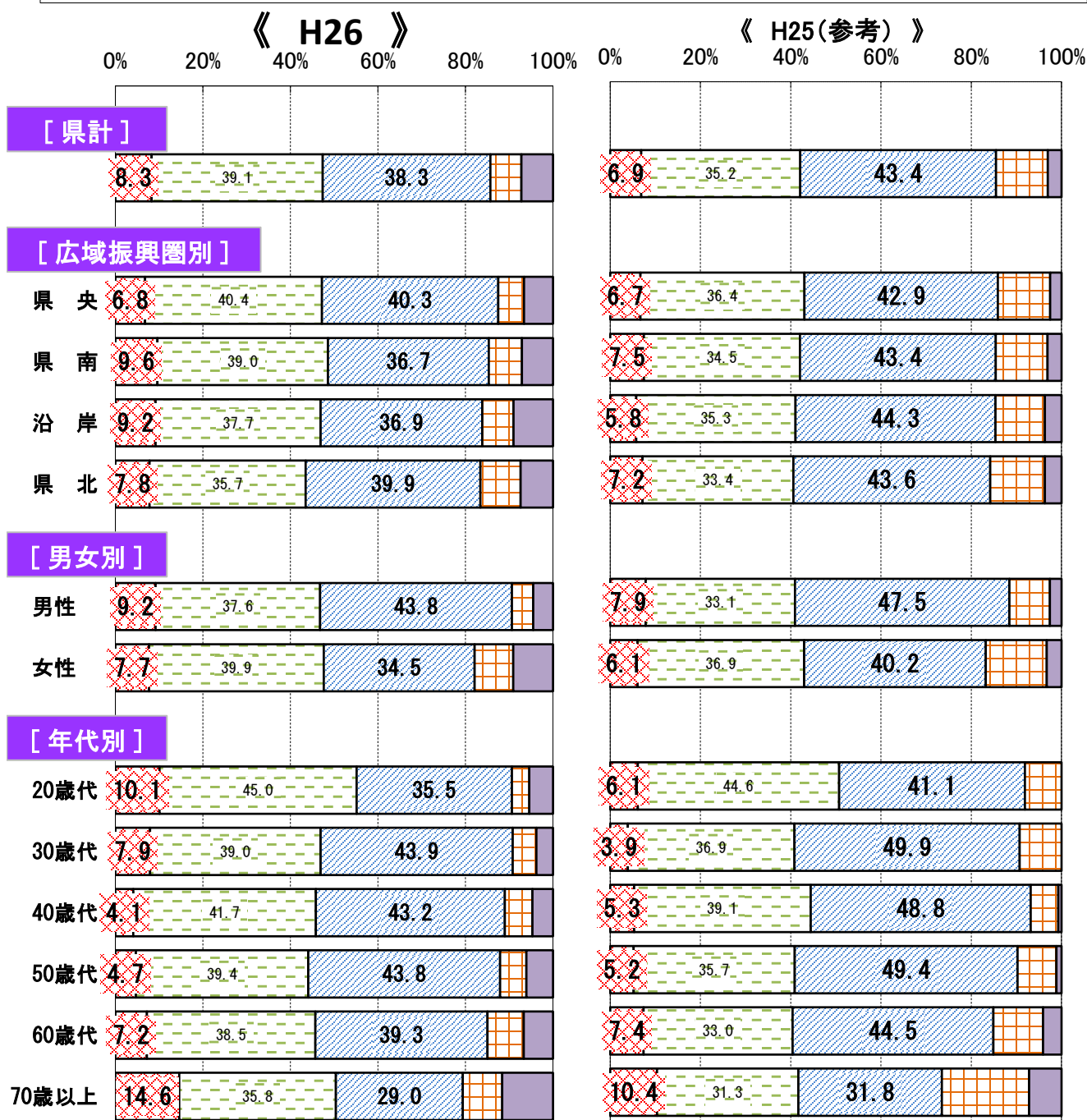
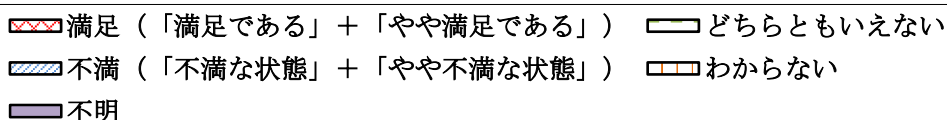
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が73.6%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の75.4%、最も低いのが沿岸の69.6%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合38.3%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(9.6%)、男女別では男性(9.2%)、年代別では70歳以上(14.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

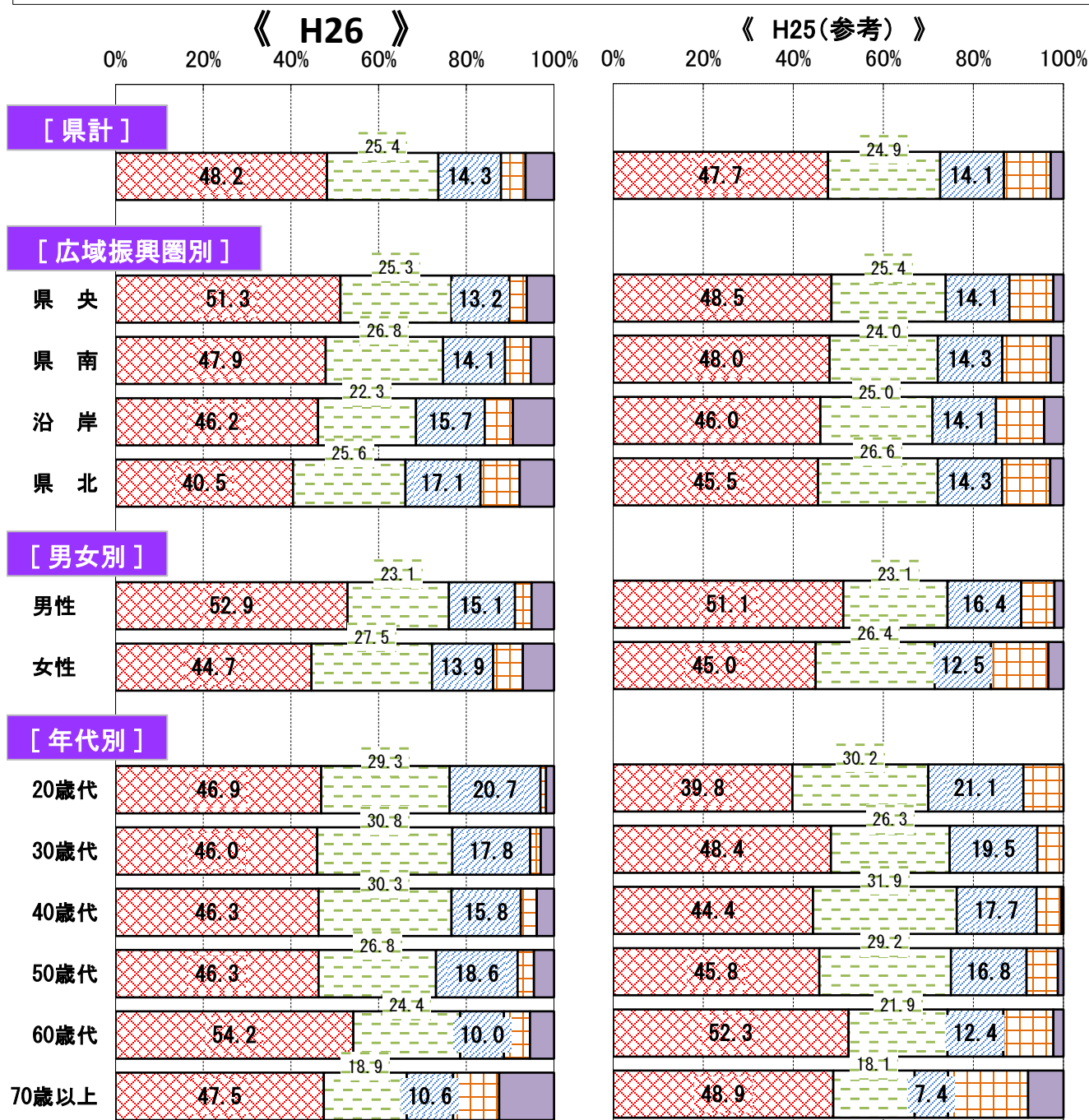
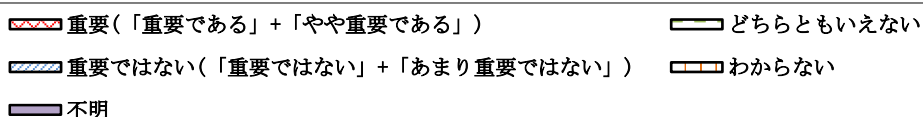


問2-7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。

(1) 重要度について

重要が5割弱(48.2%)

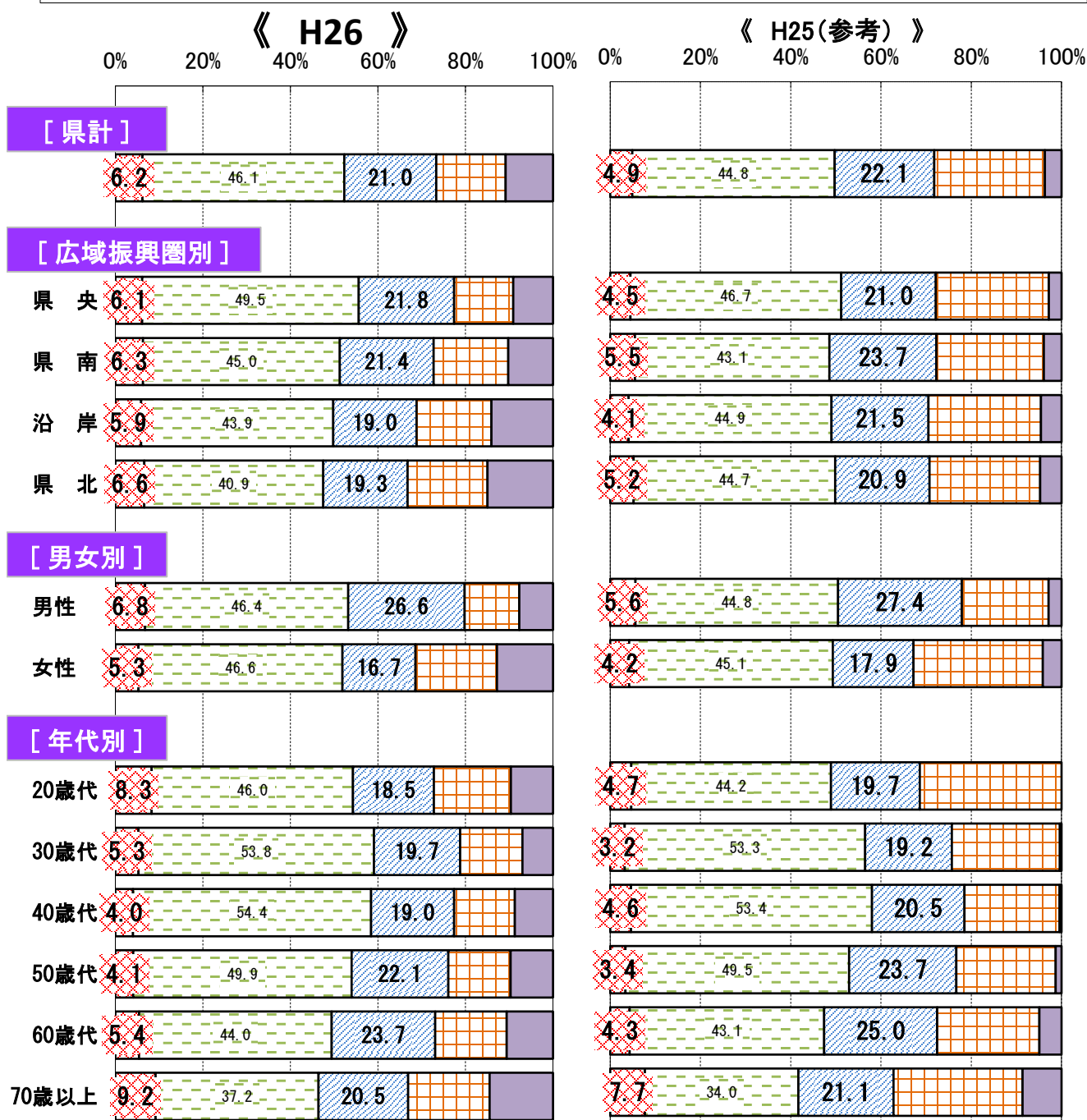
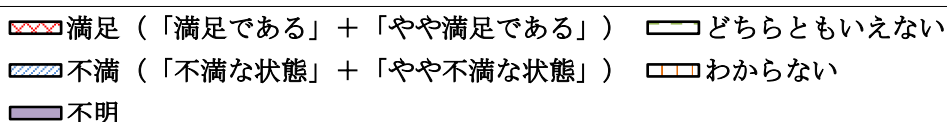
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が48.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が14.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の51.3%、最も低いのが県北の40.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が6.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(6.6%)、男女別では男性(6.8%)、年代別では70歳以上(9.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

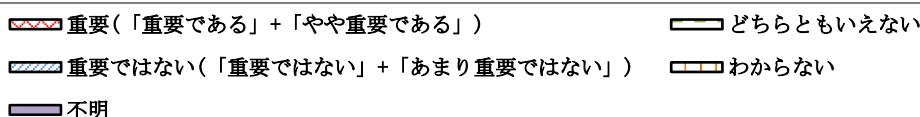


問2-8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(86.9%)

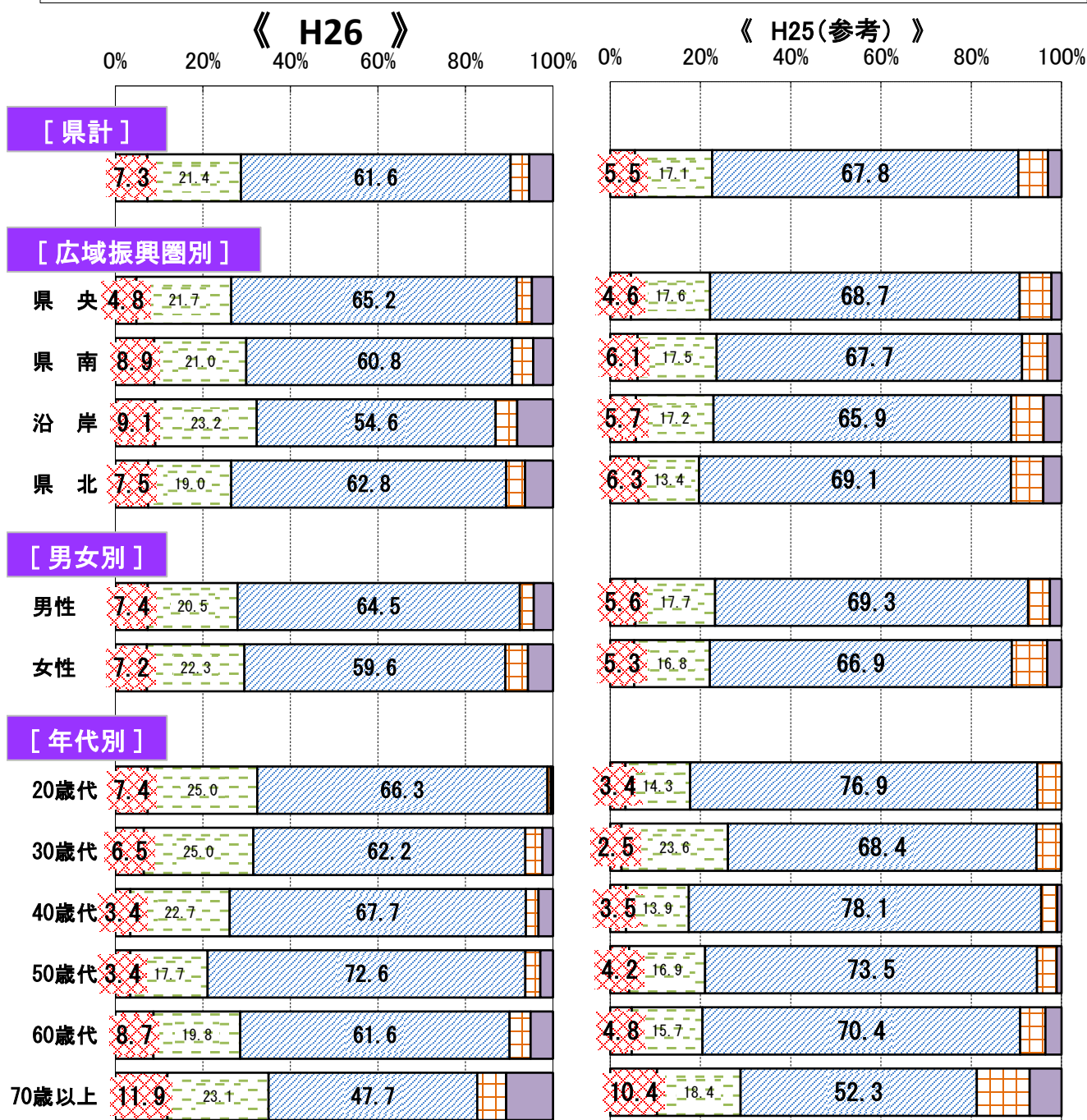
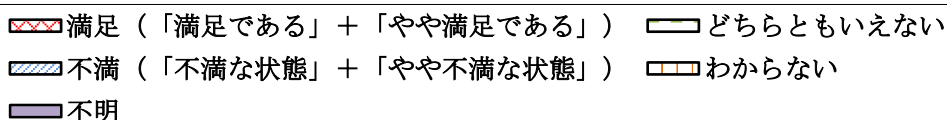
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.9%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.3%、最も低いのが沿岸の83.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が7.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合61.6%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(9.1%)、年代別では70歳以上(11.9%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

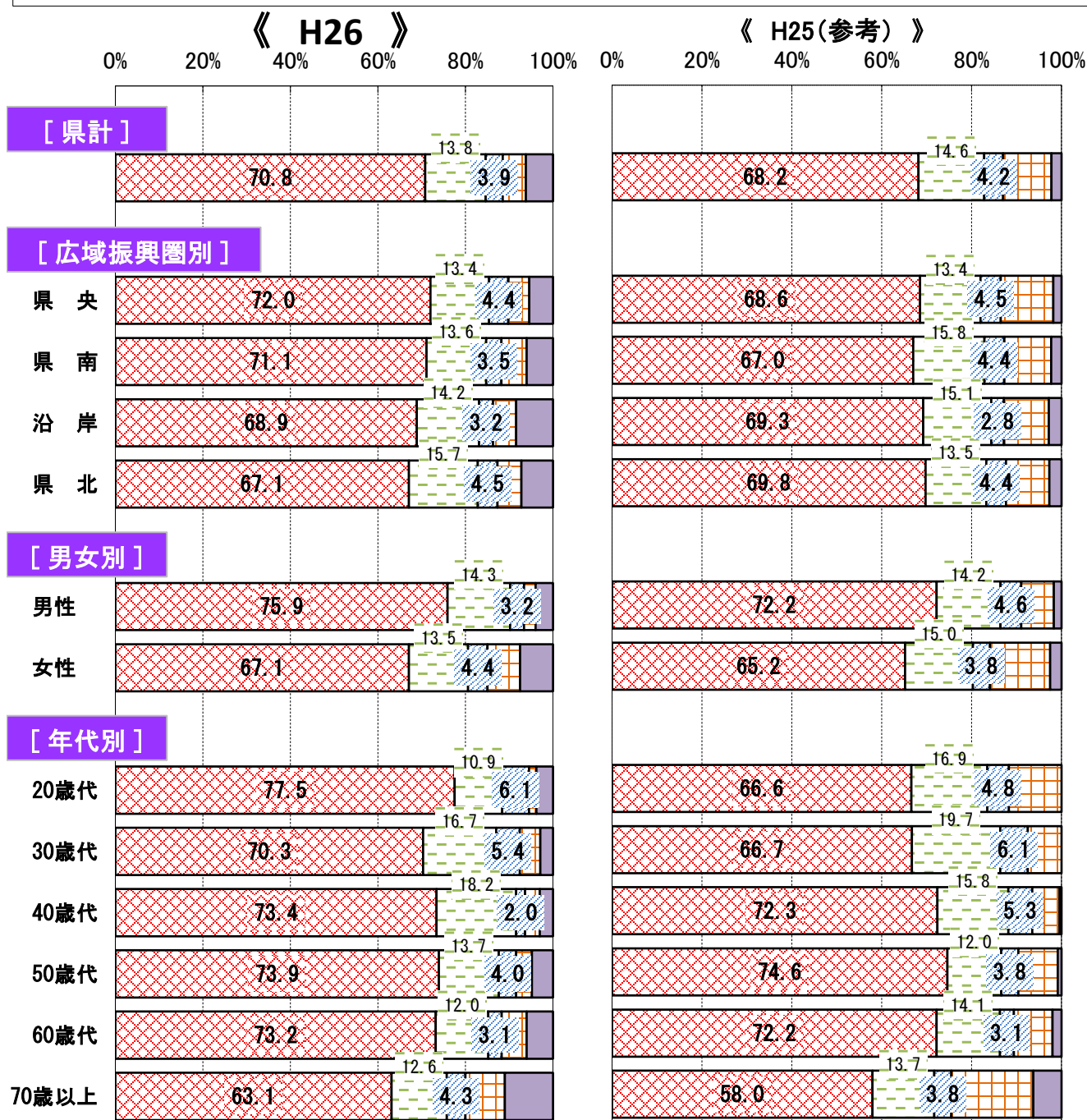
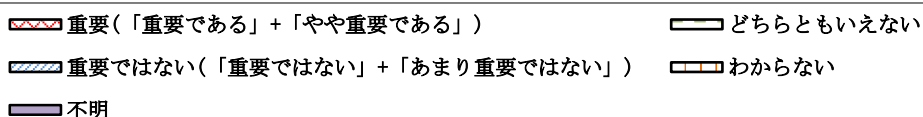


問2-9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。

(1) 重要度について

重要が7割強(70.8%)

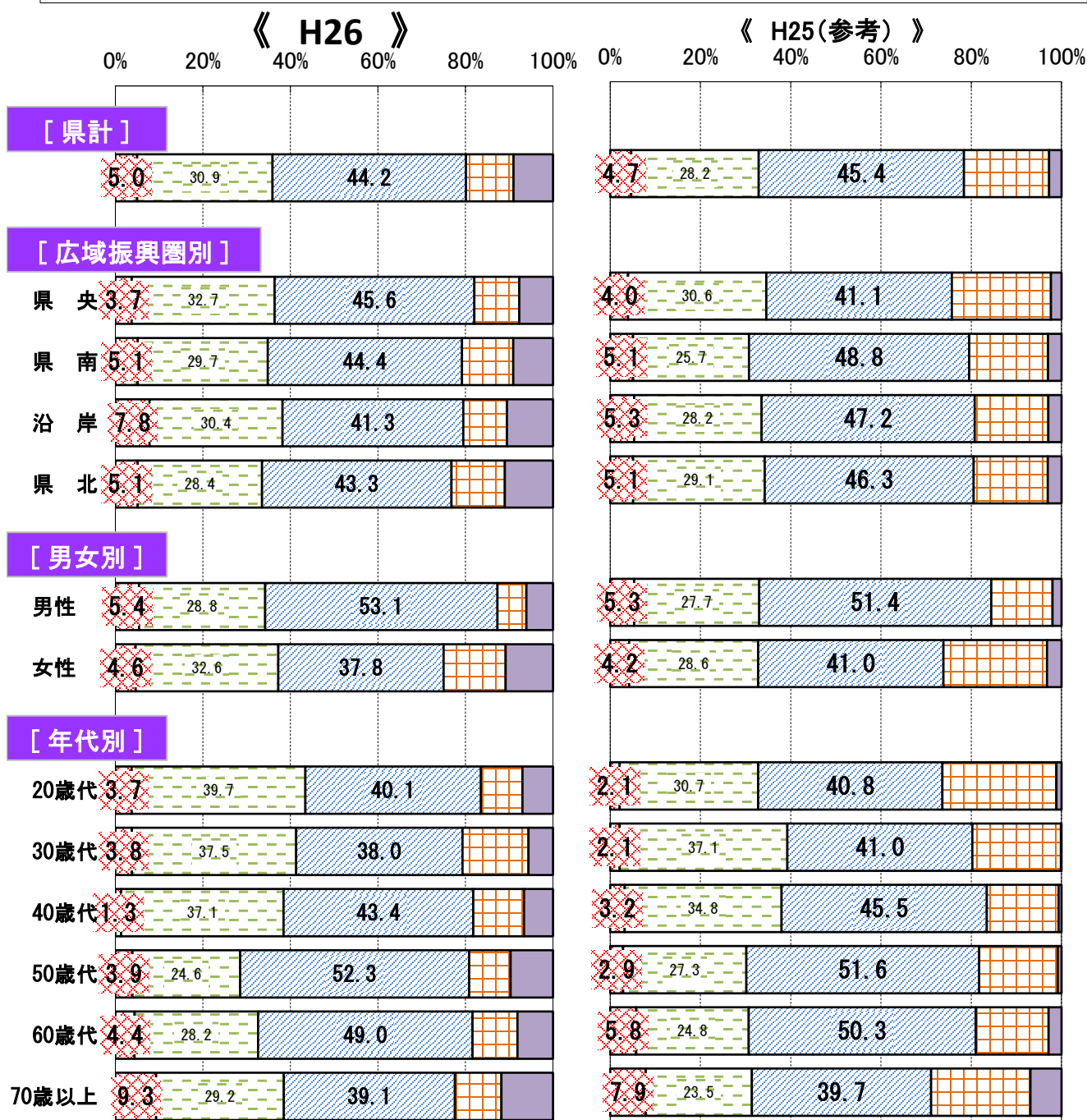
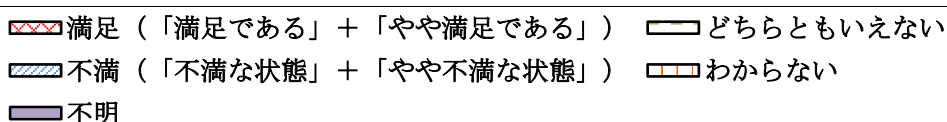
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が70.8%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.9%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の72.0%、最も低いのが県北の67.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が5.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合44.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(7.8%)、男女別では男性(5.4%)、年代別では70歳以上(9.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

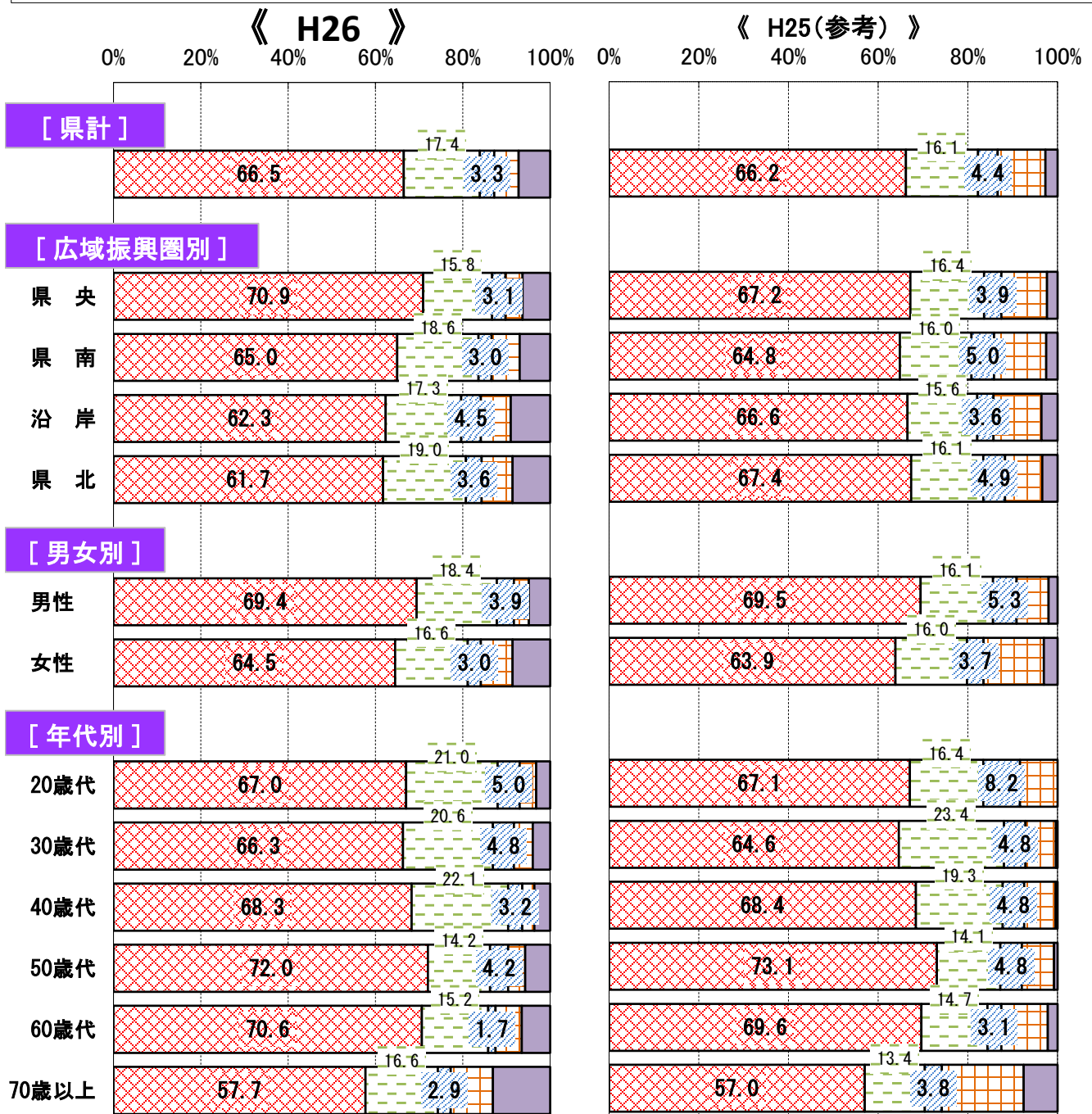
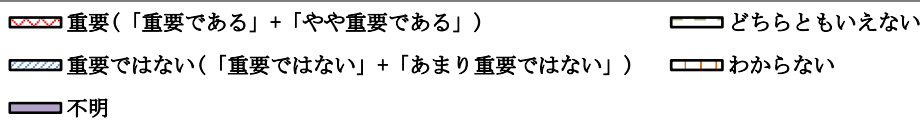


問2-10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.5%)

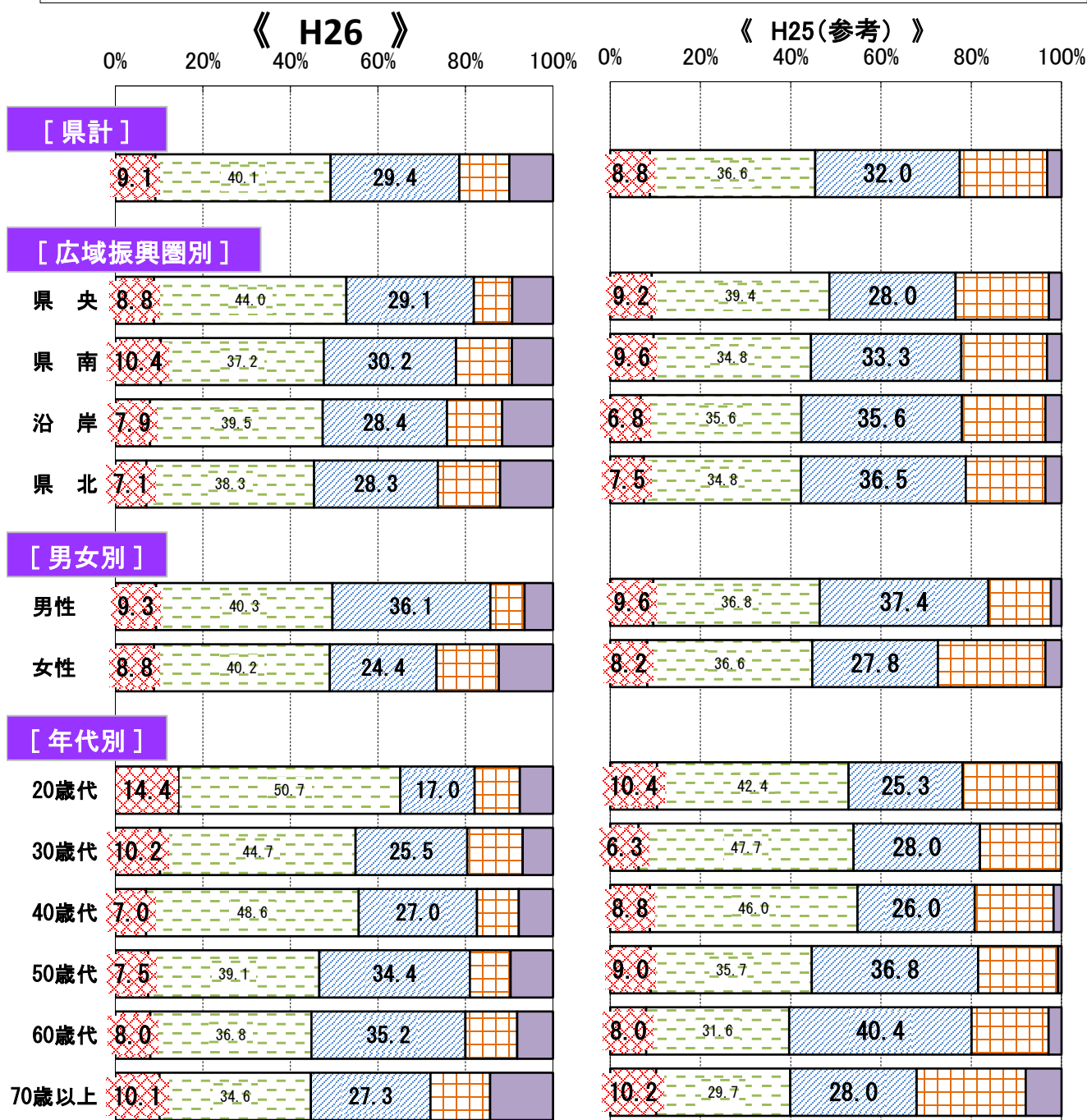
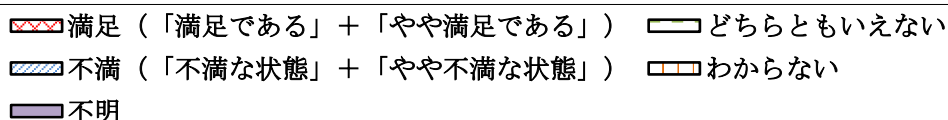
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の70.9%、最も低いのが県北の61.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合29.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(10.4%)、男女別では男性(9.3%)、年代別では20歳代(14.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

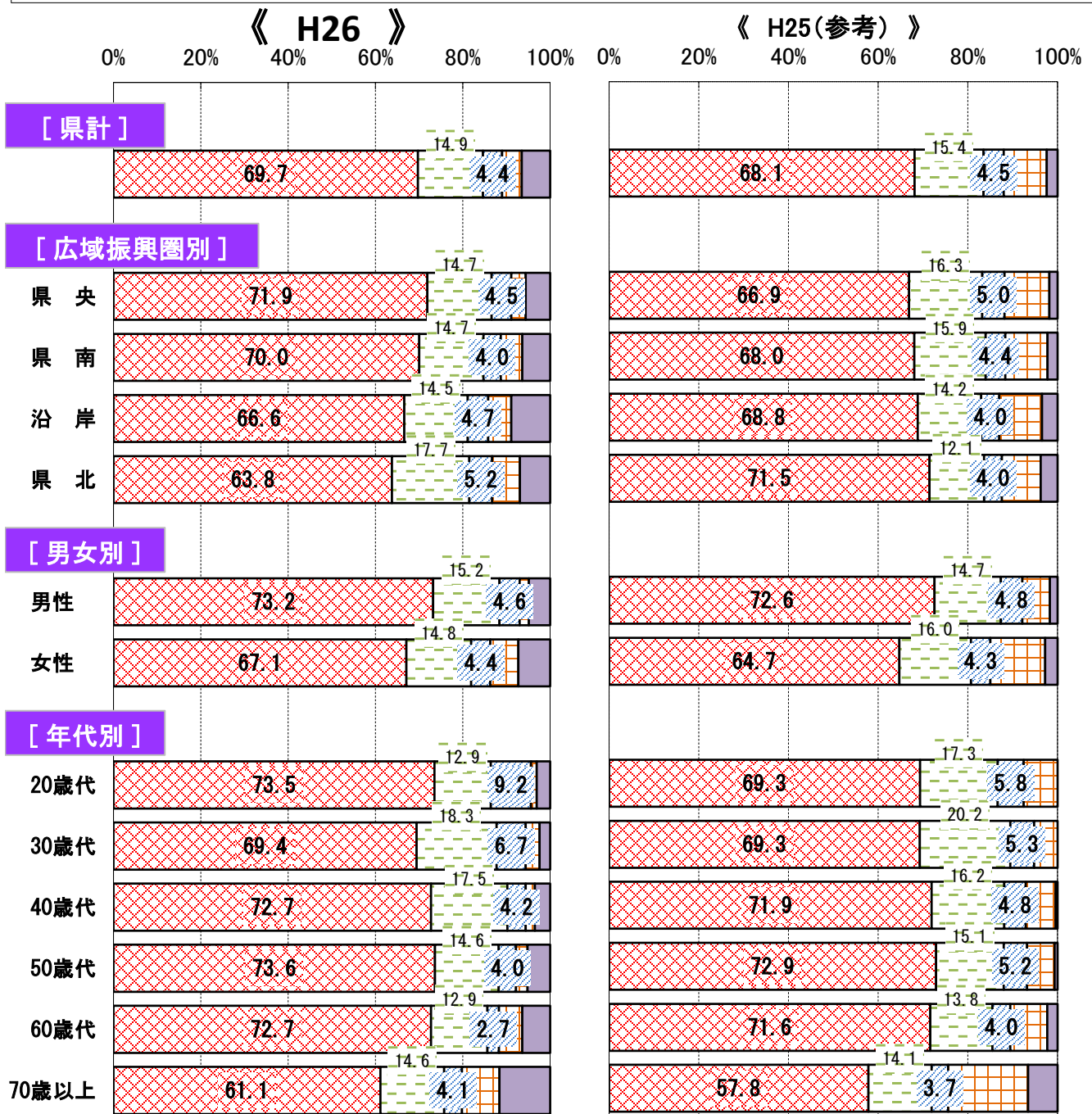
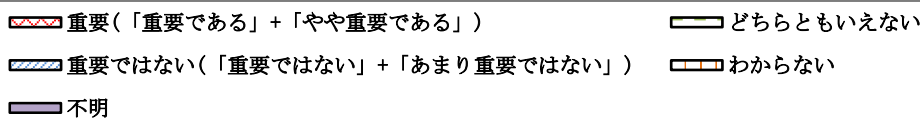


問2-11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。

(1) 重要度について

重要が約7割(69.7%)

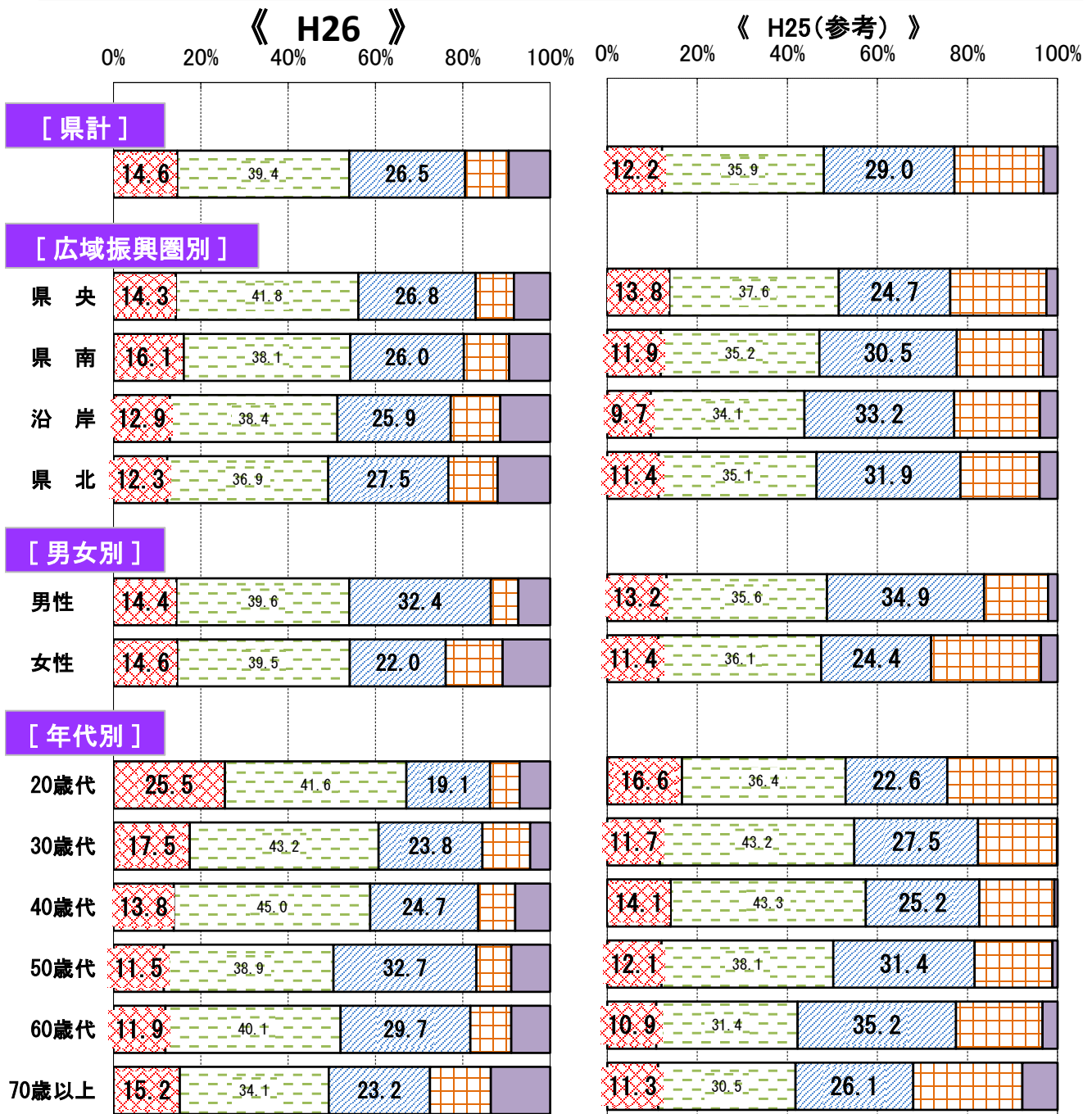
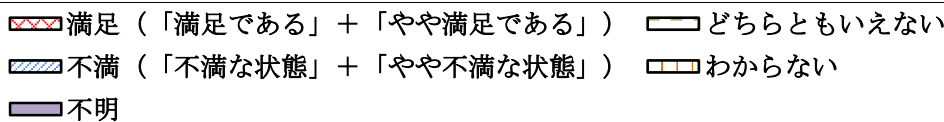
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が69.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が4.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の71.9%、最も低いのが県北の63.8%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合26.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(16.1%)、年代別では20歳代(25.5%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

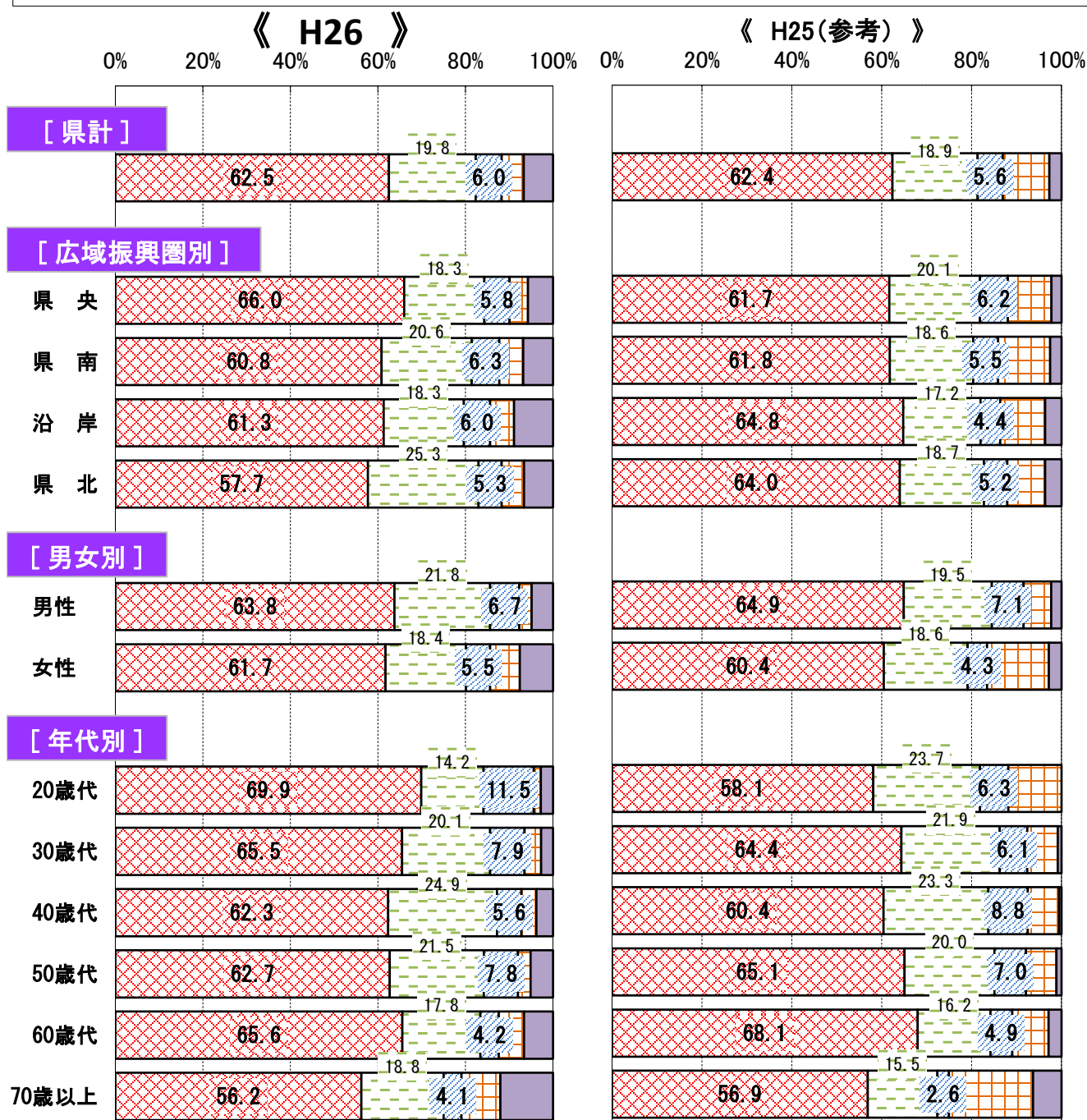
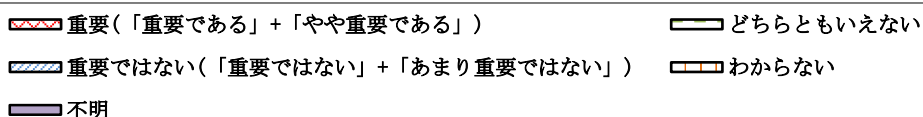


問2-12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。

(1) 重要度について

重要が6割強(62.5%)

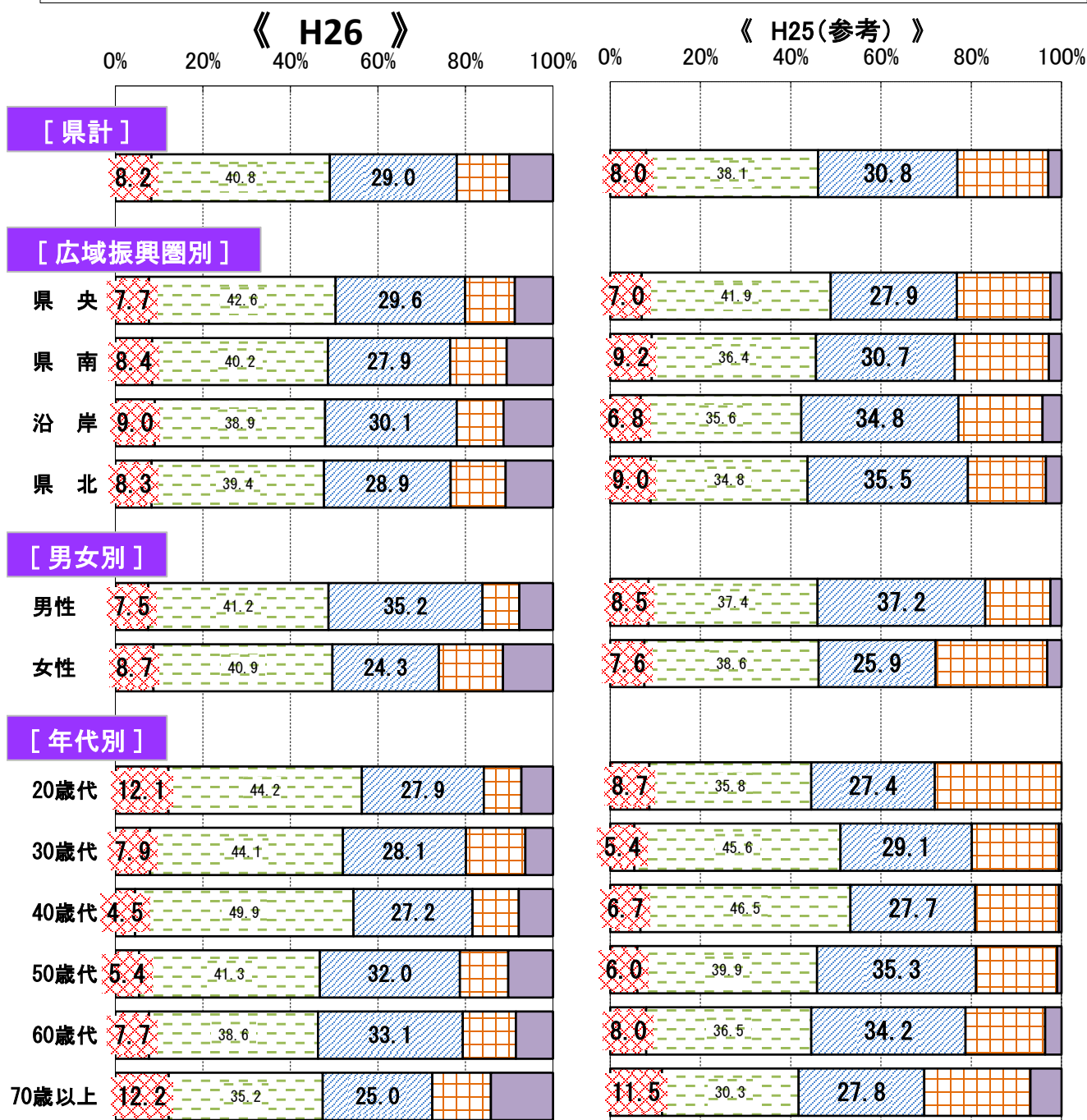
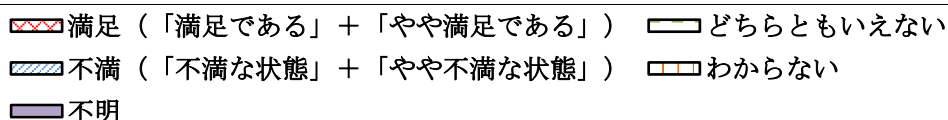
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が62.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が6.0%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の66.0%、最も低いのが県北の57.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が8.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合29.0%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では沿岸(9.0%)、男女別では女性(8.7%)、年代別では70歳以上(12.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

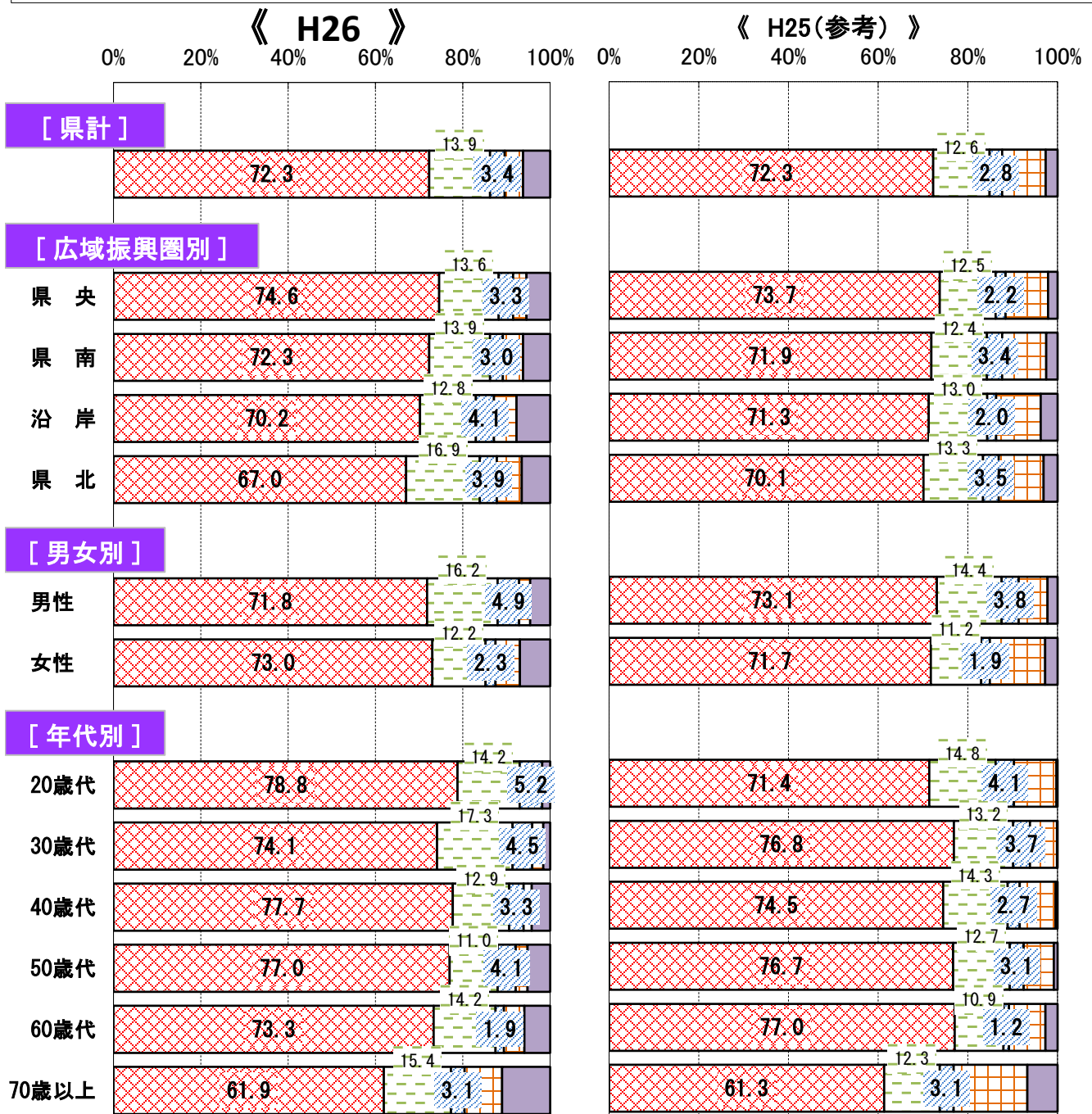
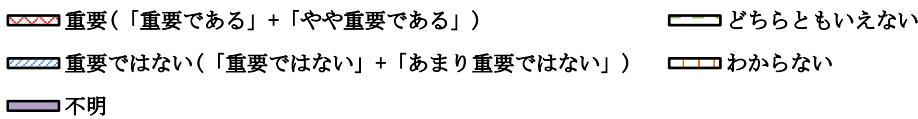


問2-13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。

(1) 重要度について

重要が7割強(72.3%)

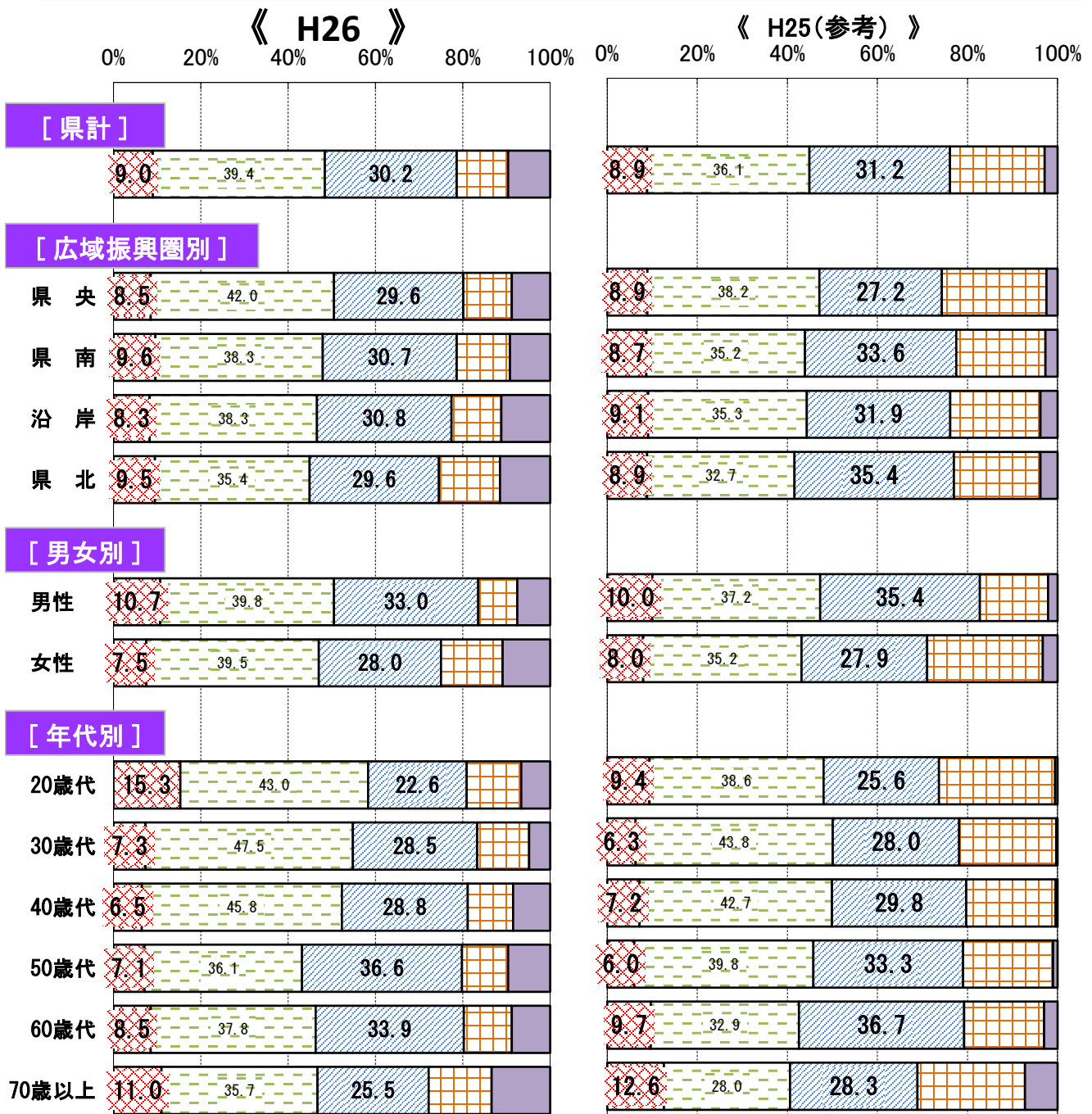
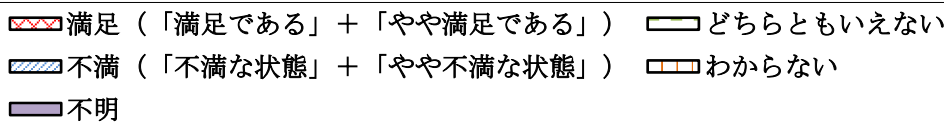
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が72.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の74.6%、最も低いのが県北の67.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が9.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合30.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(9.6%)、男女別では男性(10.7%)、年代別では20歳代(15.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

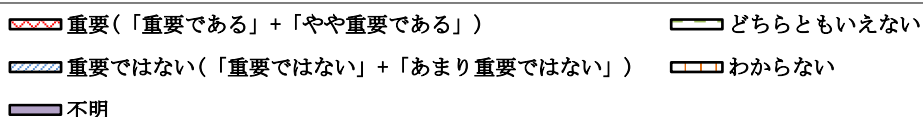


問2-14 必要な医療を適切に受けられること。

(1) 重要度について

重要が約95% (94.9%)

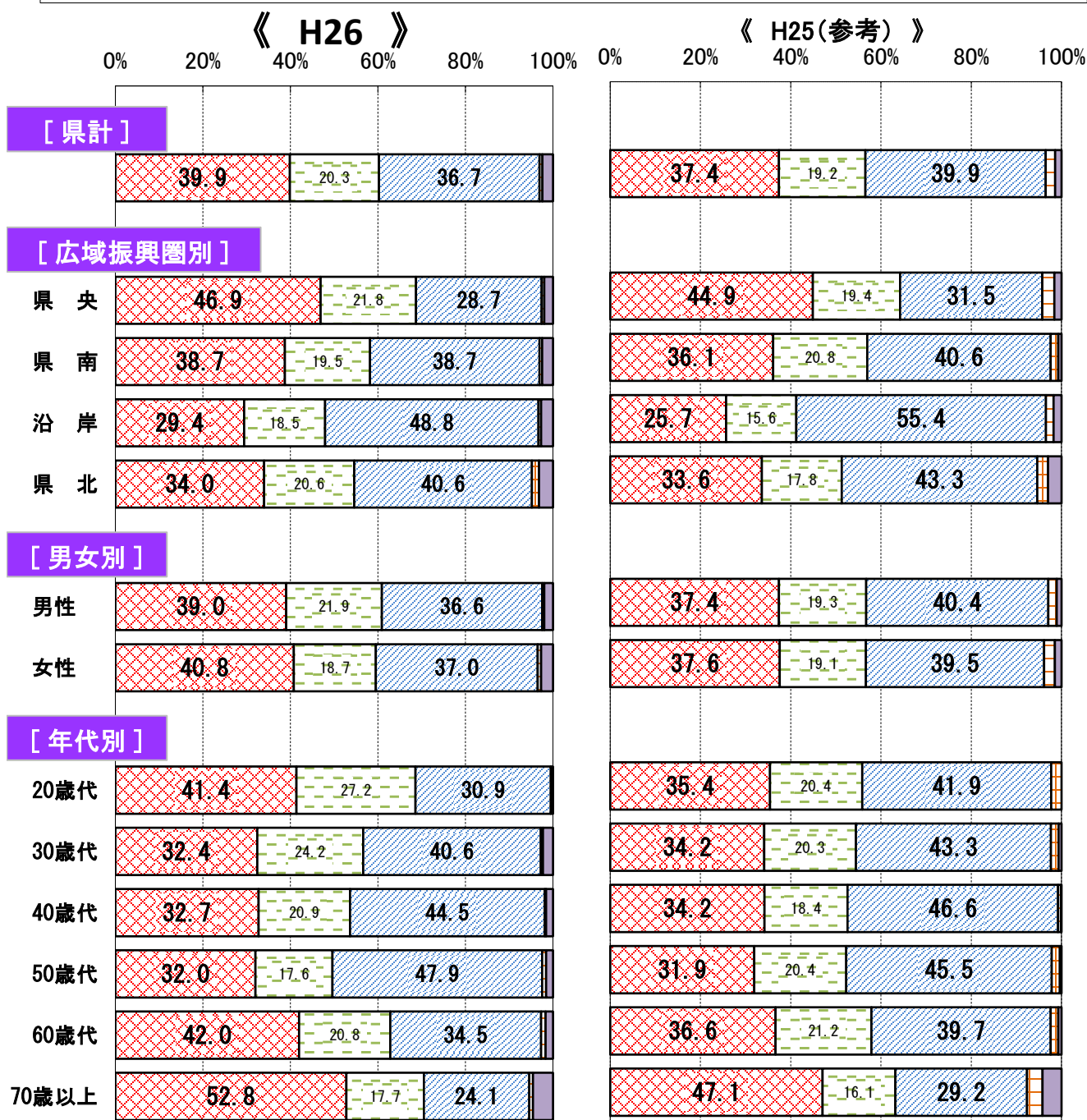
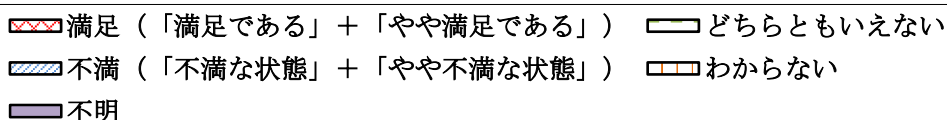
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が94.9%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が0.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の95.5%、最も低いのが県北の93.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を若干上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が39.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合36.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(46.9%)、男女別では女性(40.8%)、年代別では70歳以上(52.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

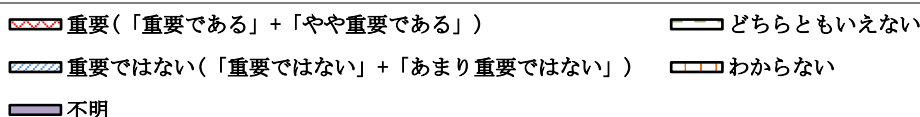


問2-15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(87.4%)

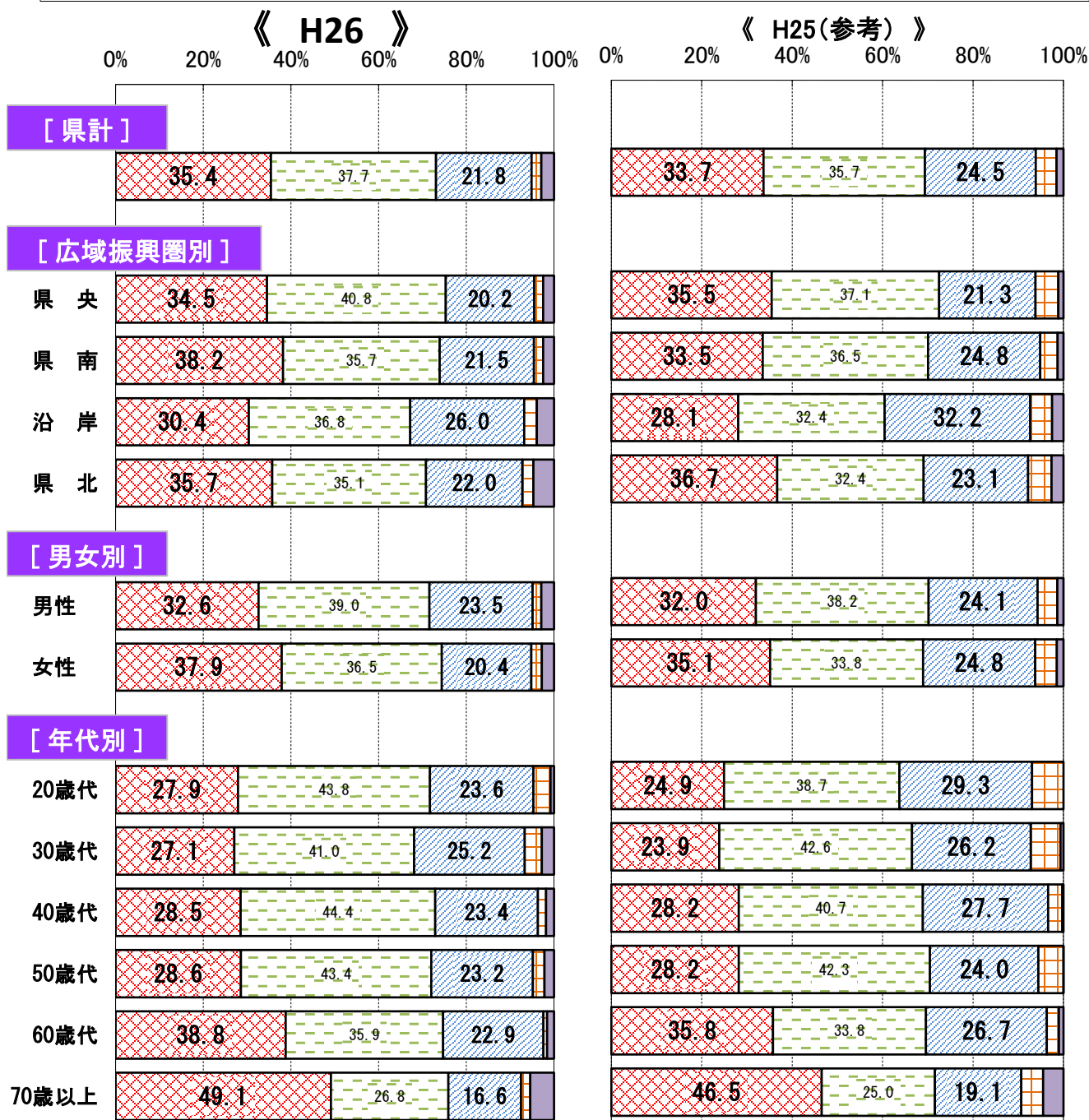
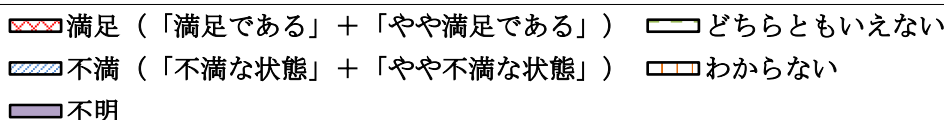
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が87.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の89.6%、最も低いのが県北の85.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が35.4%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合21.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南（38.2%）、男女別では女性（37.9%）、年代別では70歳以上（49.1%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

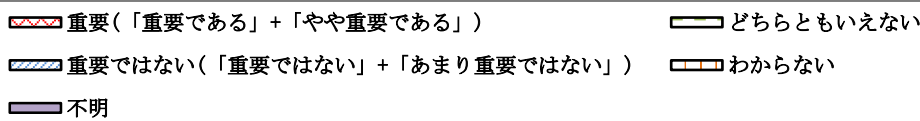


問2-16 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(87.5%)

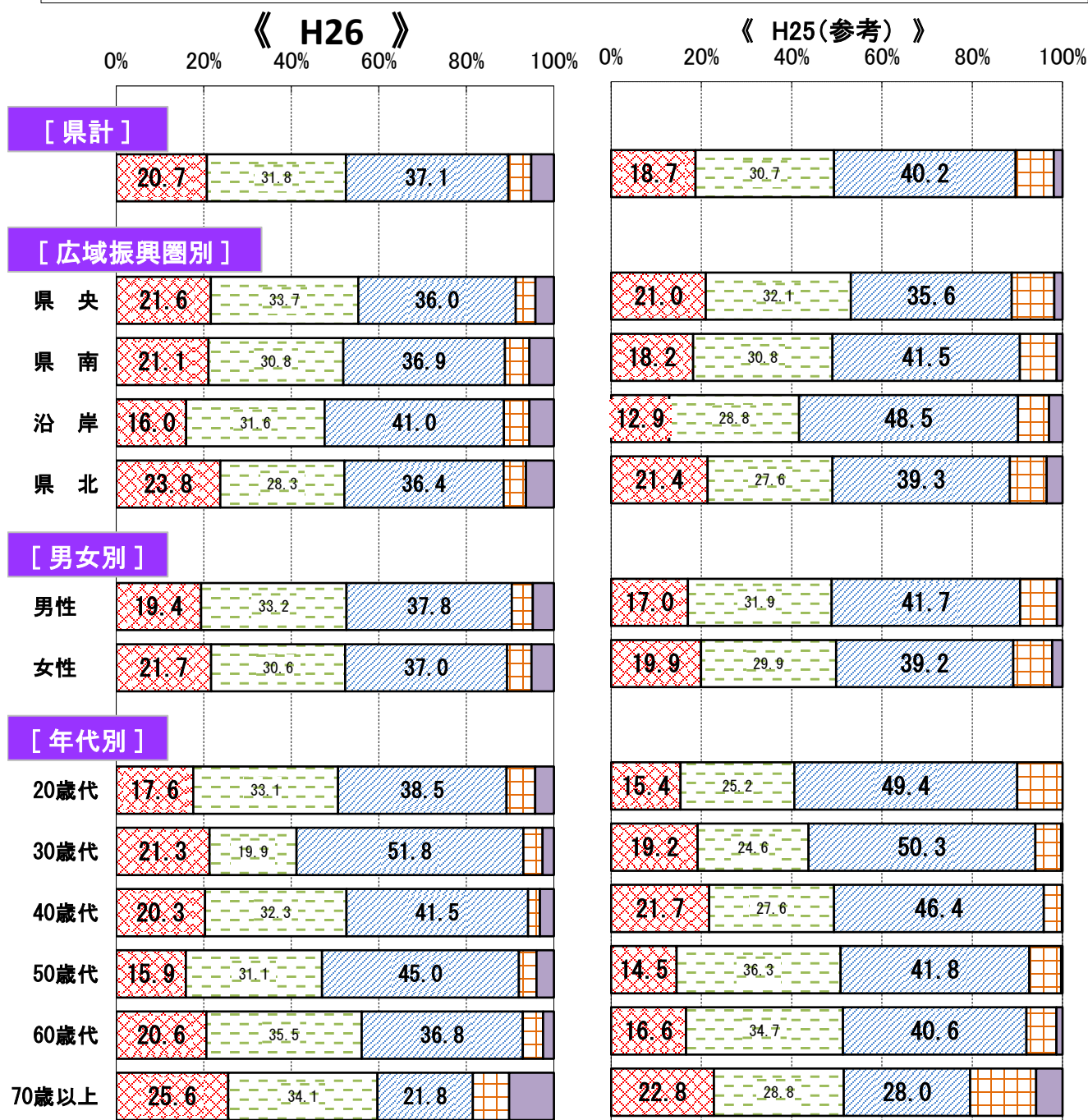
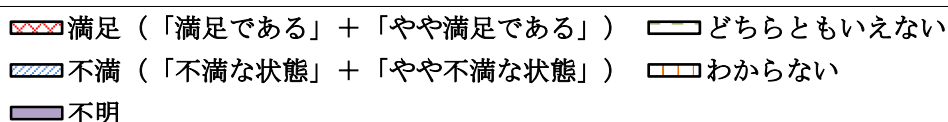
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が87.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の89.2%、最も低いのが県北の83.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合37.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(23.8%)、男女別では女性(21.7%)、年代別では70歳以上(25.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

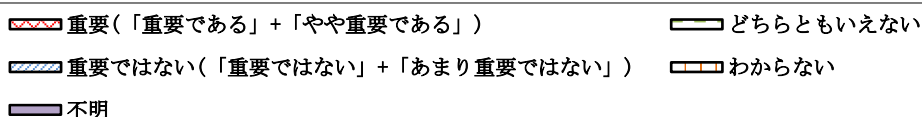


問2-17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割強(91.7%)

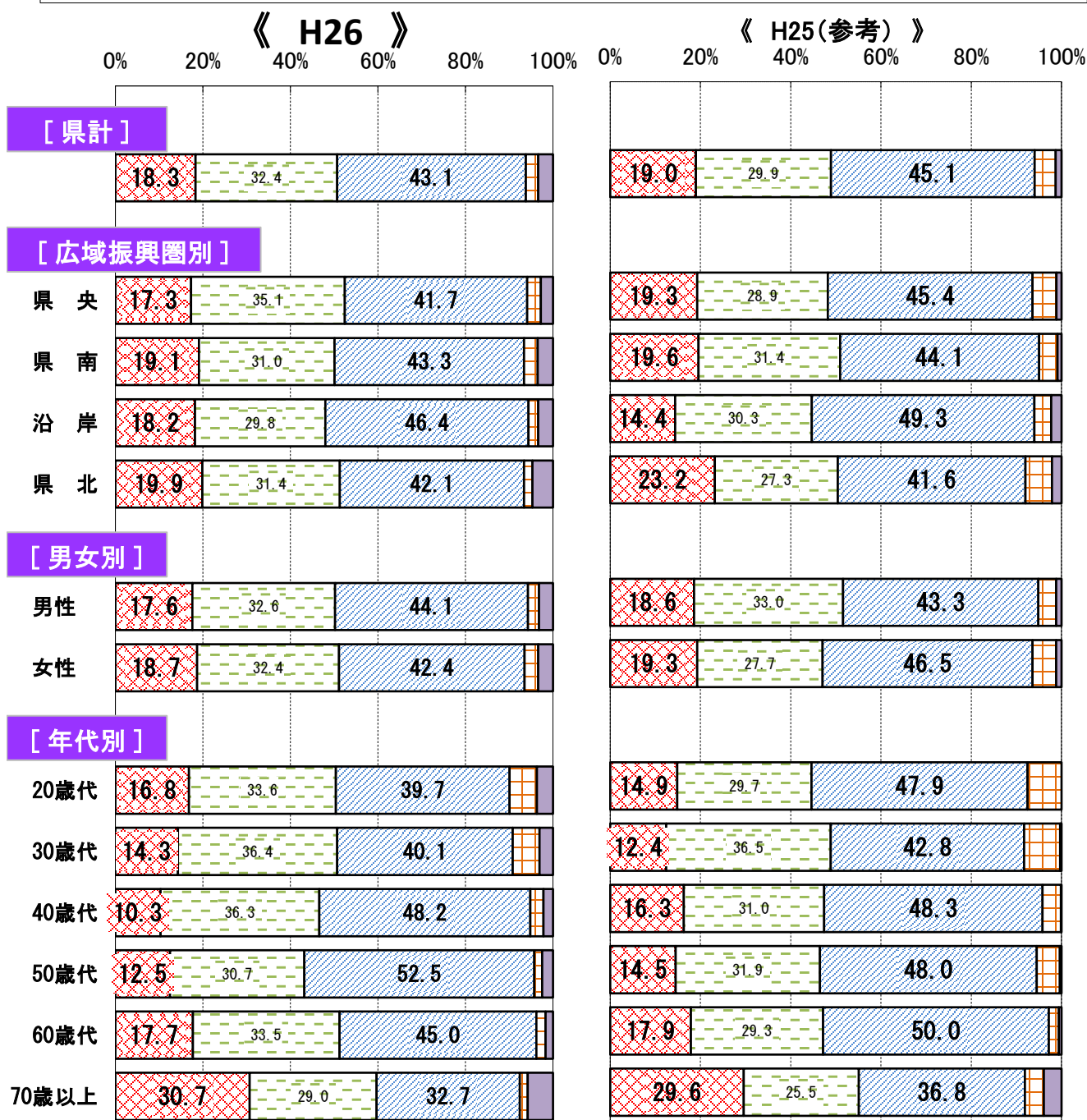
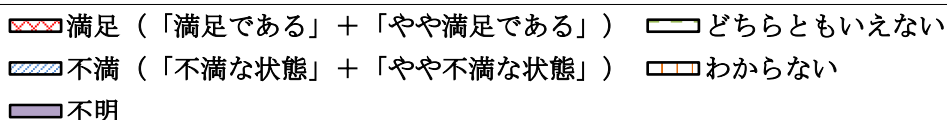
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が91.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の92.7%、最も低いのが県北の89.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合43.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(19.9%)、男女別では女性(18.7%)、年代別では70歳以上(30.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

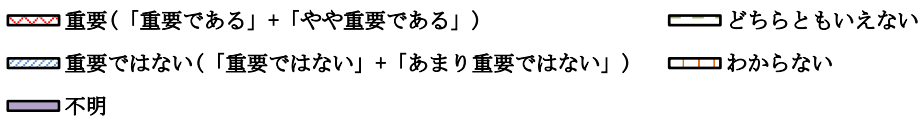


問2-18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(83.6%)

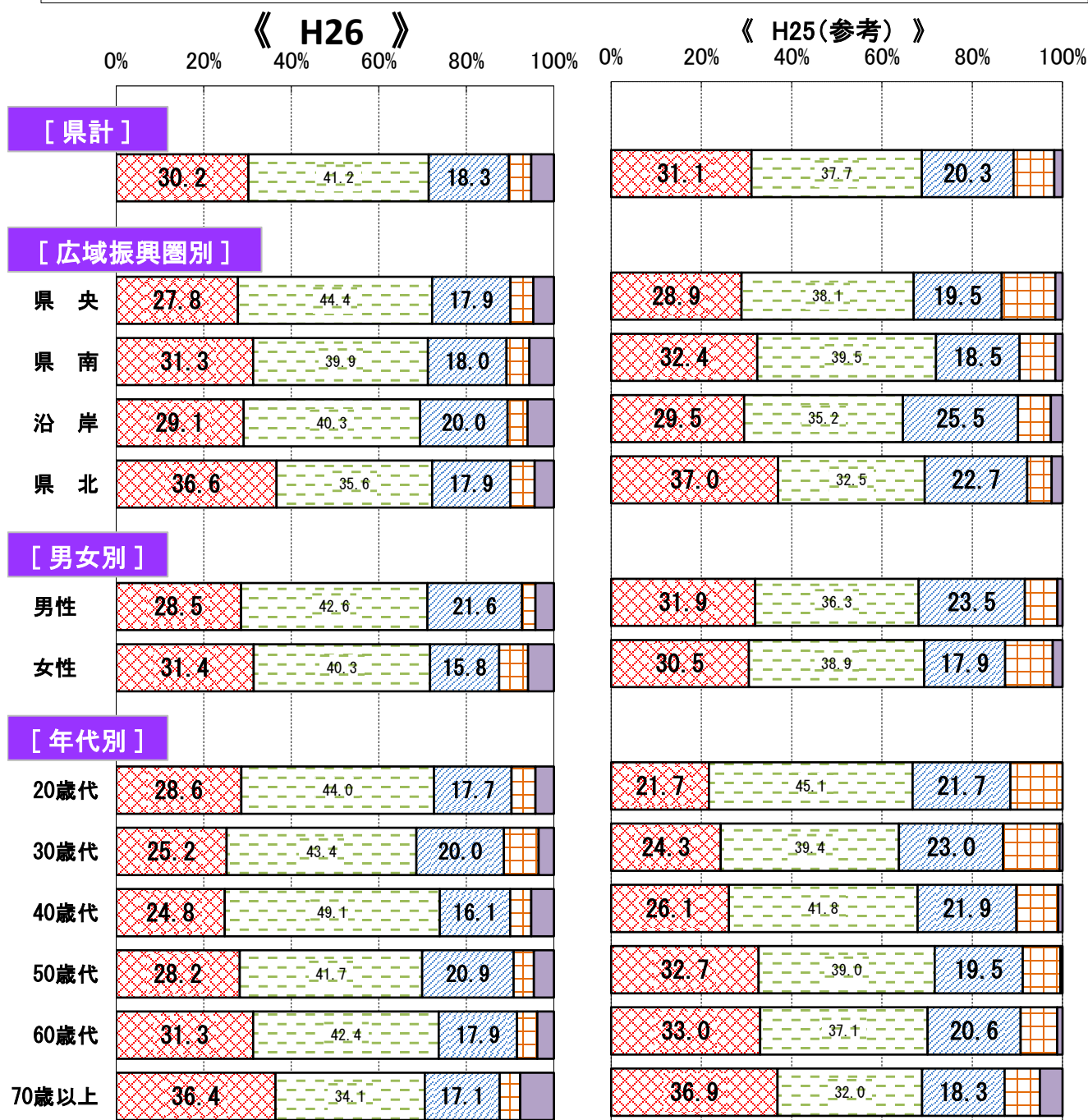
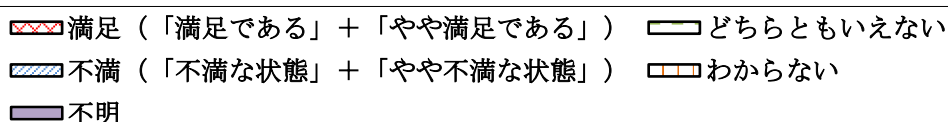
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が83.6%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の85.7%、最も低いのが県北の80.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.3%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(36.6%)、男女別では女性(31.4%)、年代別では70歳以上(36.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

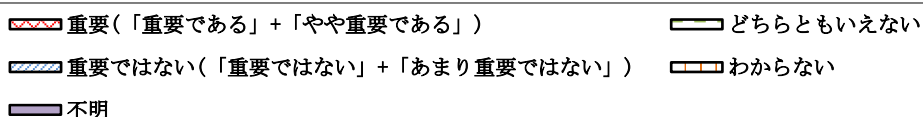


問2-19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割強(91.2%)

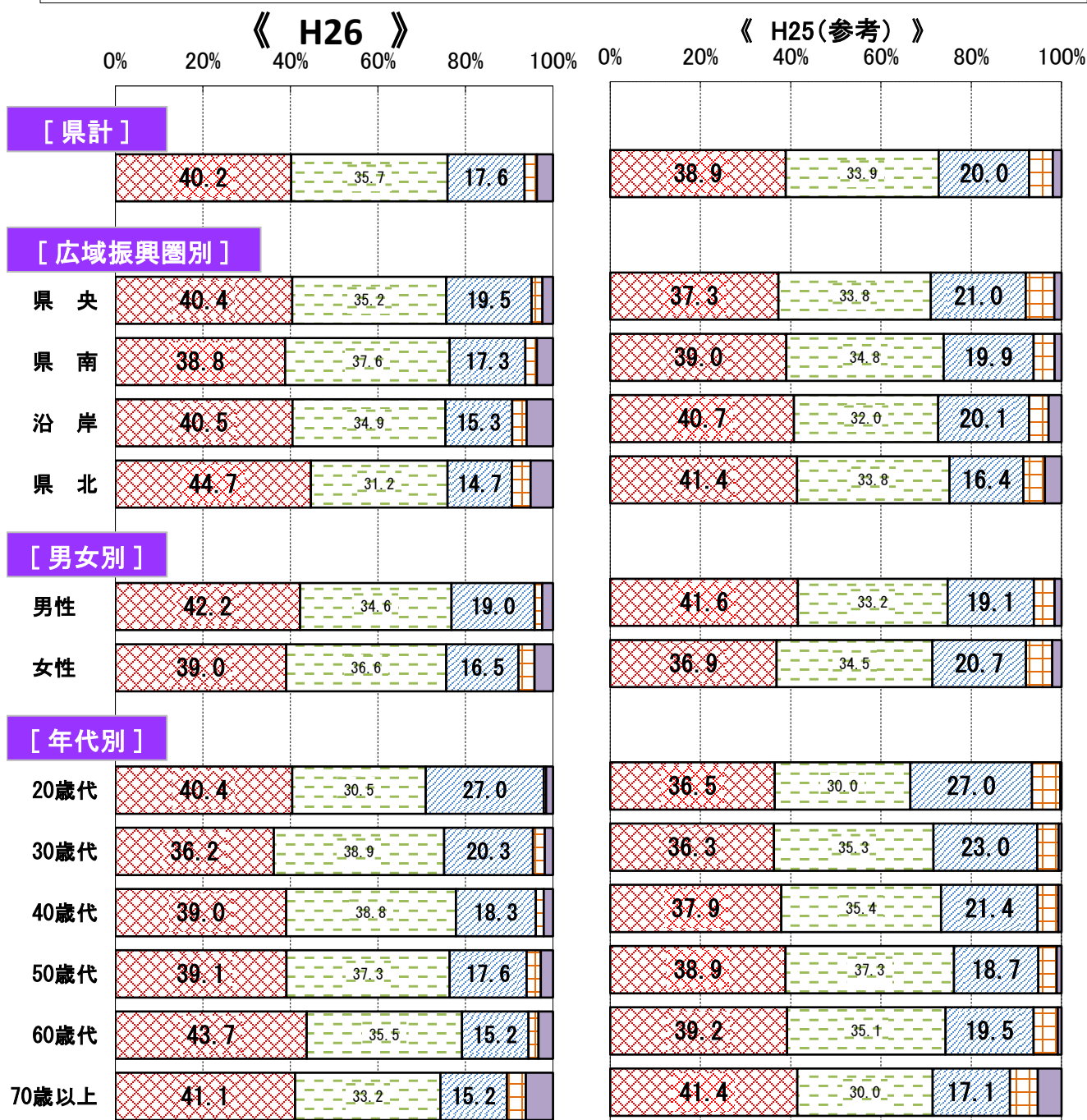
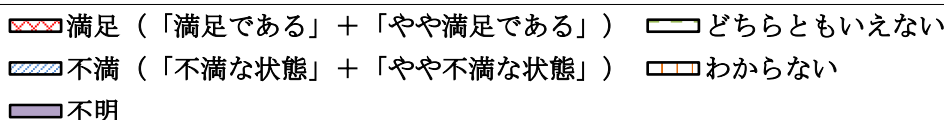
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が91.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が0.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の93.9%、最も低いのが県北の87.8%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が40.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.6%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(44.7%)、男女別では男性(42.2%)、年代別では60歳代(43.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

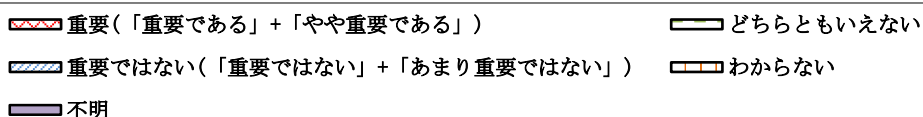


問2-20 交通事故が少ない社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割強(91.2%)

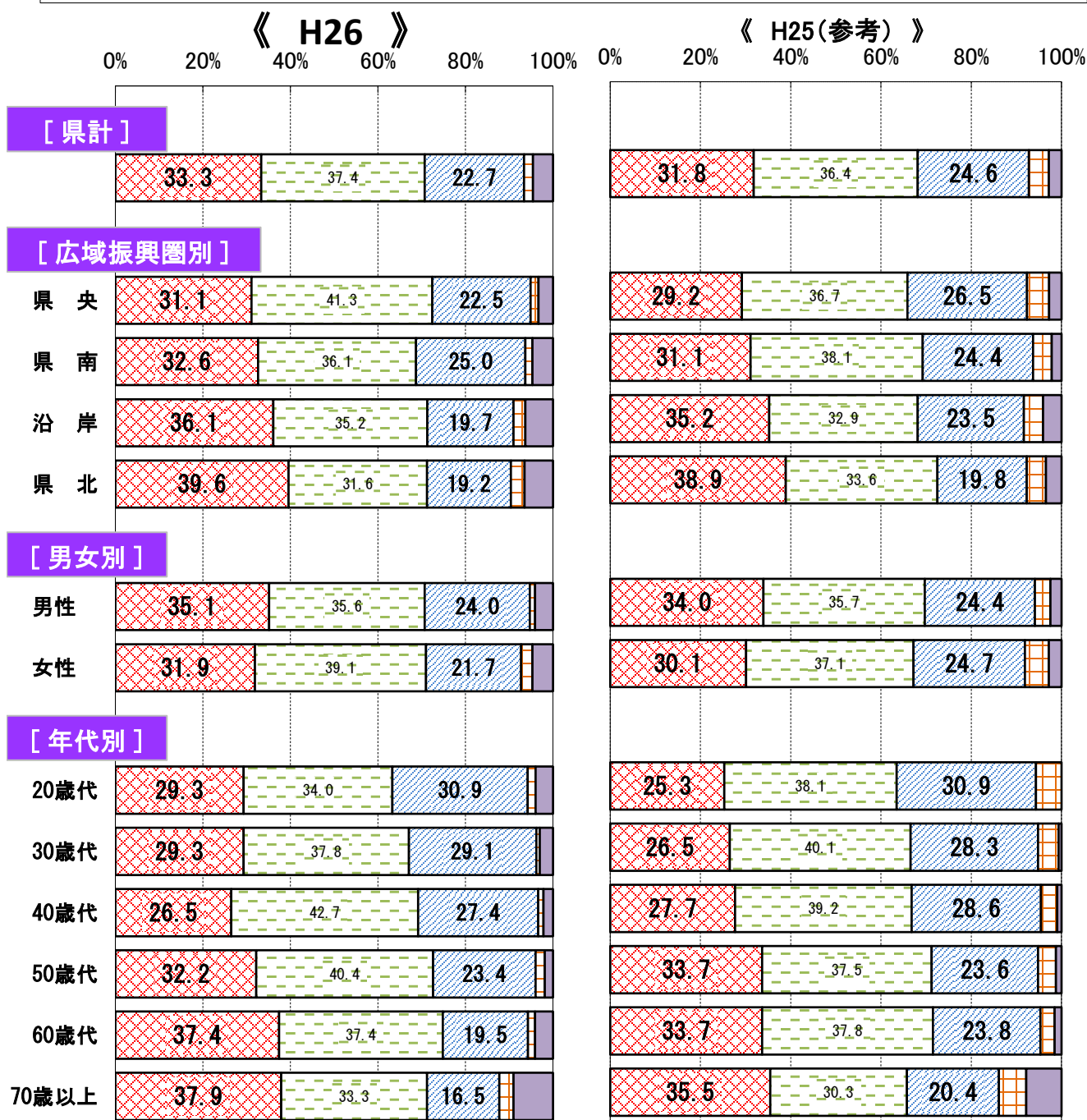
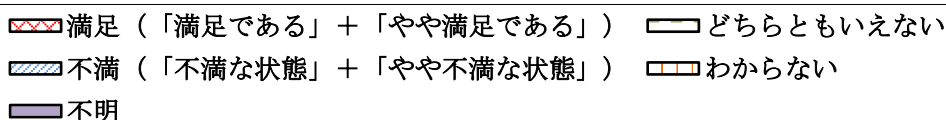
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が91.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が0.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の92.1%、最も低いのが県北の88.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が33.3%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合22.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北（39.6%）、男女別では男性（35.1%）、年代別では70歳以上（37.9%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

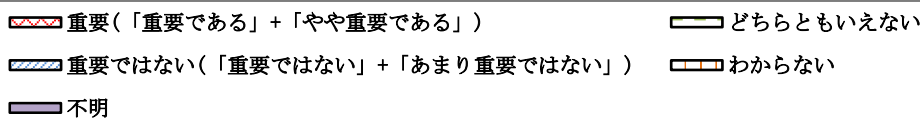


問2-21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(86.3%)

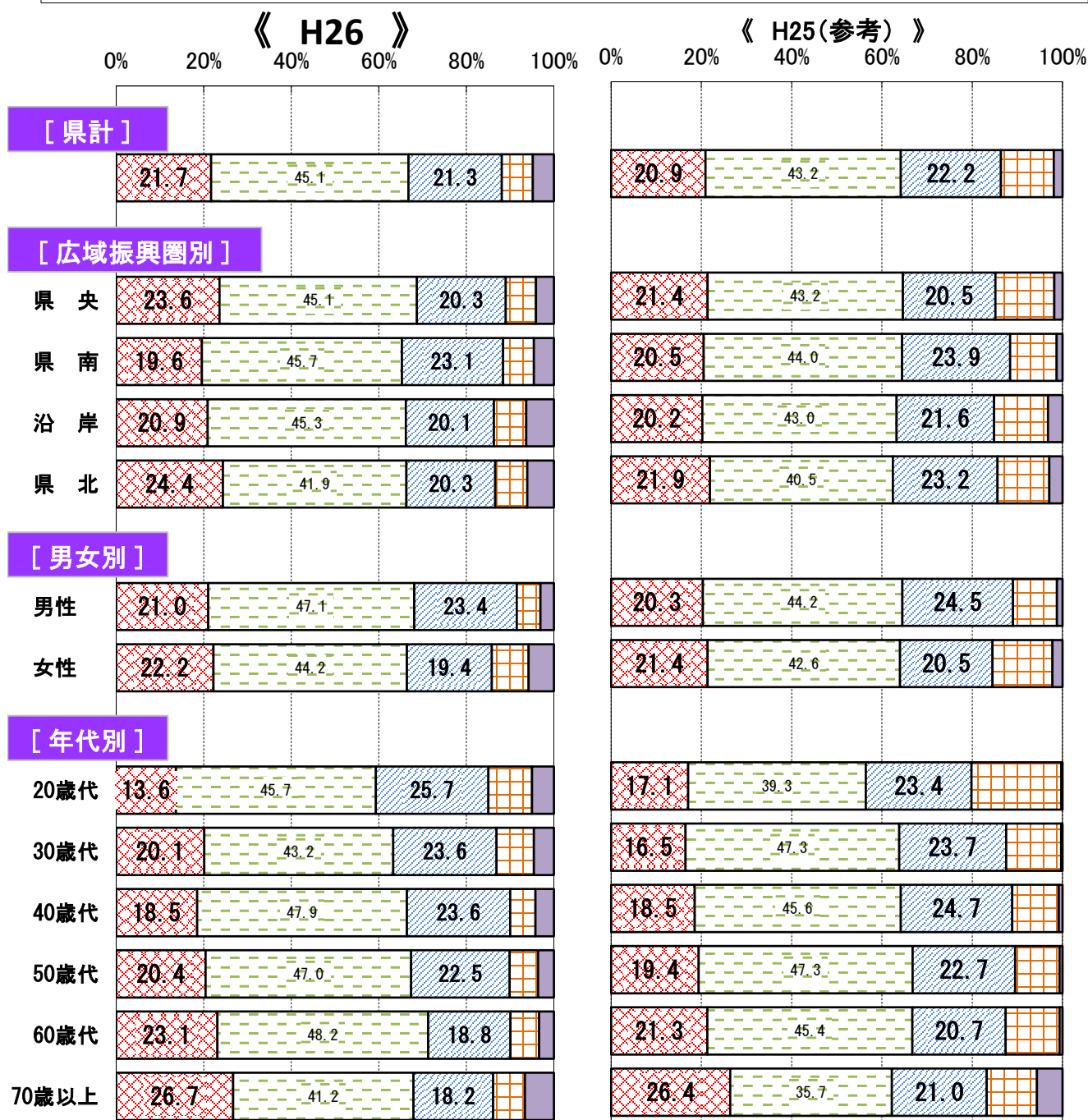
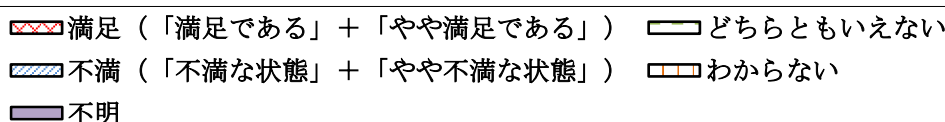
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.3%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の87.0%、最も低いのが沿岸の83.8%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が21.7%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合21.3%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北（24.4%）、男女別では女性（22.2%）、年代別では70歳以上（26.7%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

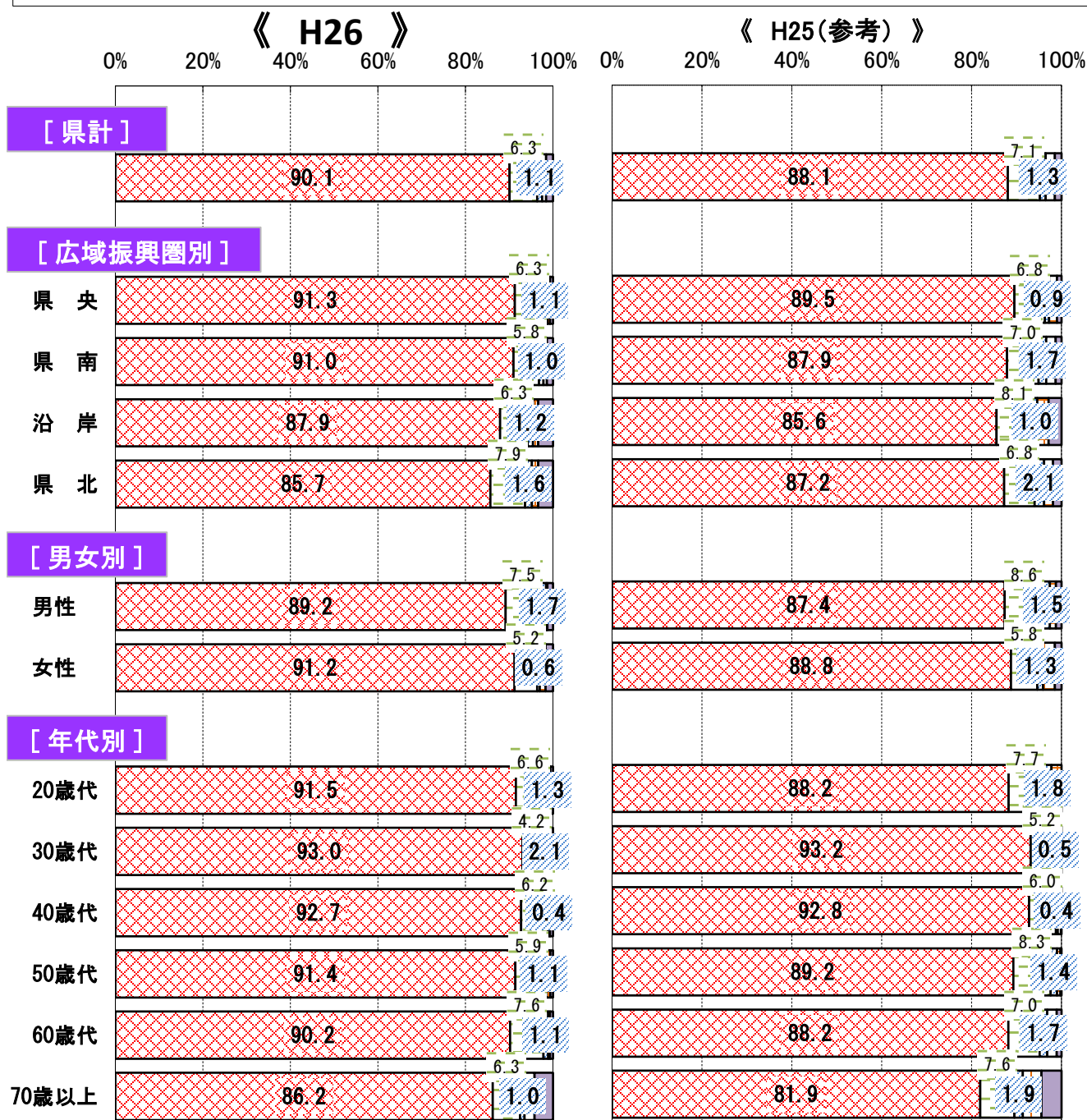
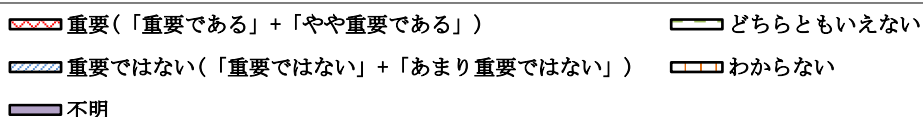


問2-22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。

(1) 重要度について

重要が約9割(90.1%)

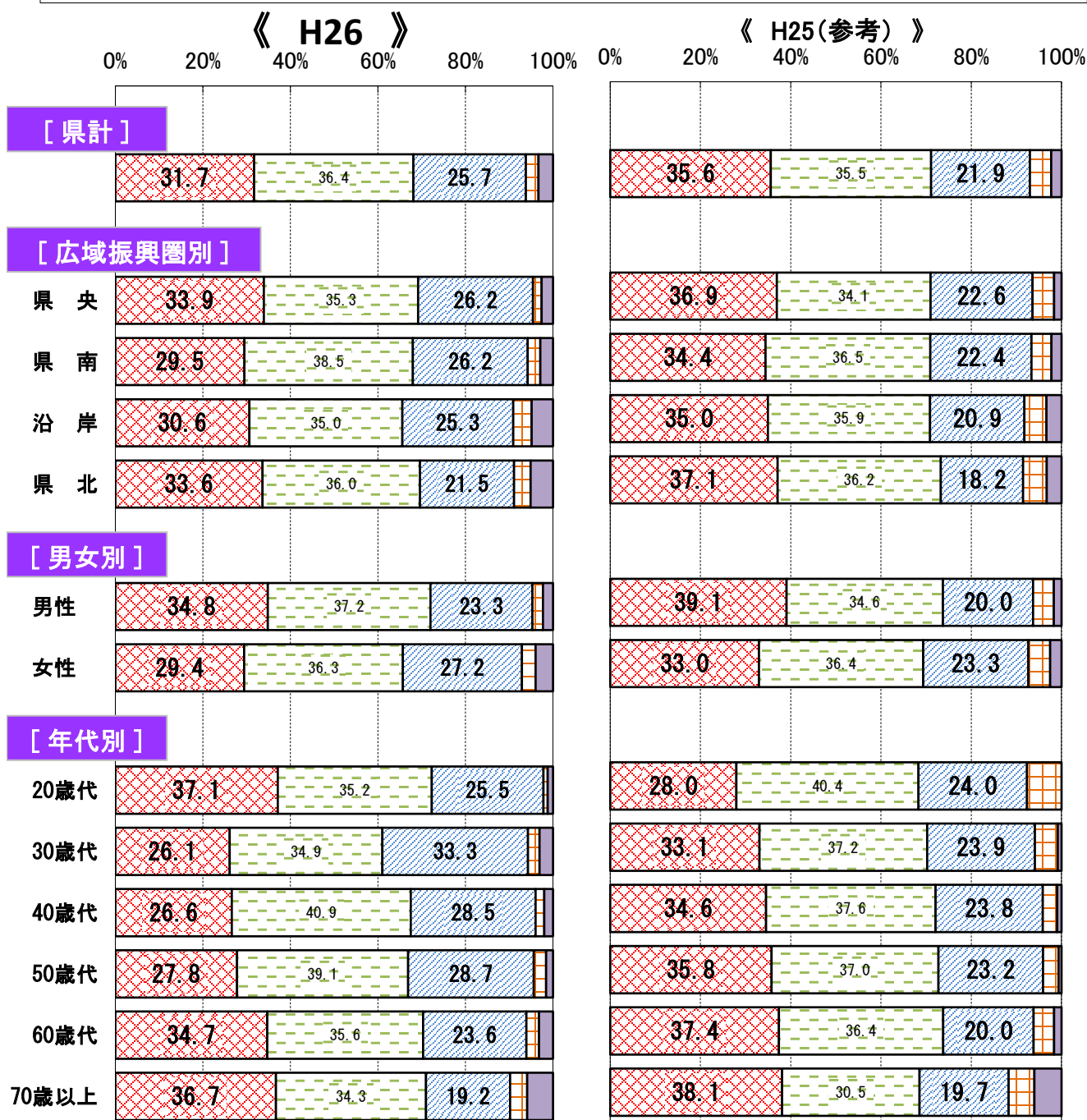
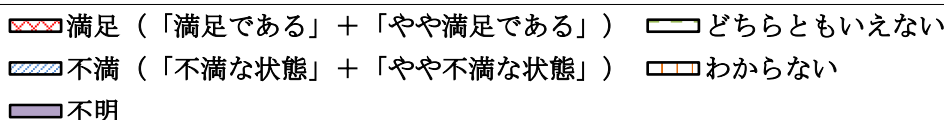
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が90.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の91.3%、最も低いのが県北の85.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(33.9%)、男女別では男性(34.8%)、年代別では20歳代(37.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

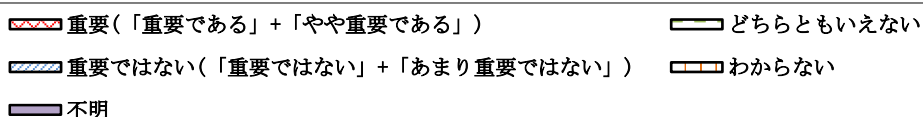


問2-23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(81.1%)

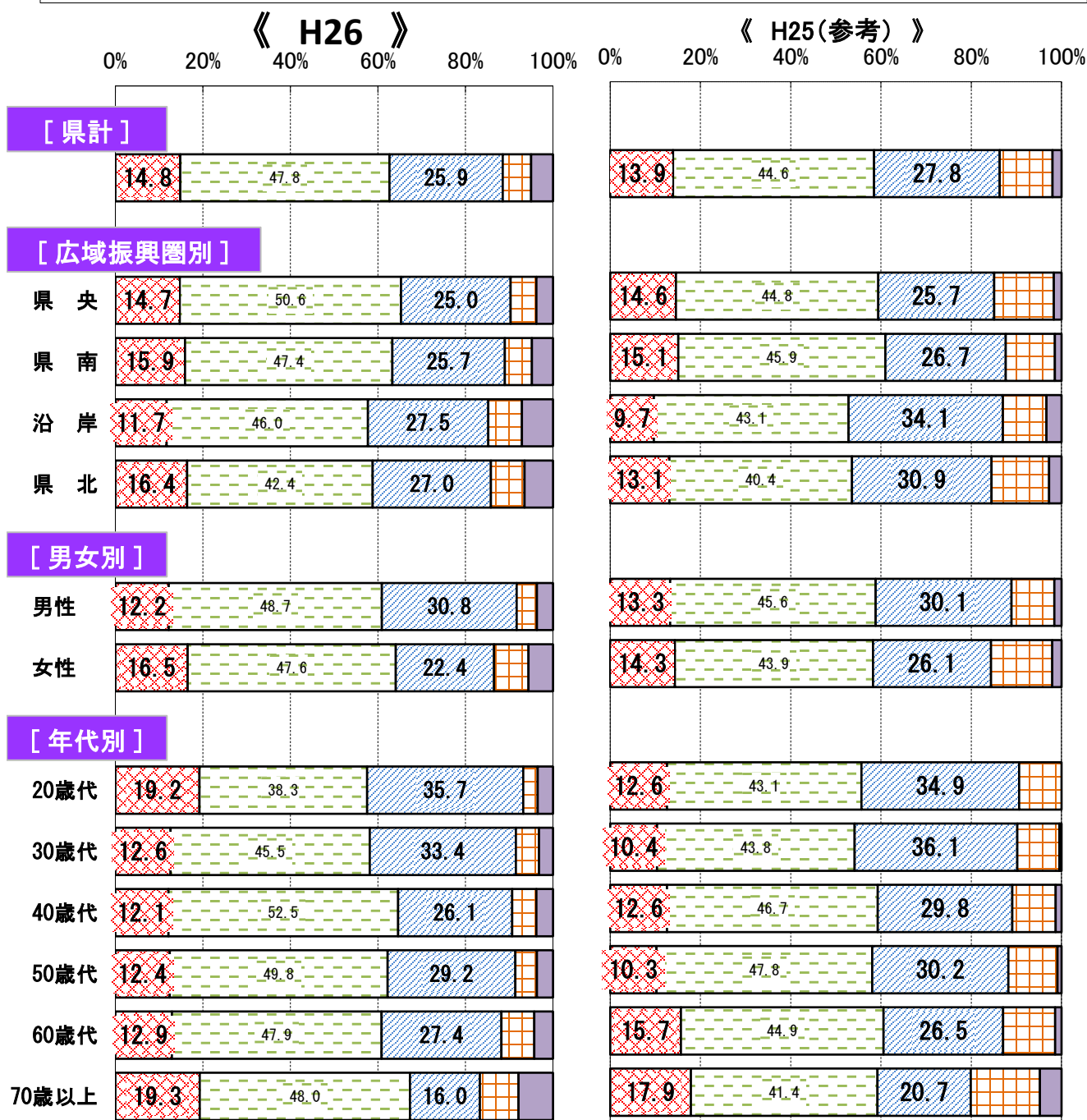
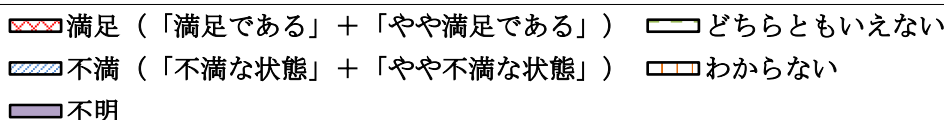
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が81.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央及び県南の81.9%、最も低いのが沿岸の77.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が14.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(16.4%)、男女別では女性(16.5%)、年代別では70歳以上(19.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

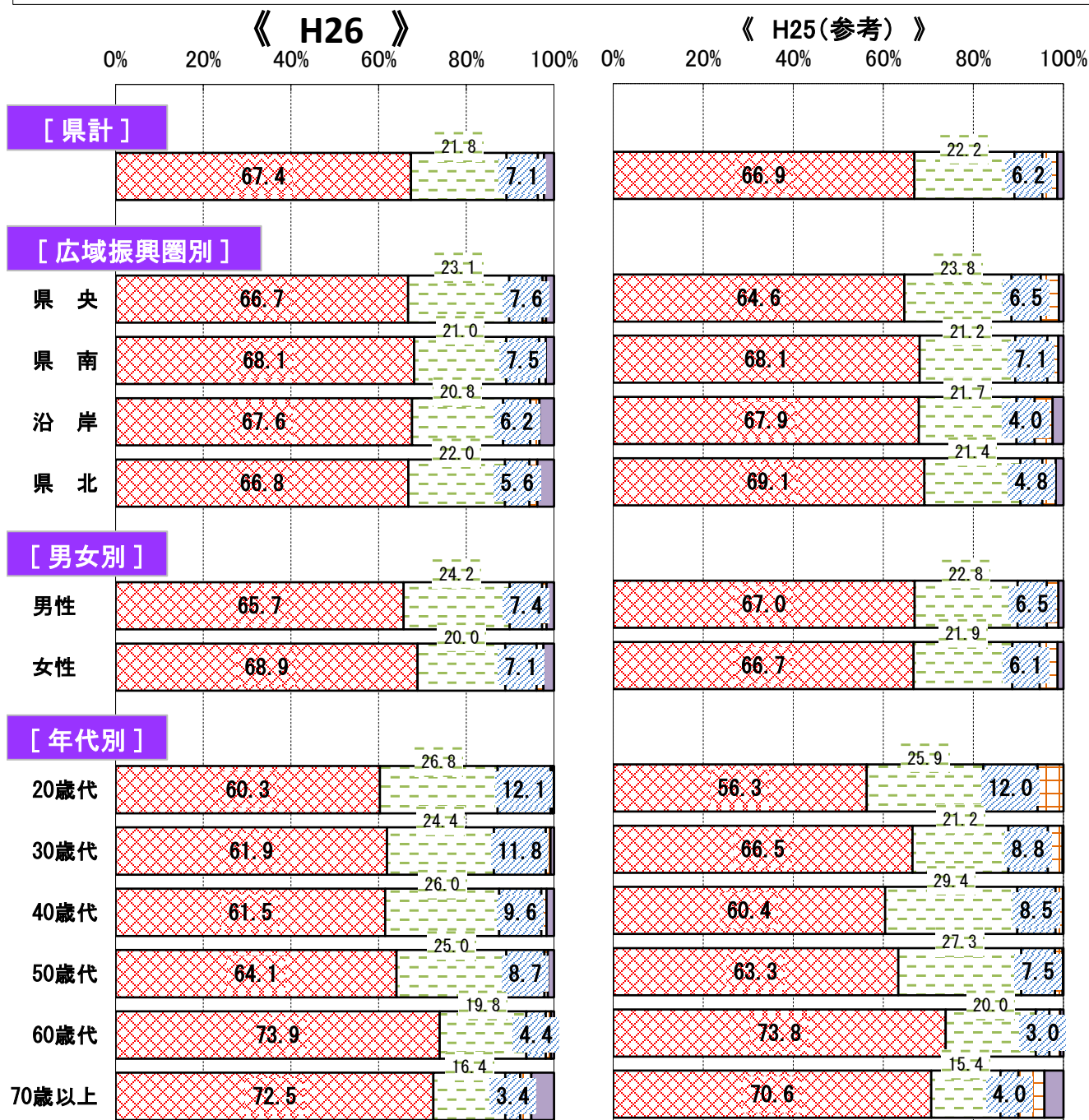
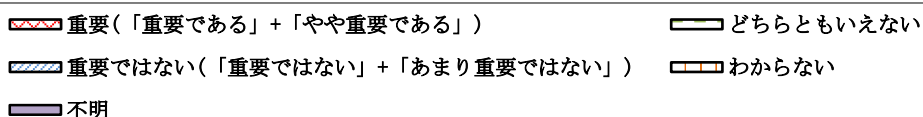


問2-24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(67.4%)

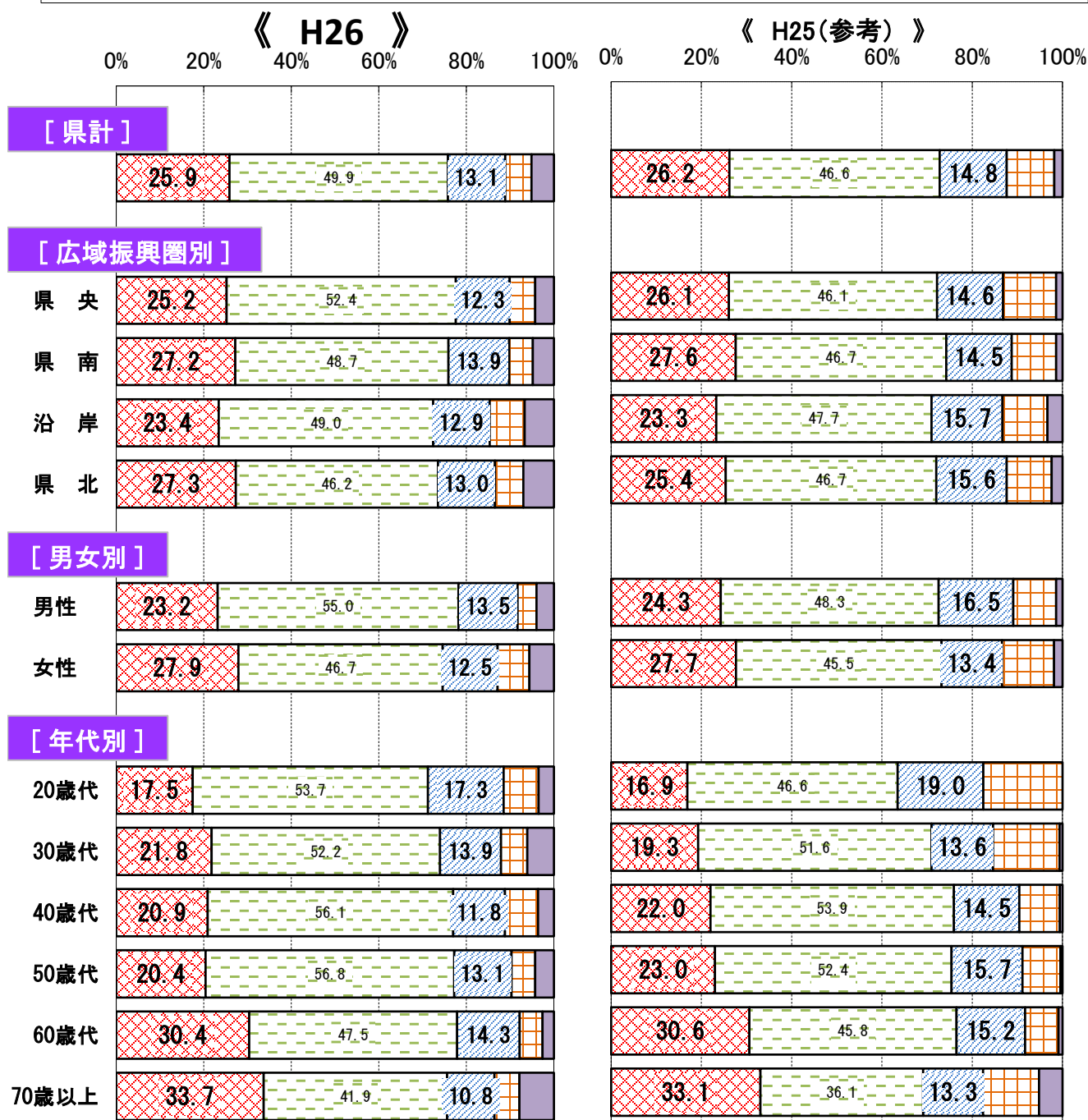
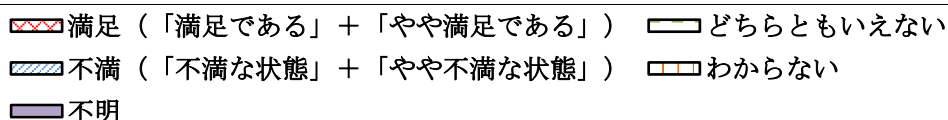
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が67.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が7.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の68.1%、最も低いのが県央の66.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が25.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.1%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(27.3%)、男女別では女性(27.9%)、年代別では70歳以上(33.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

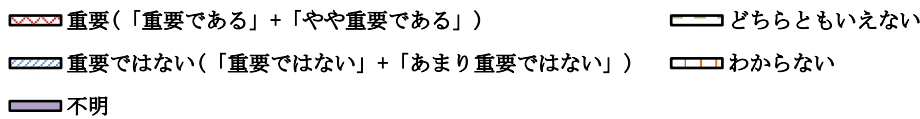


問2-25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。

(1) 重要度について

重要が8割弱(76.7%)

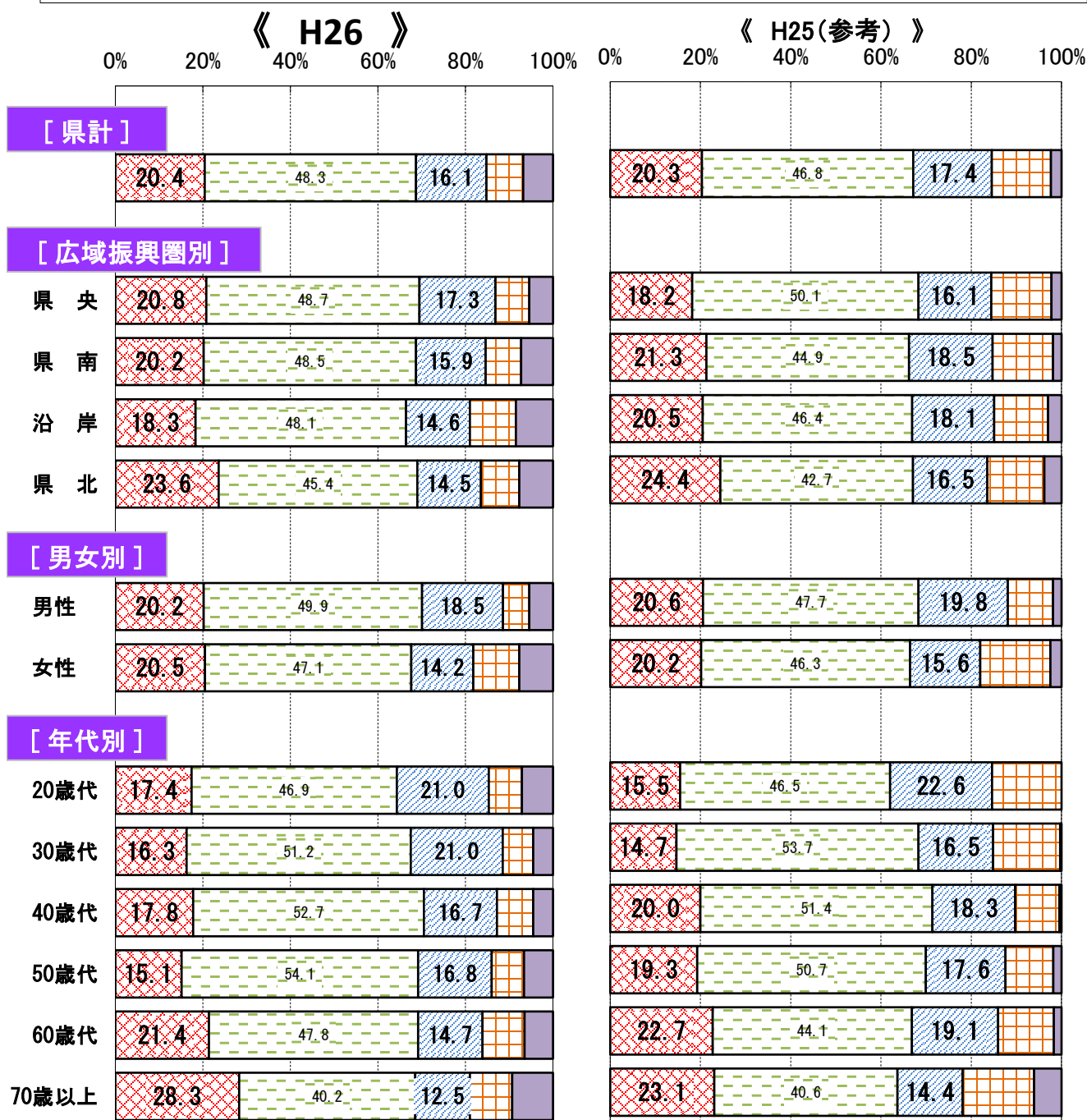
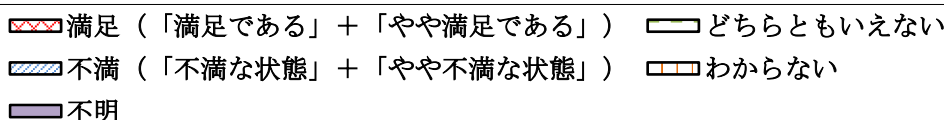
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が76.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の77.7%、最も低いのが沿岸の74.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が20.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合16.1%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(23.6%)、年代別では70歳以上(28.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

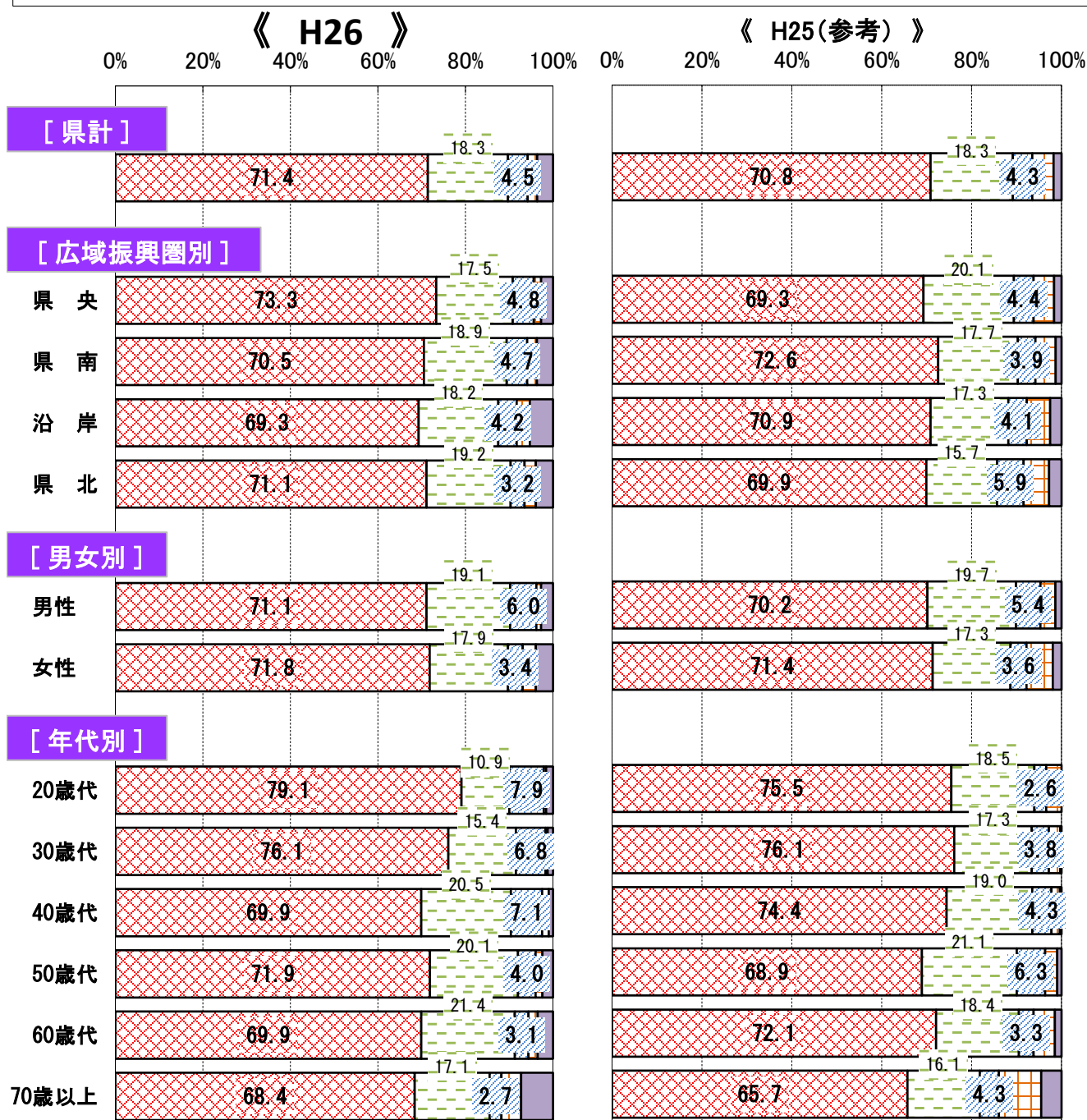
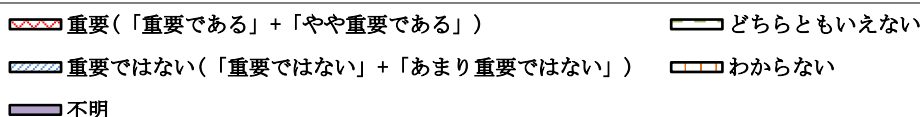


問2-26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。

(1) 重要度について

重要が7割強(71.4%)

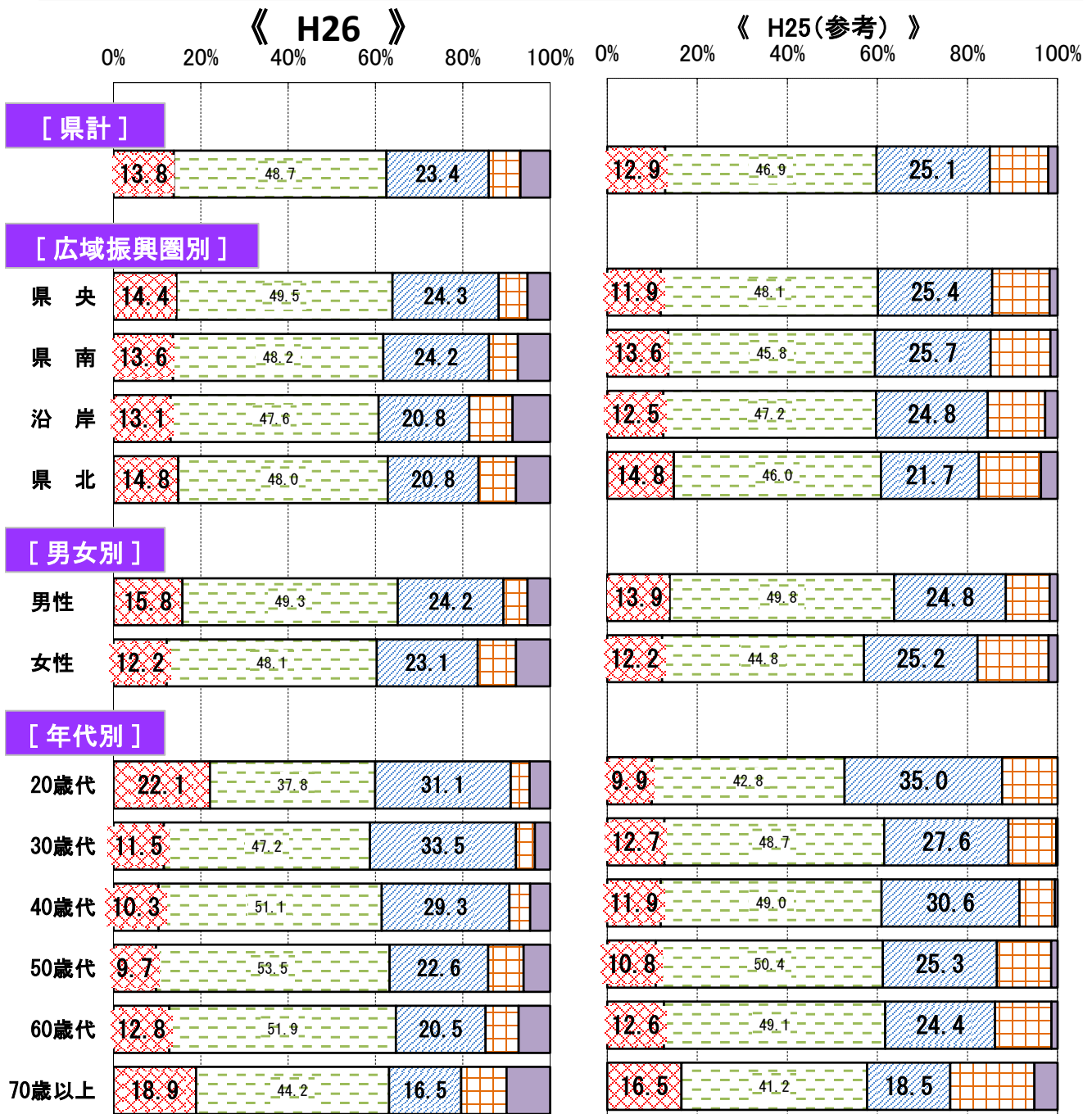
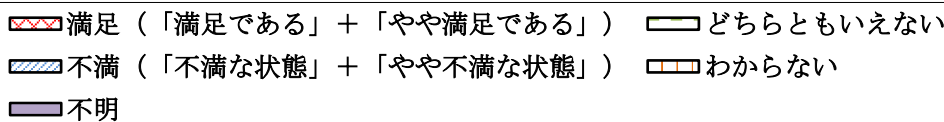
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が71.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が4.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の73.3%、最も低いのが沿岸の69.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が13.8%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合23.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(14.8%)、男女別では男性(15.8%)、年代別では20歳代(22.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

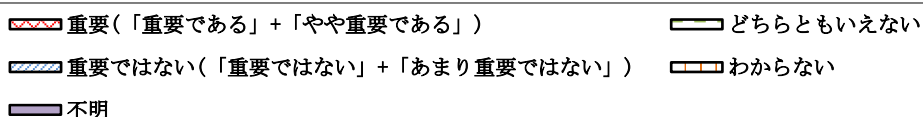


問2-27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。

(1) 重要度について

重要が約8割(79.5%)

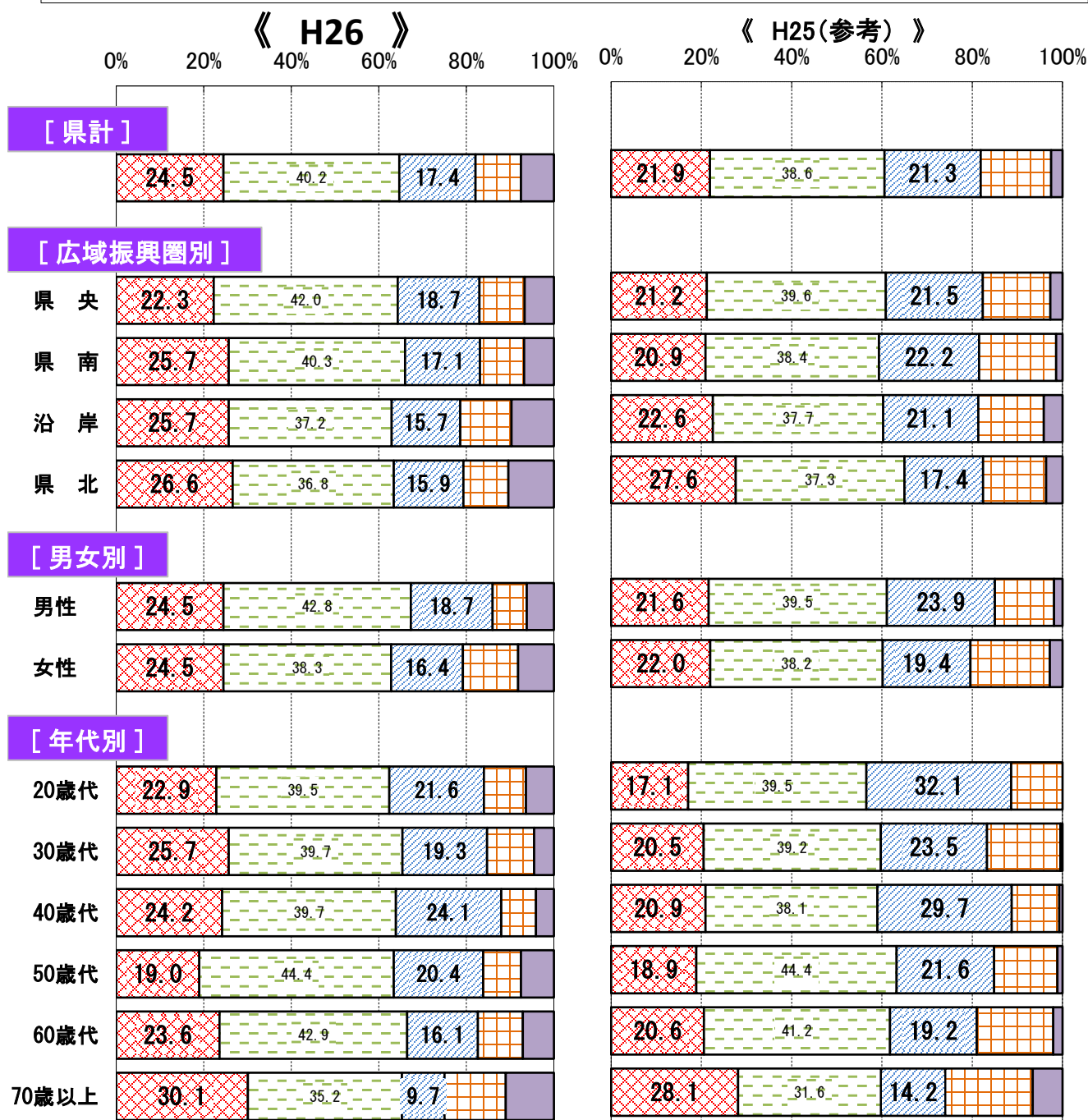
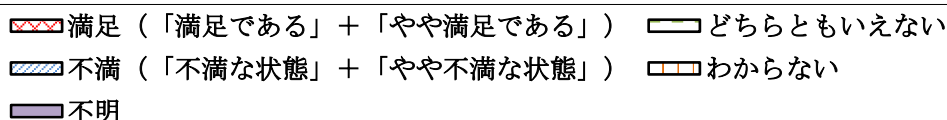
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が79.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の82.0%、最も低いのが沿岸の74.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が24.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(26.6%)、年代別では70歳以上(30.1%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

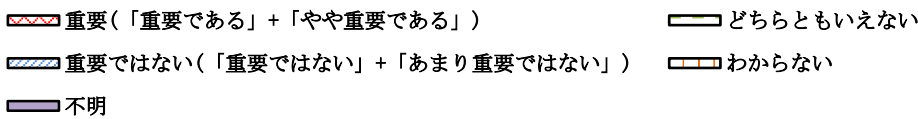


問2-28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。

(1) 重要度について

重要が8割弱(79.3%)

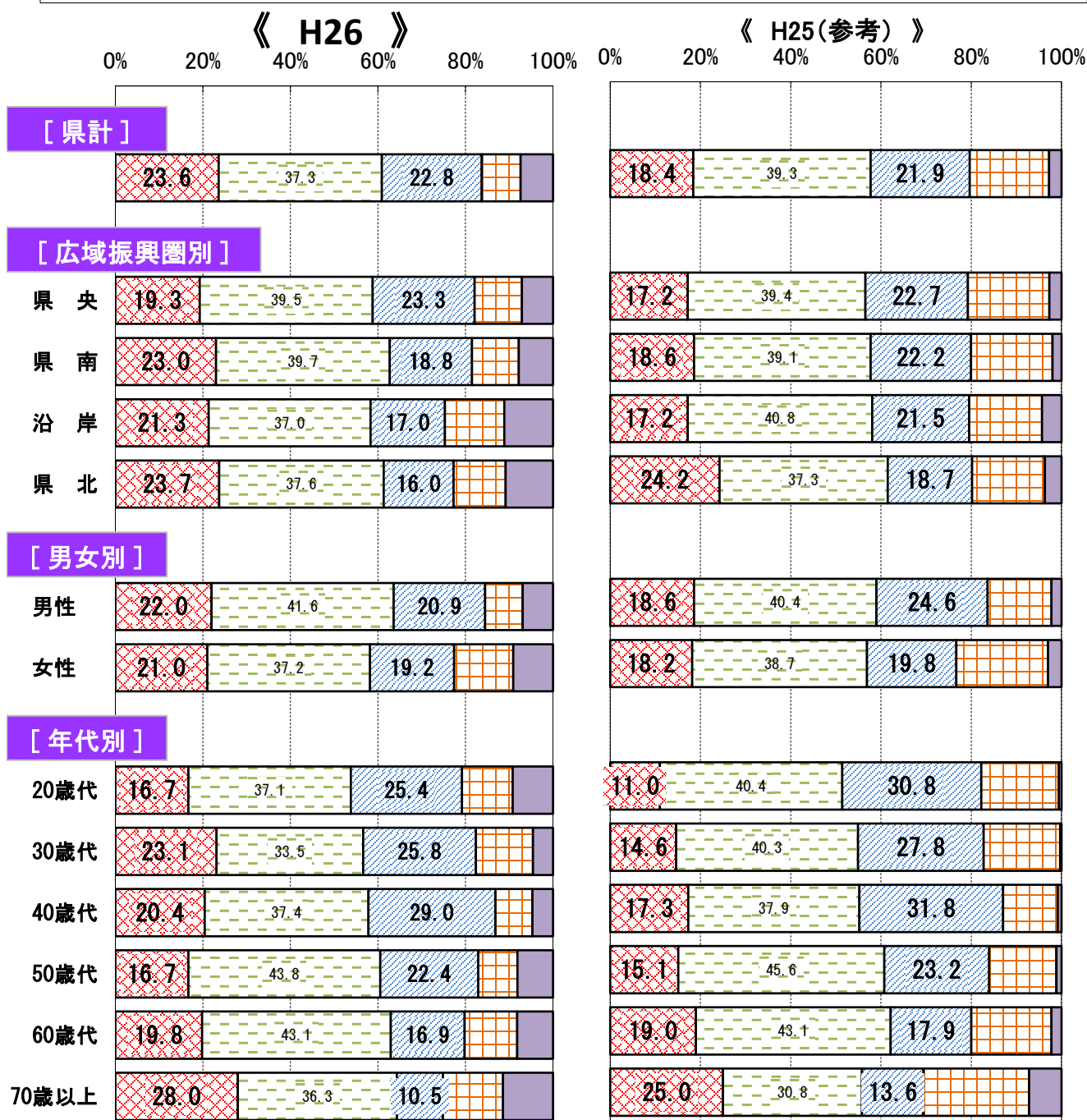
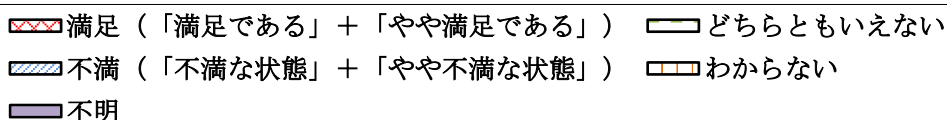
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が79.3%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の81.5%、最も低いのが沿岸の76.0%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.8%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(23.7%)、男女別では男性(22.0%)、年代別では70歳以上(28.0%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

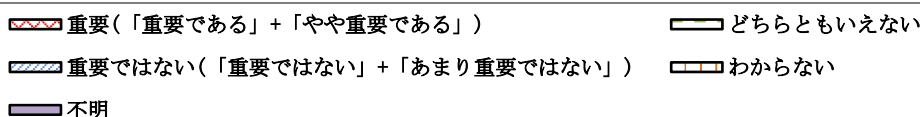


問2-29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。

(1) 重要度について

重要が約85% (86.0%)

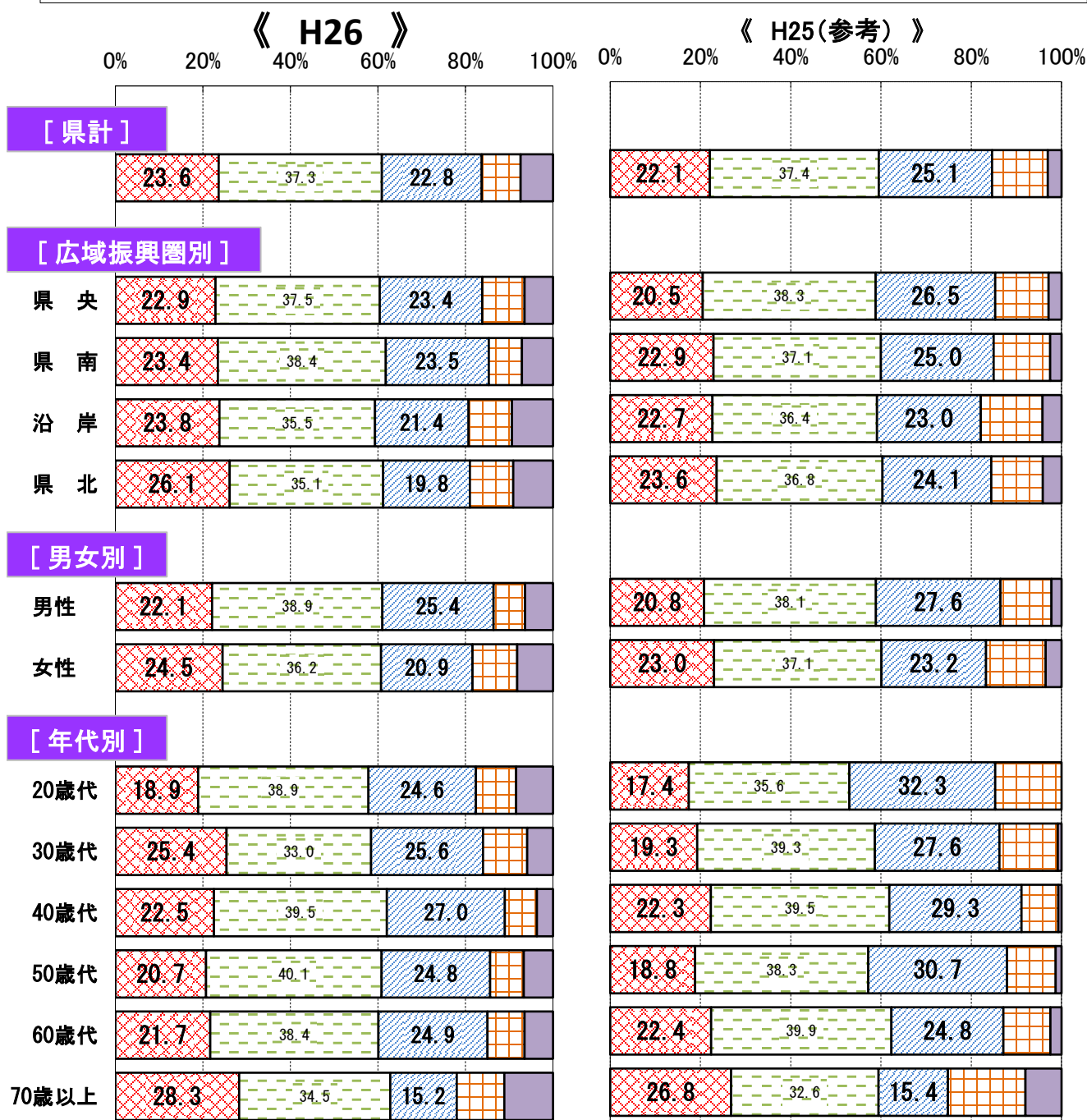
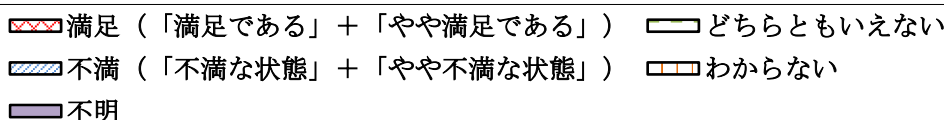
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.0%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.9%、最も低いのが県北の81.8%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が23.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合22.8%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(26.1%)、男女別では女性(24.5%)、年代別では70歳以上(28.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

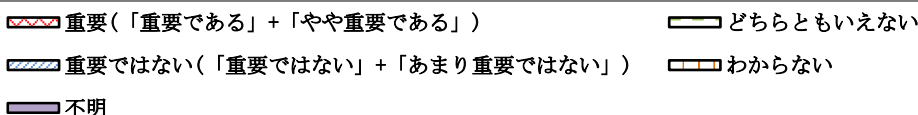


問2-30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。

(1) 重要度について

重要が約85%(84.1%)

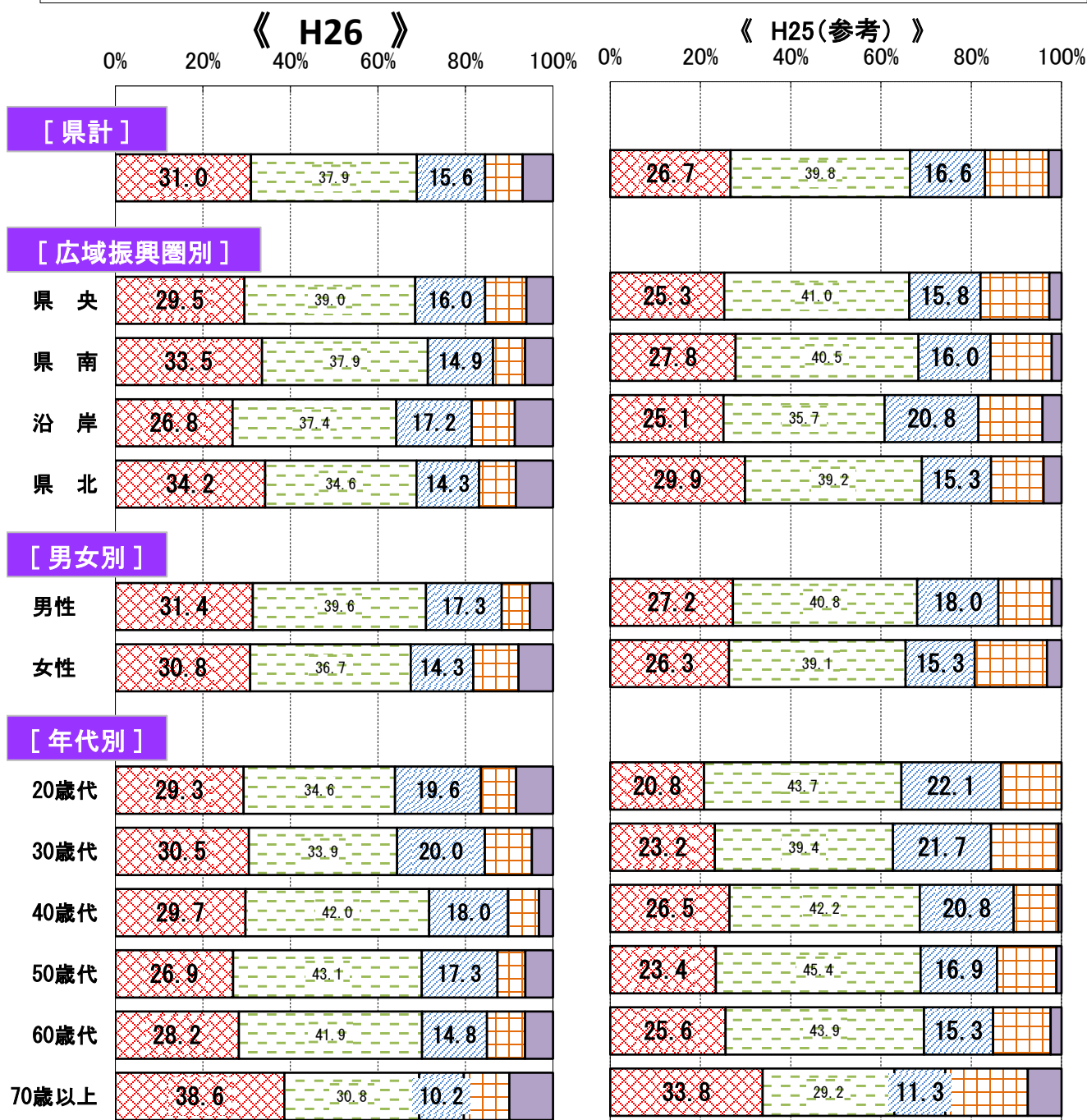
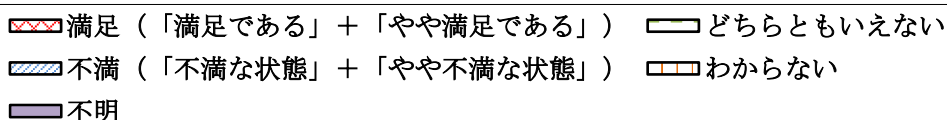
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が84.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の86.0%、最も低いのが沿岸の81.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合15.6%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(34.2%)、男女別では男性(31.4%)、年代別では70歳以上(38.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

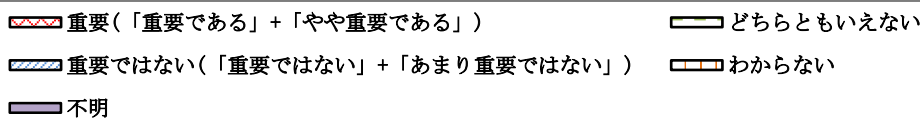


問2-31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。

(1) 重要度について

重要が約8割(80.4%)

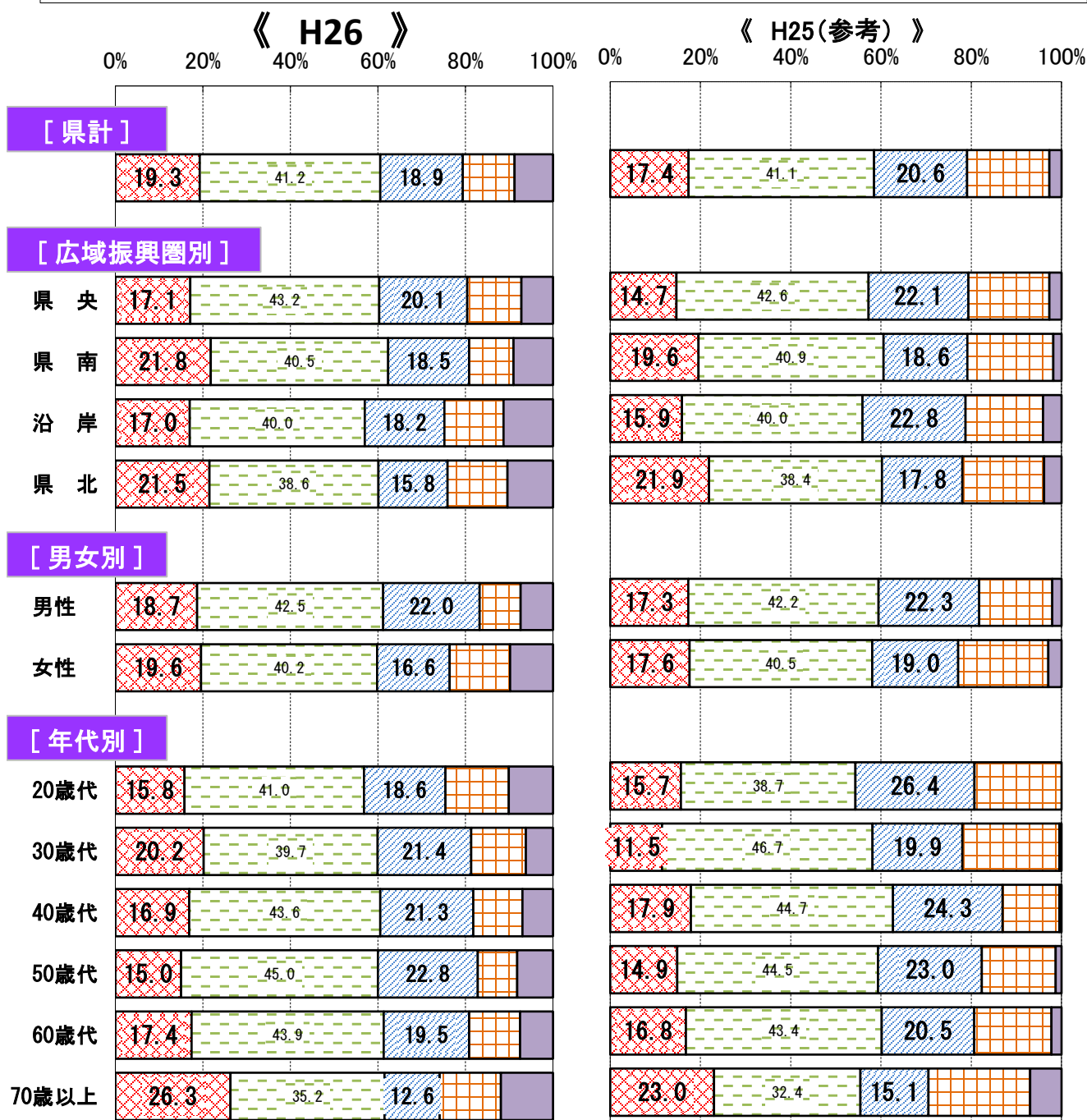
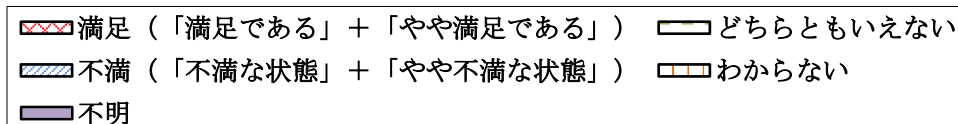
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が80.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の82.1%、最も低いのが県北の76.8%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合18.9%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(21.8%)、男女別では女性(19.6%)、年代別では70歳以上(26.3%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

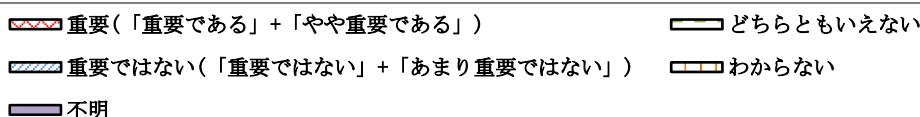


問2-32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。

(1) 重要度について

重要が約75% (75.7%)

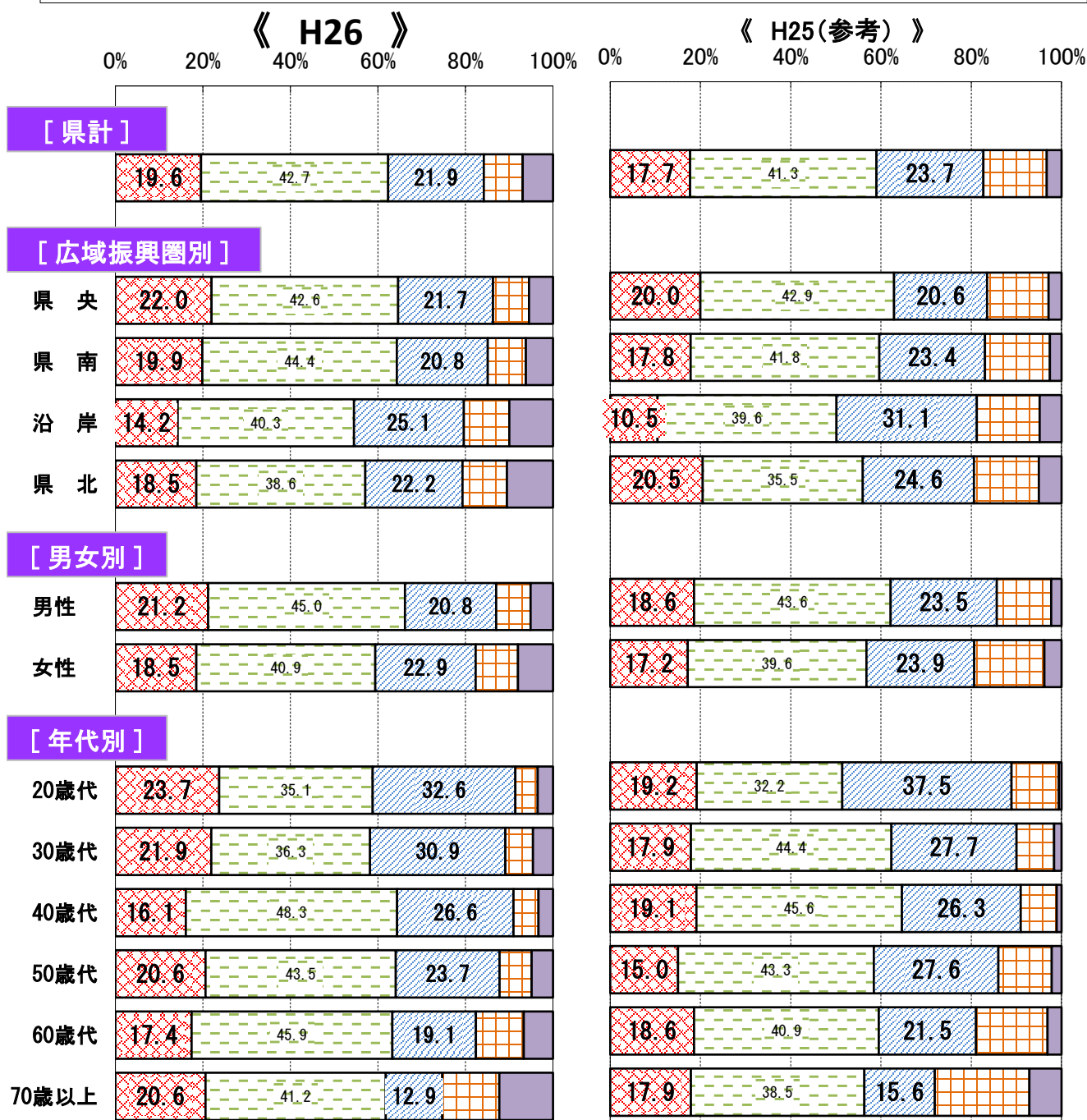
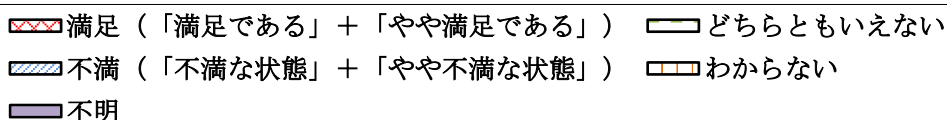
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が75.7%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.8%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の78.5%、最も低いのが県北の72.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.6%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合21.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(22.0%)、男女別では男性(21.2%)、年代別では20歳代(23.7%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

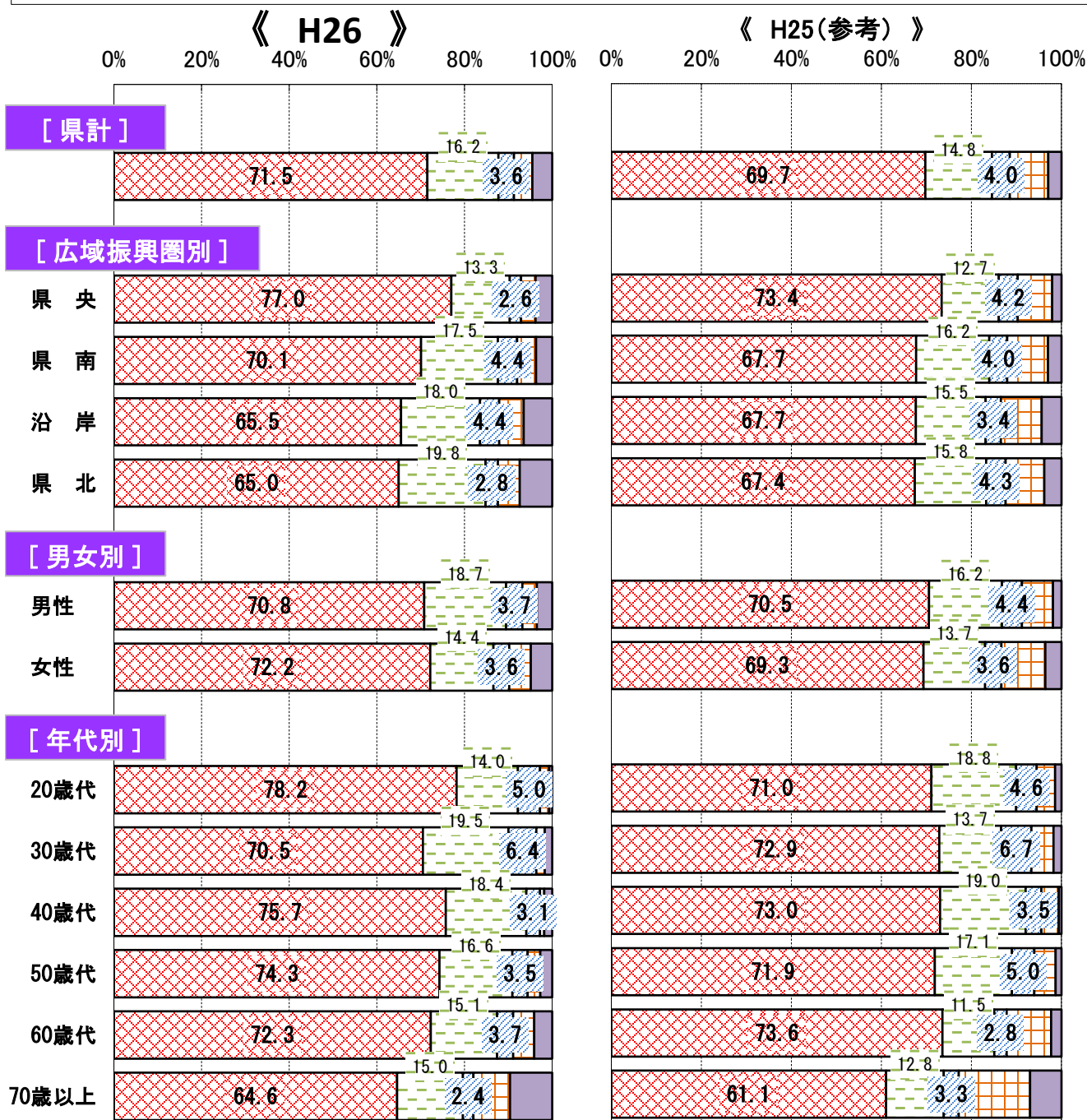
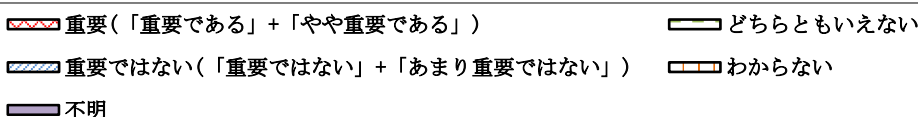


問2-33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。

(1) 重要度について

重要が7割強(71.5%)

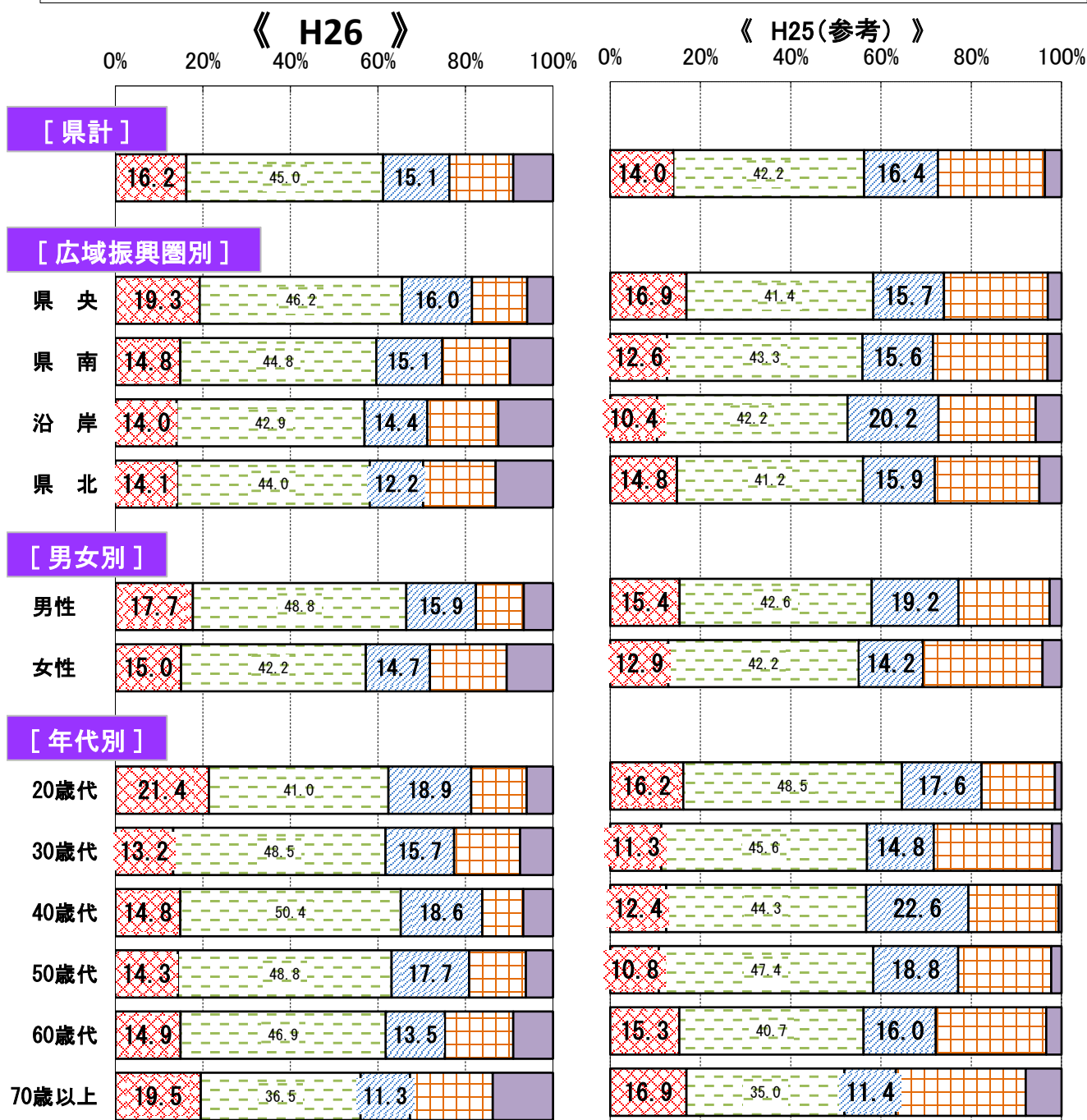
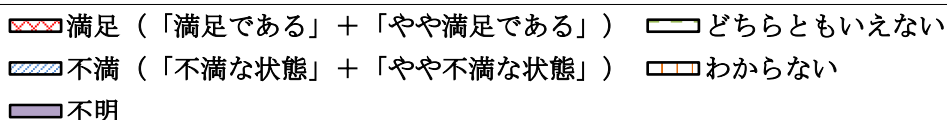
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が71.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.6%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の77.0%、最も低いのが県北の65.0%となっている。



(2) 満足度について

満足と不満にほとんど差はない

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が16.2%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合15.1%とほとんど差はない。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央（19.3%）、男女別では男性（17.7%）、年代別では20歳代（21.4%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

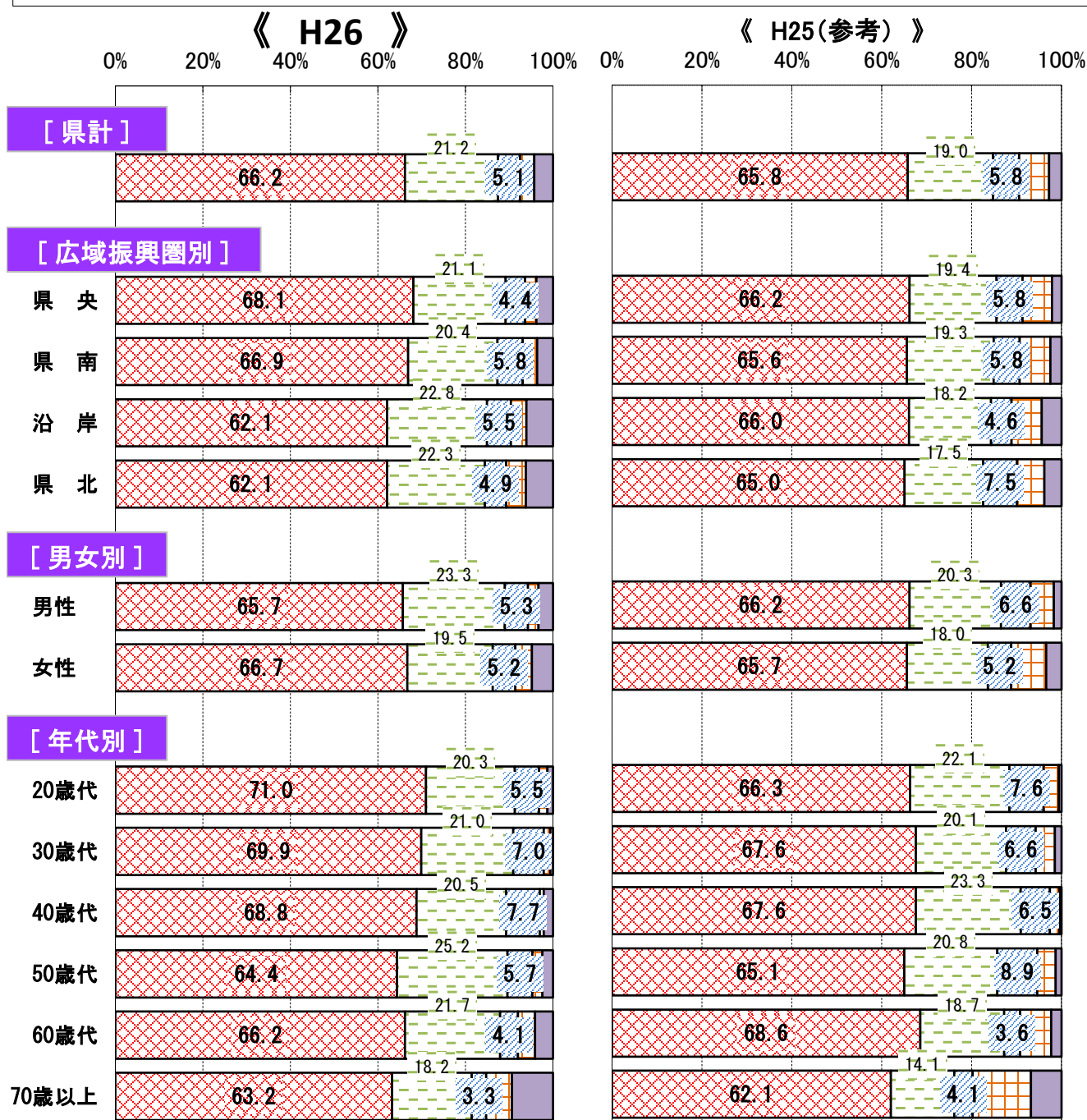
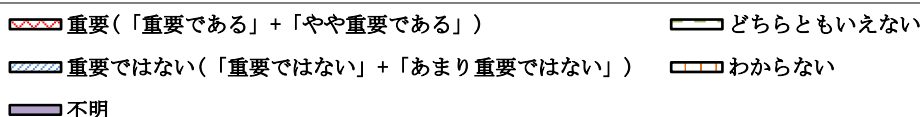


問2-34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組みがされていること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.2%)

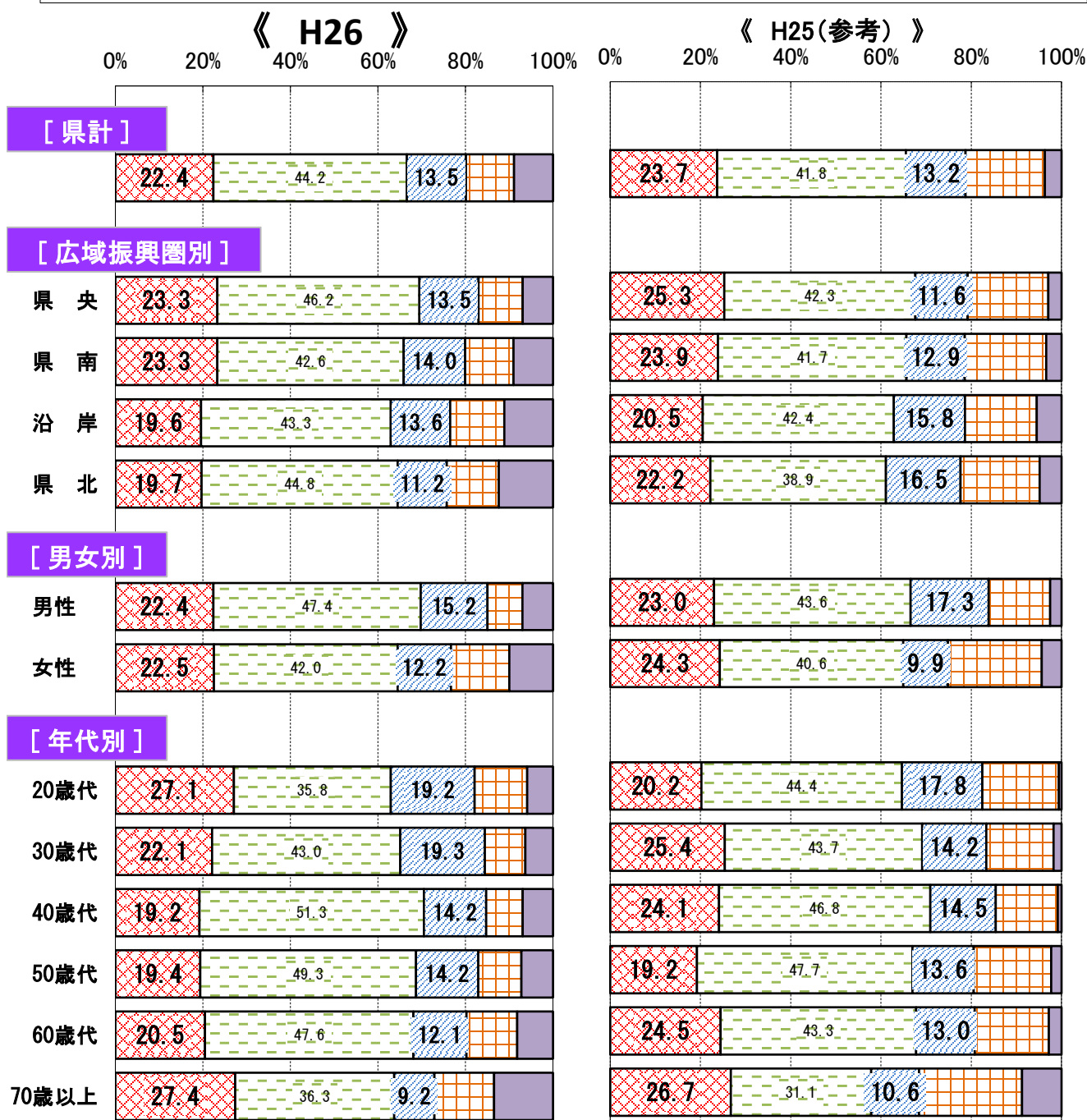
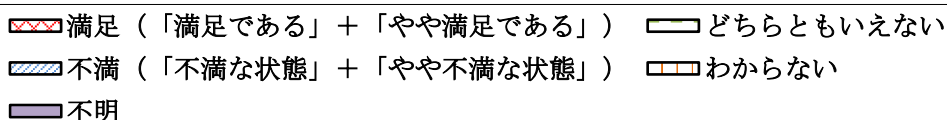
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が5.1%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の68.1%、最も低いのが沿岸及び県北の62.1%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が22.4%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.5%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央及び県南(23.3%)、年代別では70歳以上(27.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

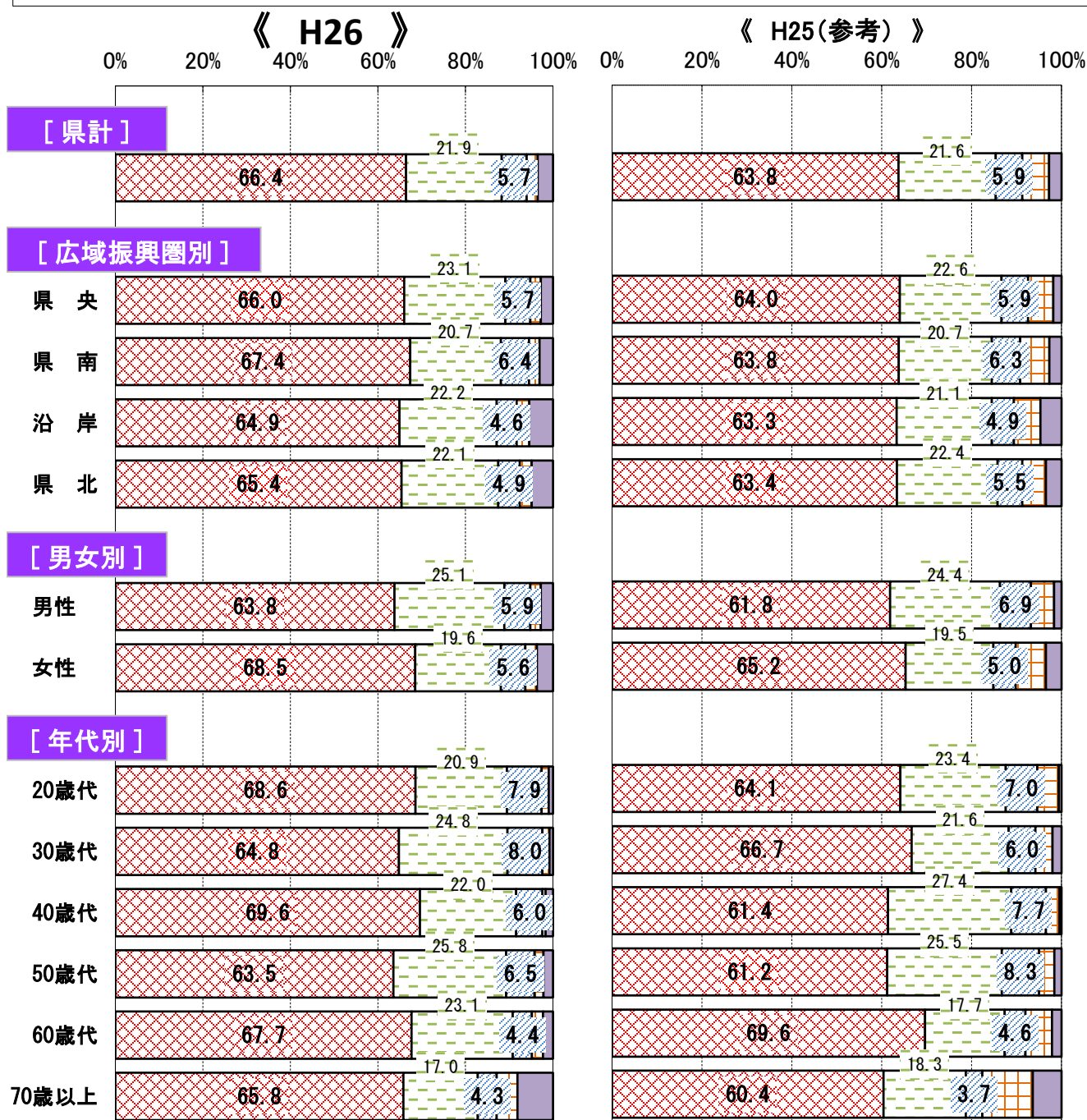
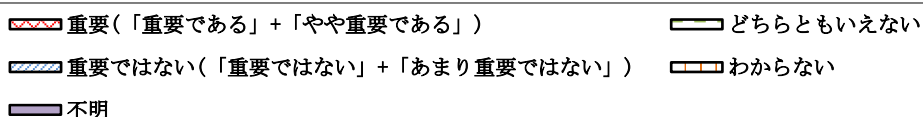


問2-35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.4%)

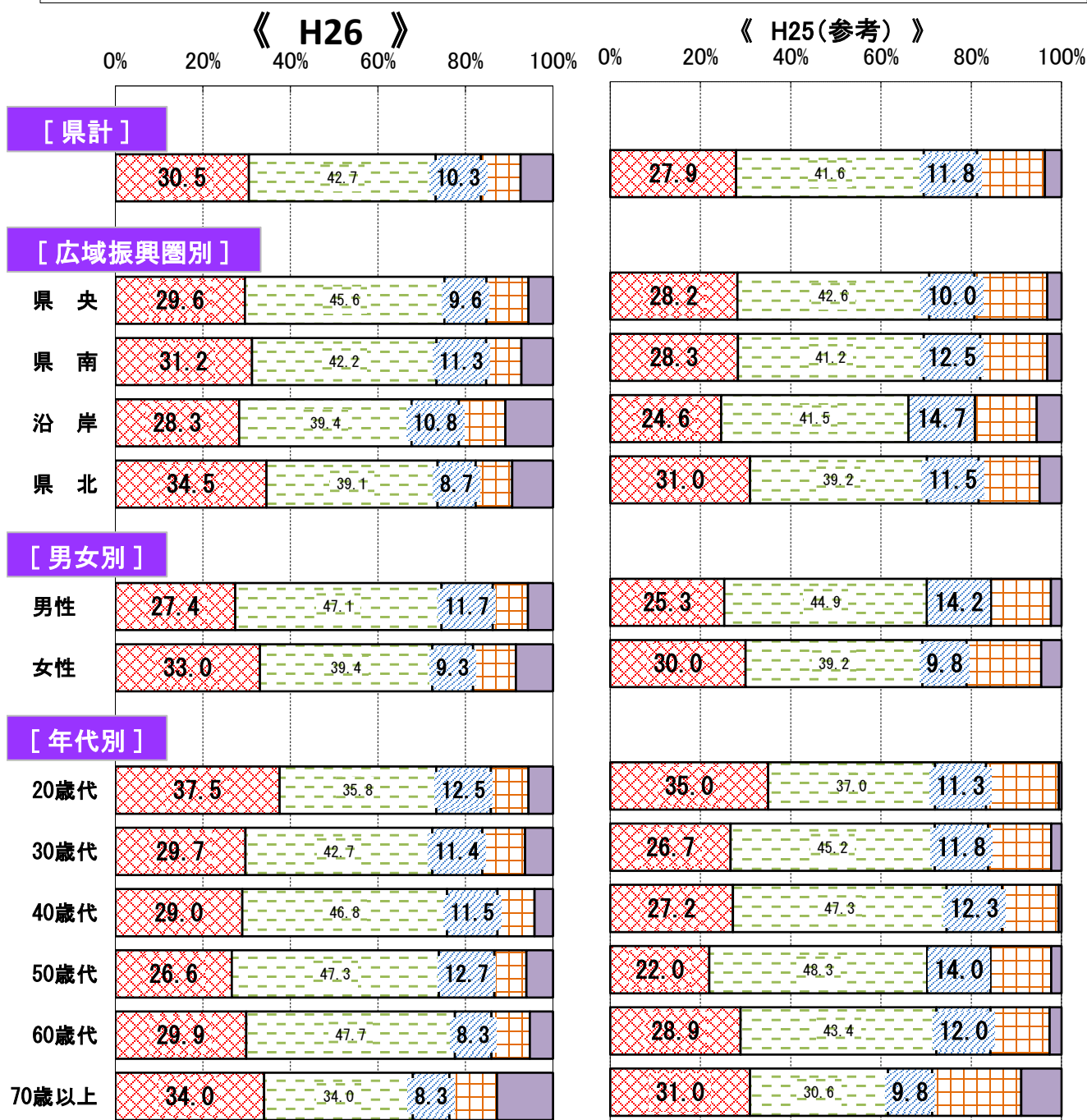
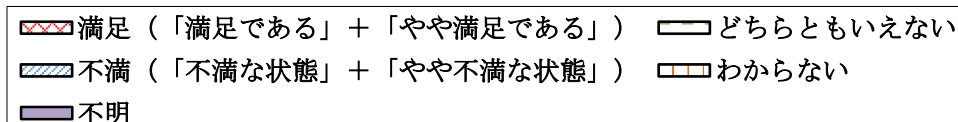
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が5.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の67.4%、最も低いのが沿岸の64.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が30.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合10.3%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県北(34.5%)、男女別では女性(33.0%)、年代別では20歳代(37.5%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

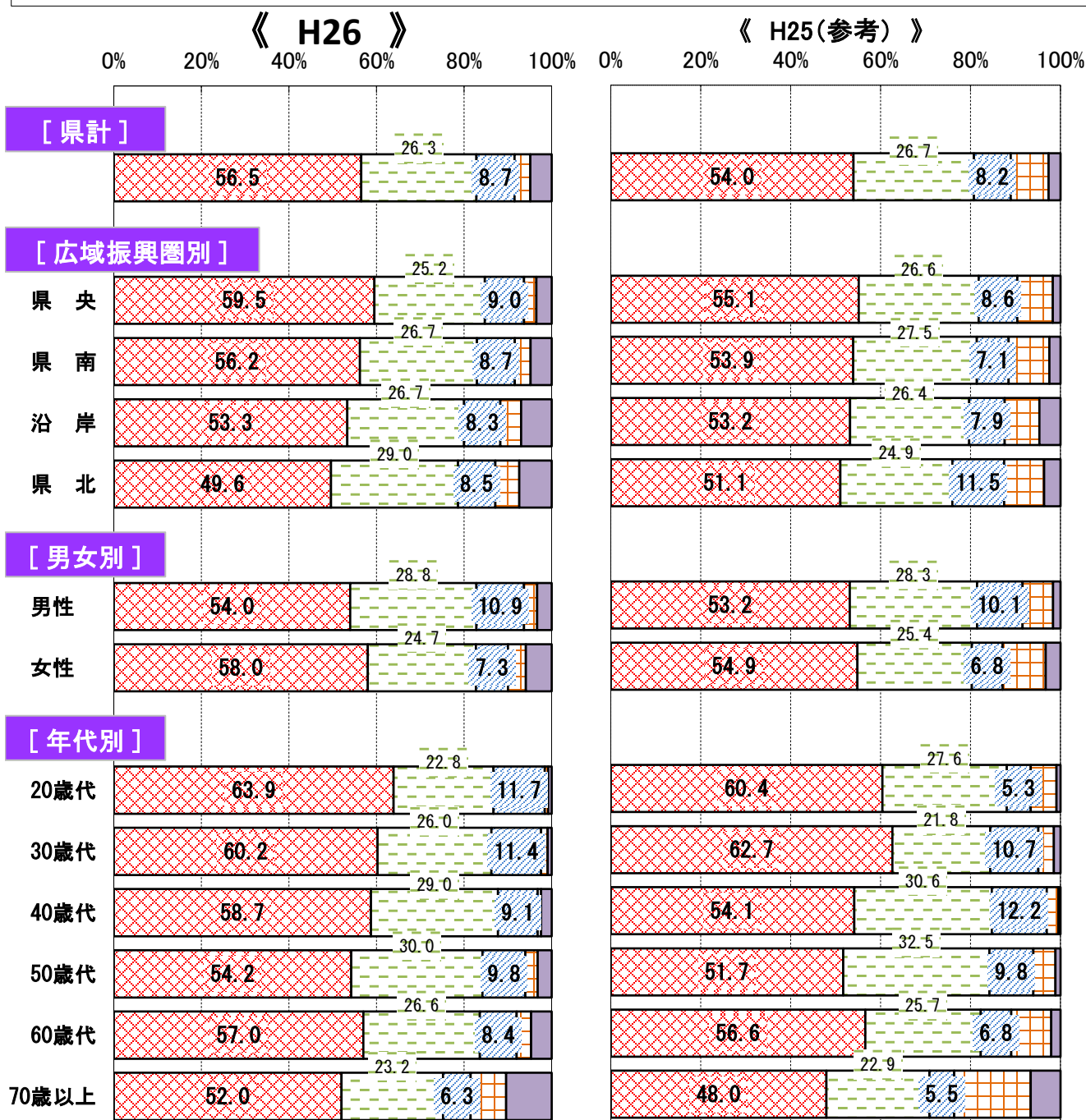
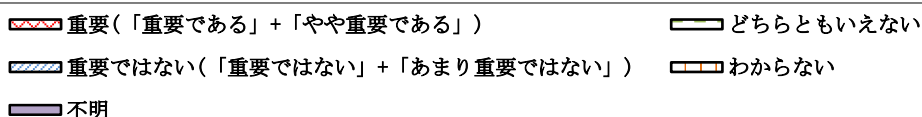


問2-36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。

(1) 重要度について

重要が6割弱(56.5%)

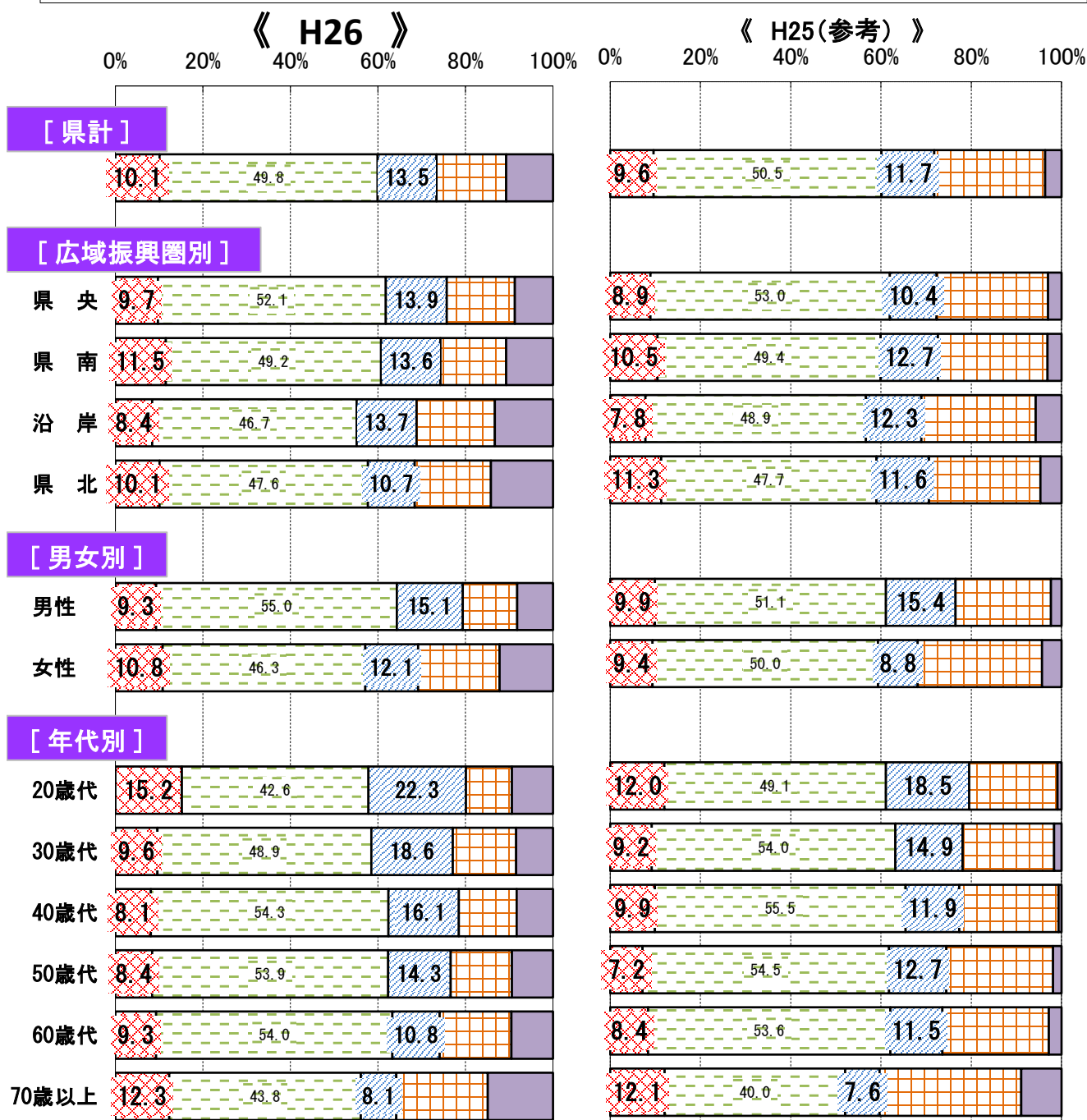
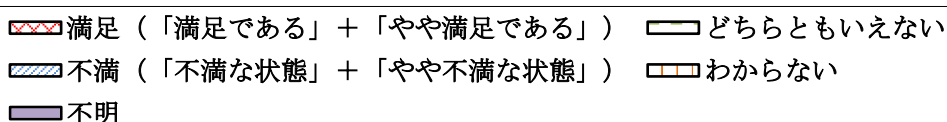
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が56.5%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が8.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の59.5%、最も低いのが県北の49.6%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を若干下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が10.1%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合13.5%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(11.5%)、男女別では女性(10.8%)、年代別では20歳代(15.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

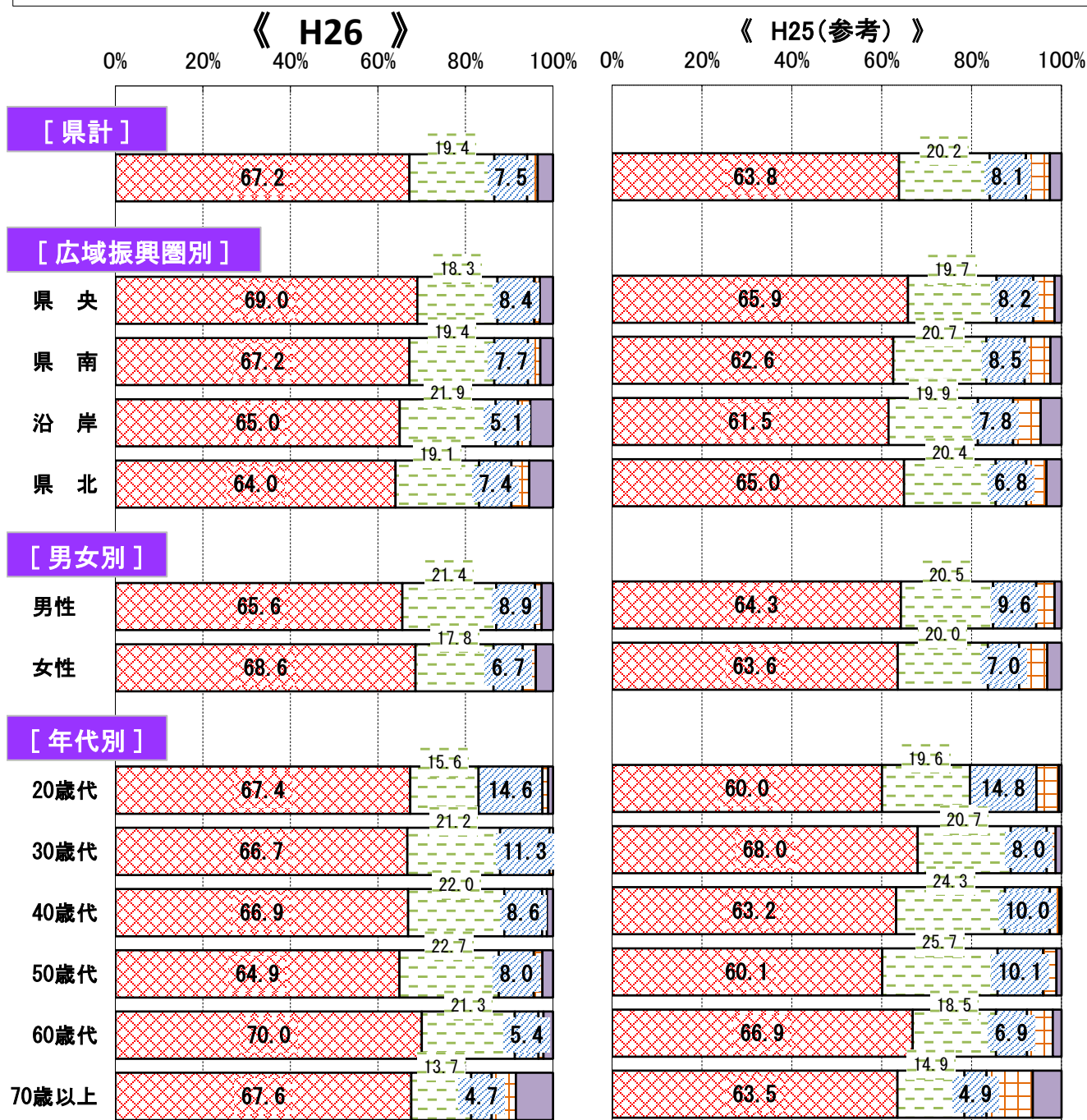
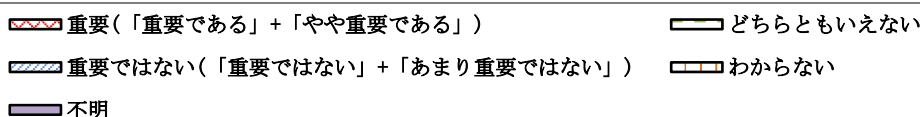


問2-37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(67.2%)

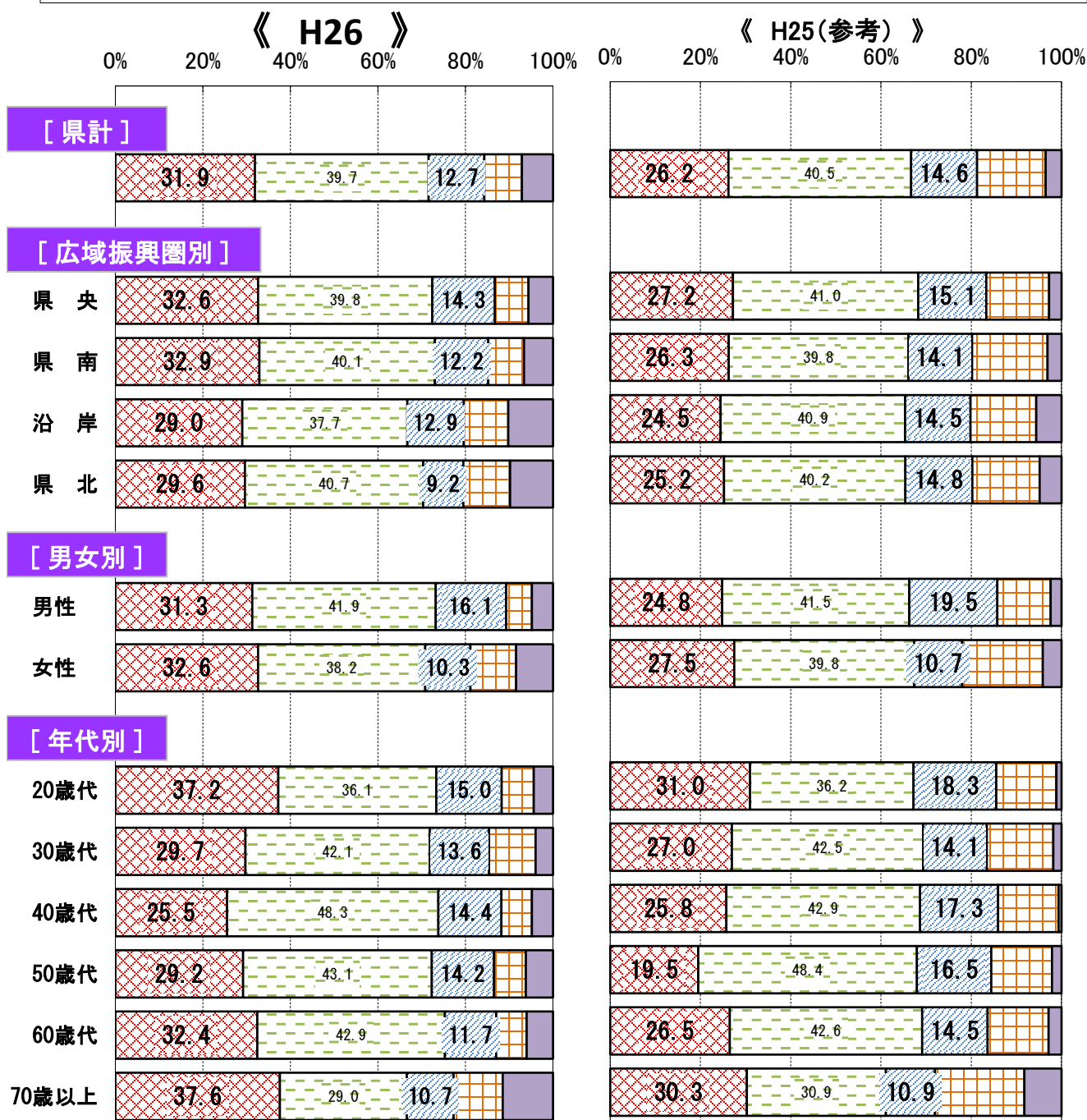
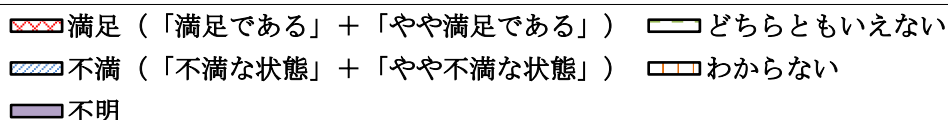
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が67.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が7.5%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の69.0%、最も低いのが県北の64.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が31.9%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合12.7%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(32.9%)、男女別では女性(32.6%)、年代別では70歳以上(37.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

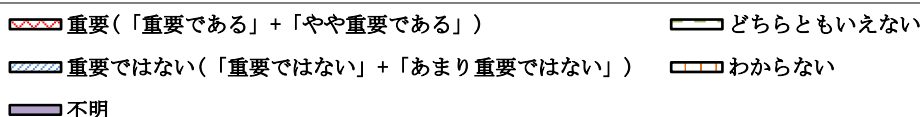


問2-38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出量削減の取組みが各地域で活発に行われていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(81.1%)

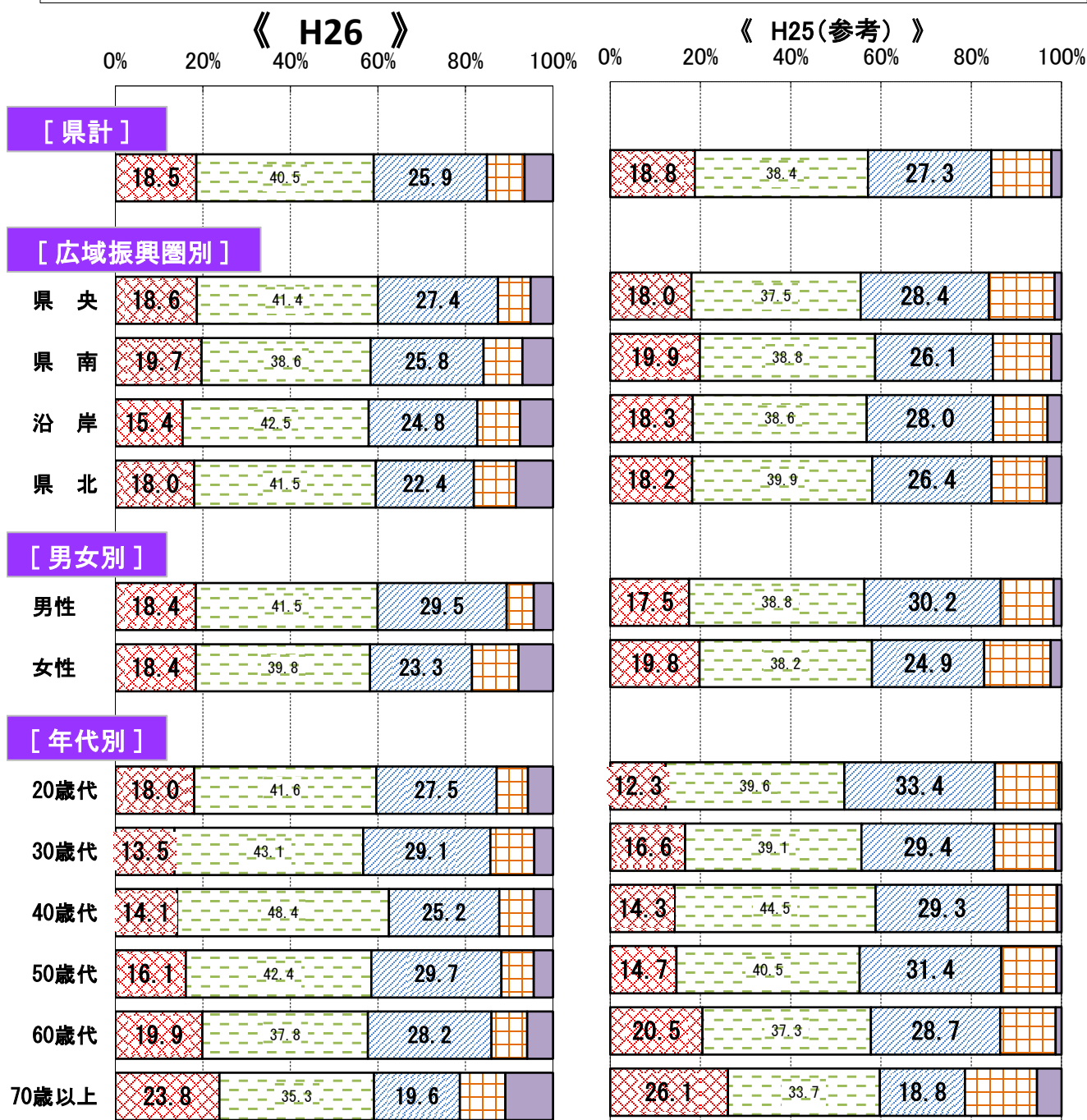
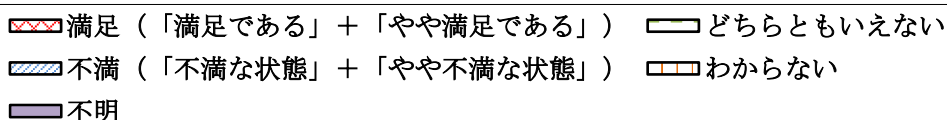
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が81.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の83.0%、最も低いのが県北の77.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.5%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合25.9%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(19.7%)、年代別では70歳以上(23.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

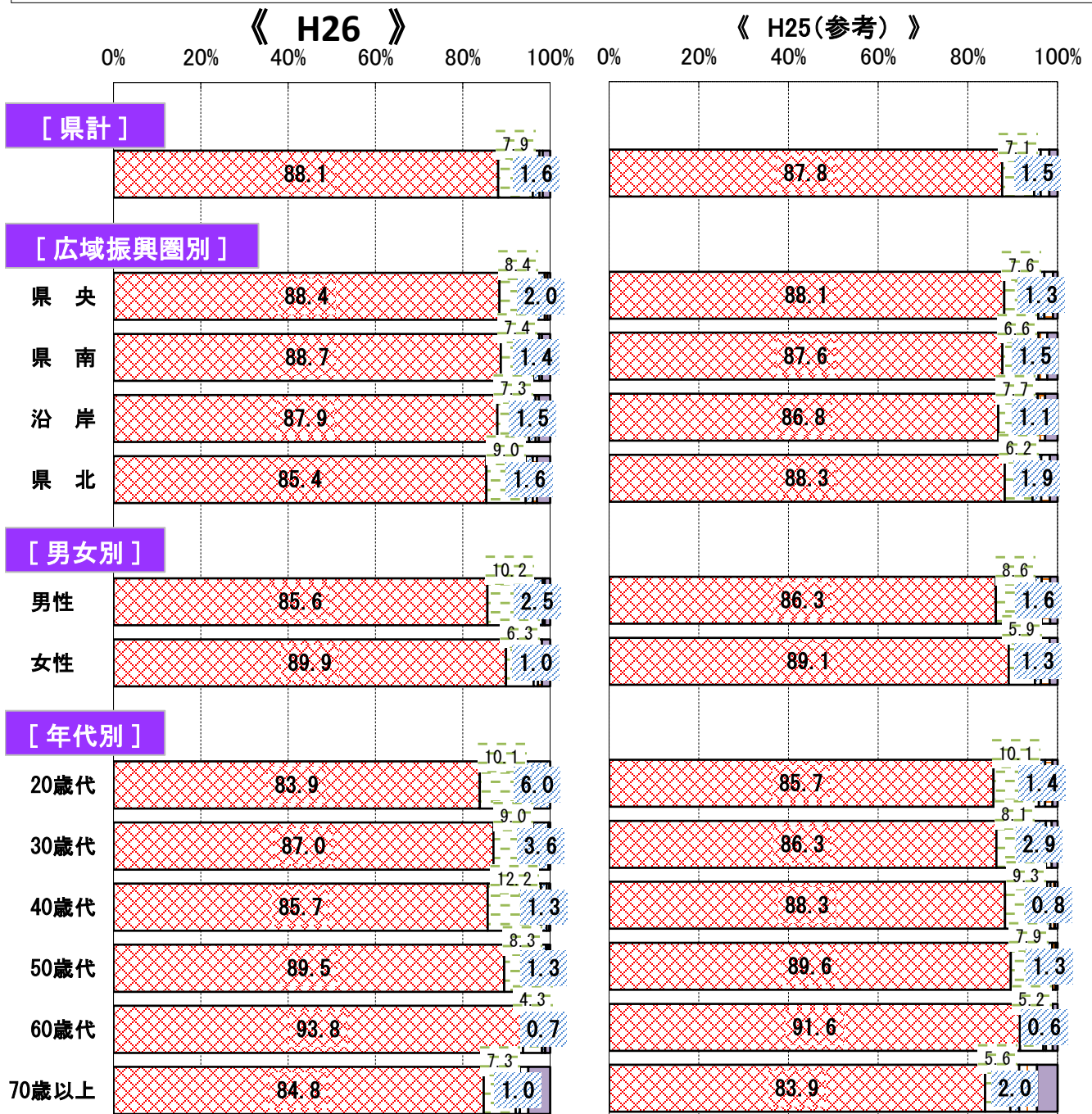
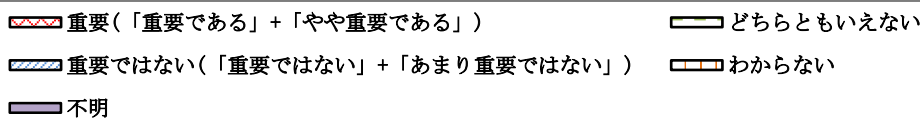


問2-39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(88.1%)

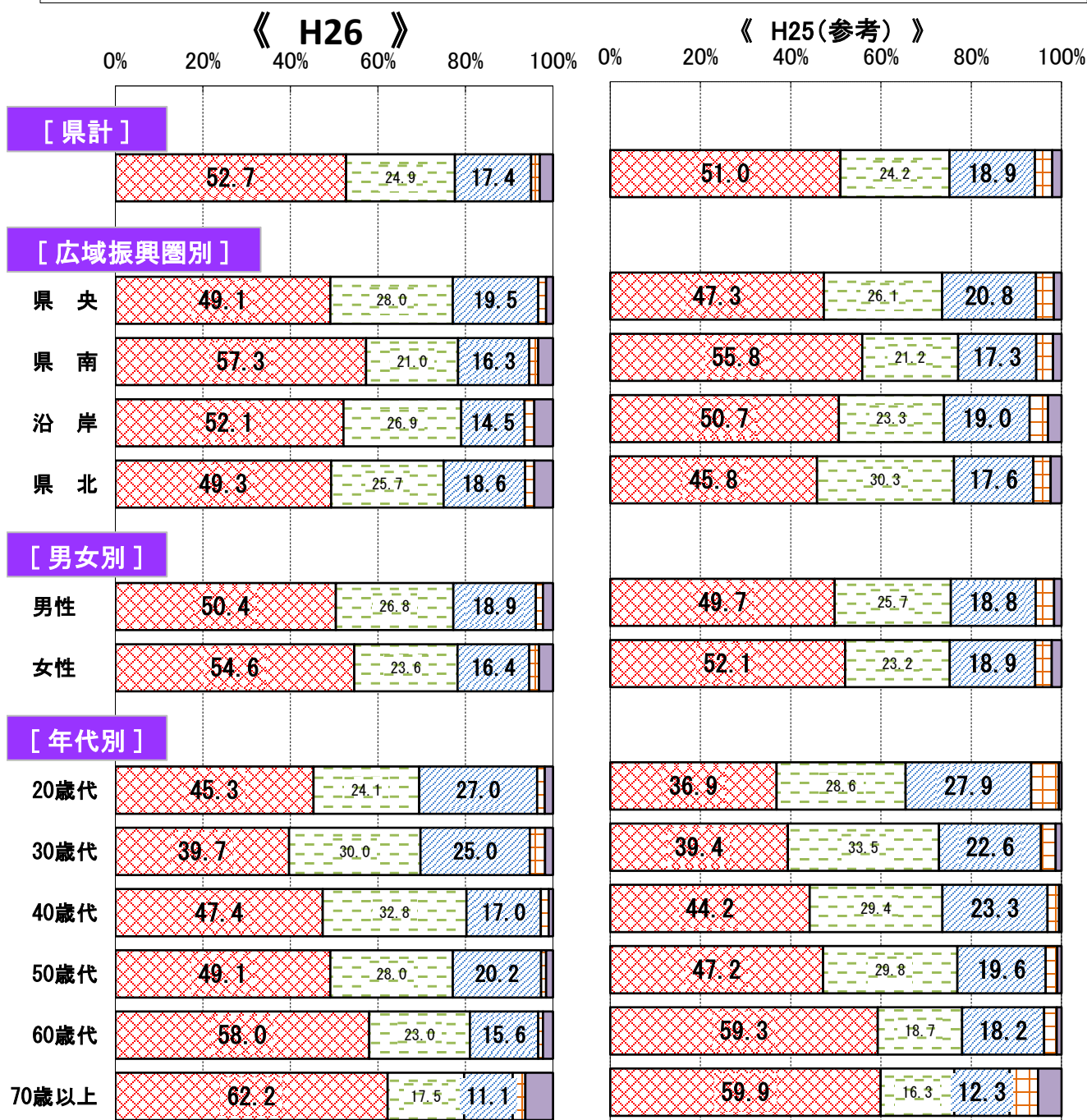
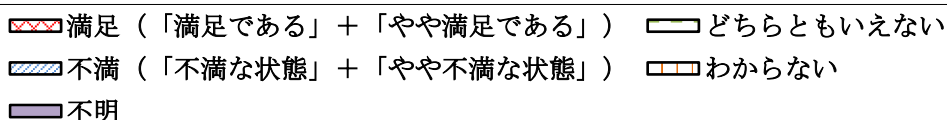
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が88.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.6%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の88.7%、最も低いのが県北の85.4%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が52.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合17.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(57.3%)、男女別では女性(54.6%)、年代別では70歳以上(62.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

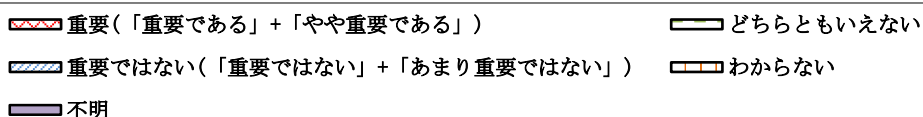


問2-40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(88.1%)

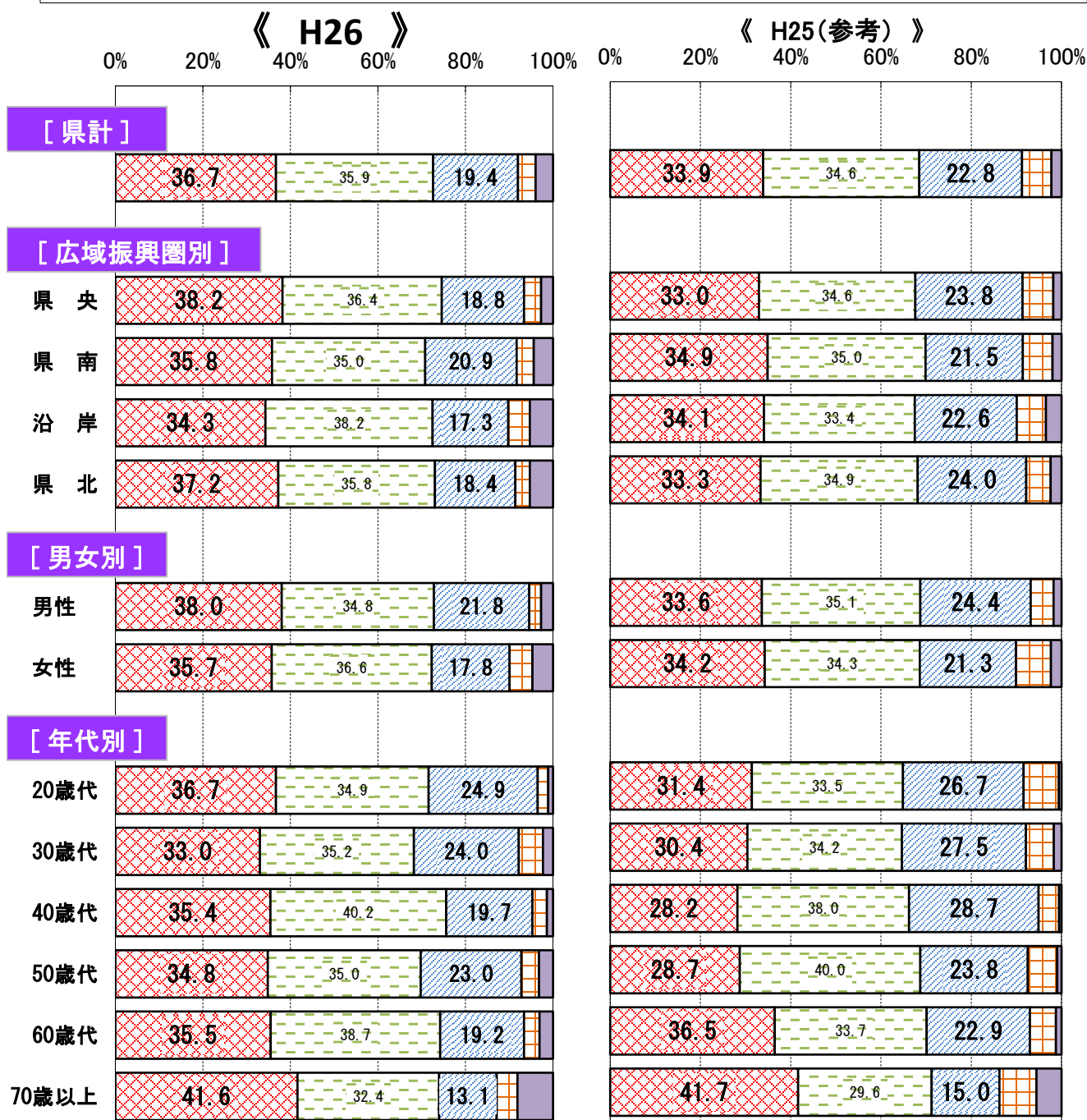
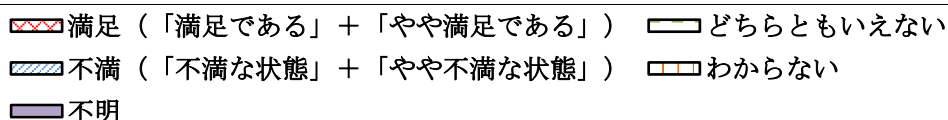
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が88.1%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の90.2%、最も低いのが県北の84.2%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が36.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合19.4%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(38.2%)、男女別では男性(38.0%)、年代別では70歳以上(41.6%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

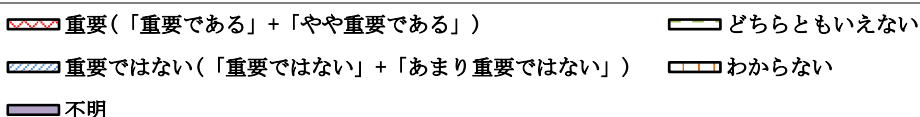


問2-41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。

(1) 重要度について

重要が8割強(82.2%)

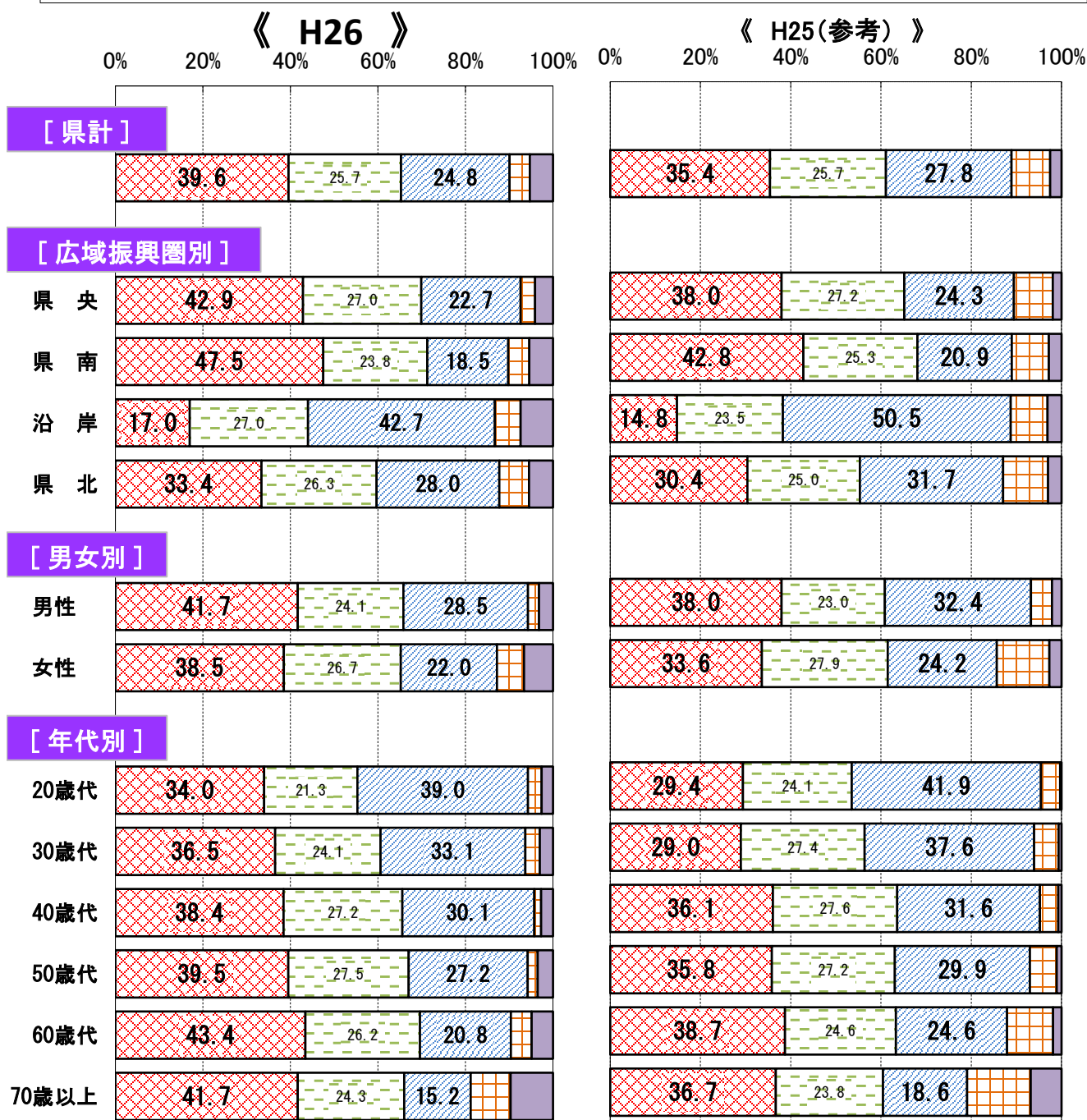
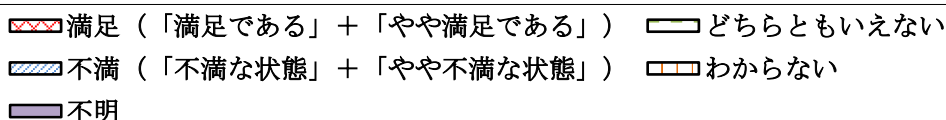
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が82.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が3.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の84.4%、最も低いのが県北の77.5%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が39.6%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合24.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南（47.5%）、男女別では男性（41.7%）、年代別では60歳代（43.4%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

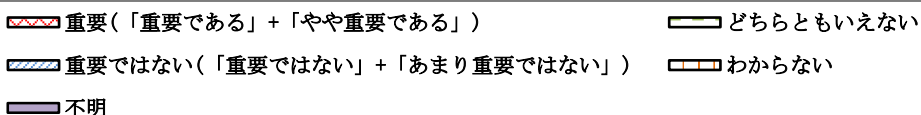


問2-42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。

(1) 重要度について

重要が9割弱(89.4%)

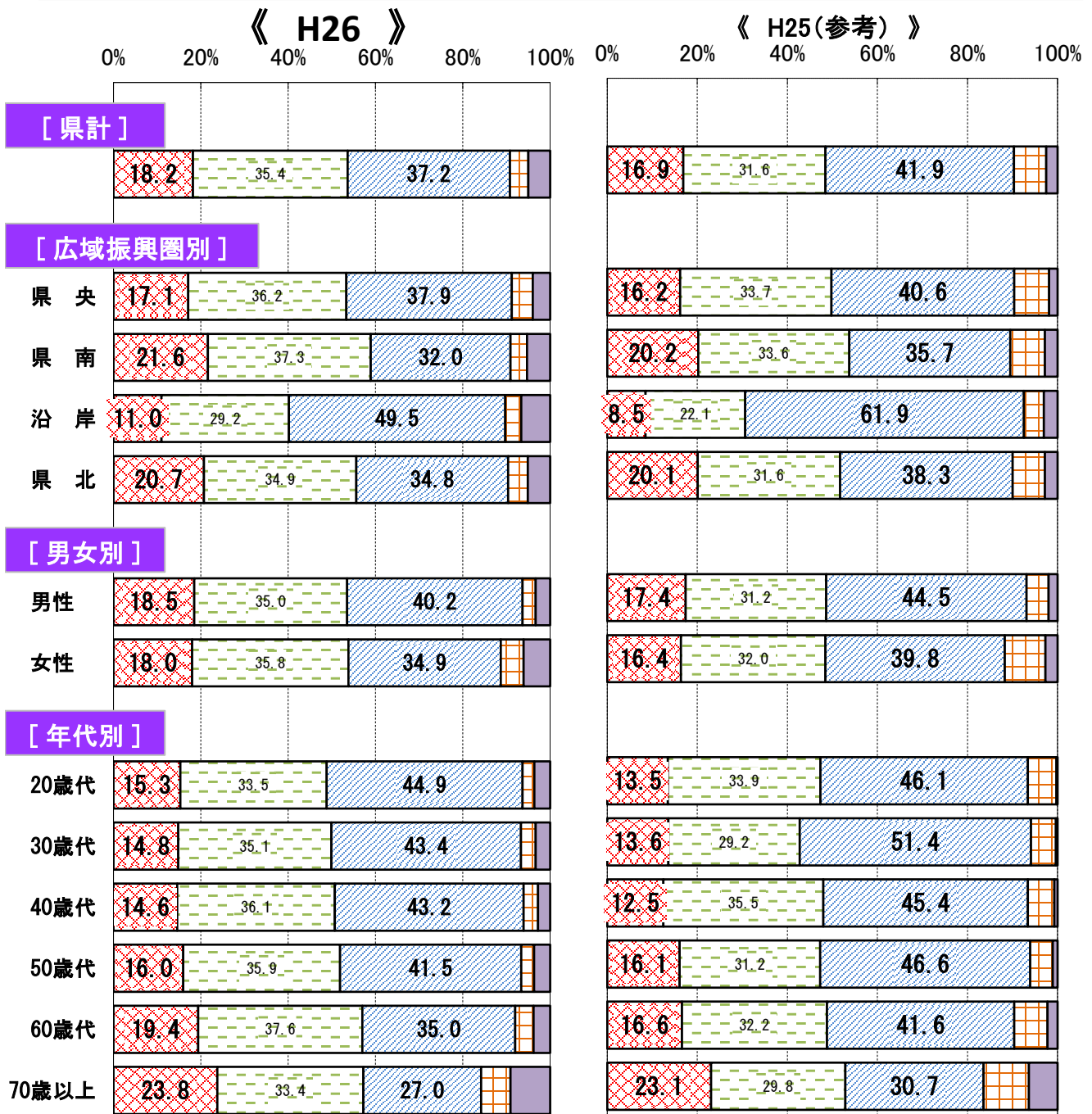
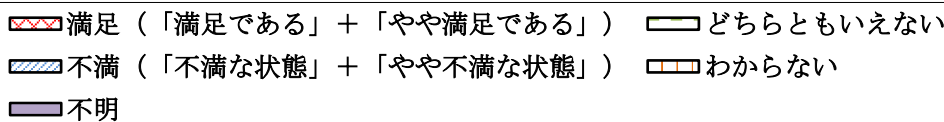
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が89.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.0%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県南の90.3%、最も低いのが県北の86.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が18.2%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合37.2%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県南(21.6%)、男女別では男性(18.5%)、年代別では70歳以上(23.8%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

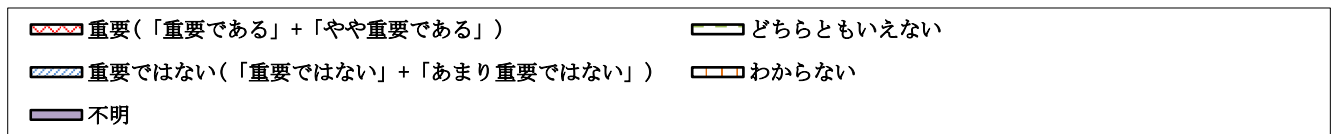


問2-43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化などが進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。

(1) 重要度について

重要が約85%(86.0%)

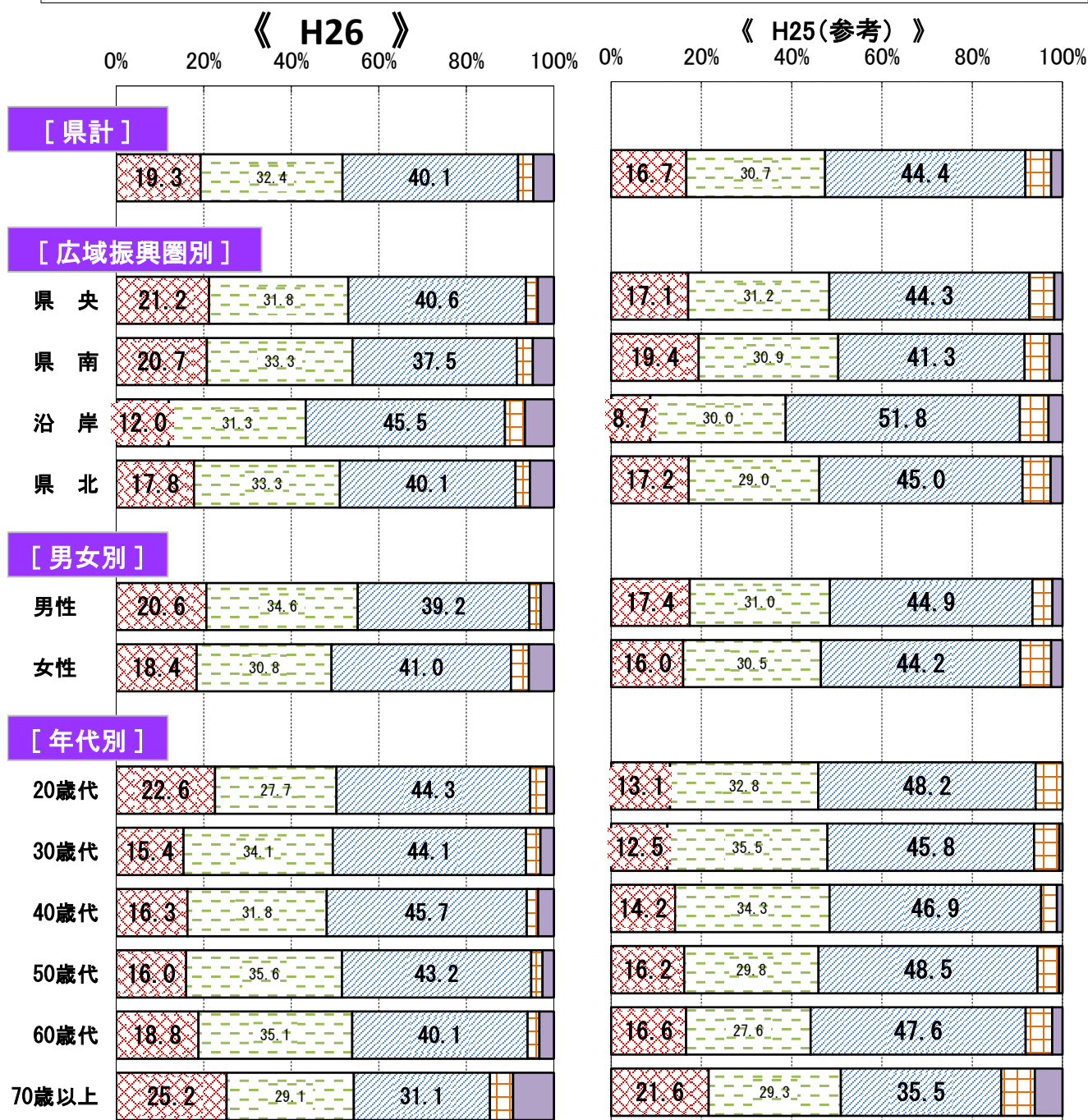
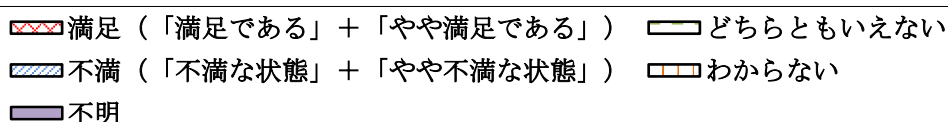
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が86.0%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.2%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.2%、最も低いのが県北の81.7%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を大きく下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が19.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合40.1%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(21.2%)、男女別では男性(20.6%)、年代別では70歳以上(25.2%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

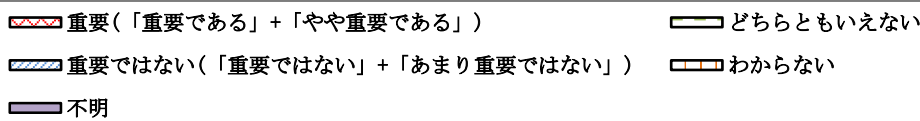


問2-44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。

(1) 重要度について

重要が約8割(80.2%)

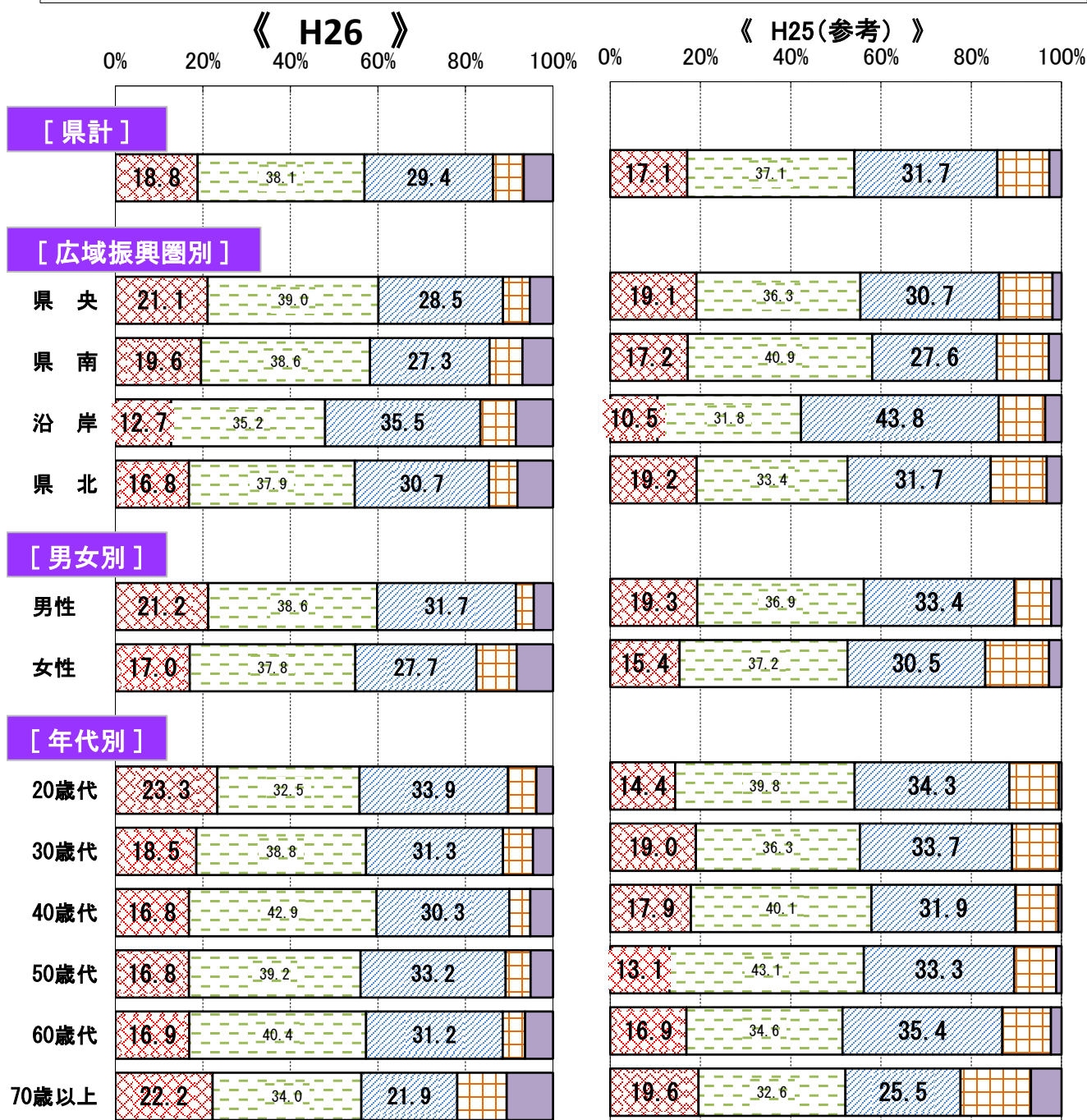
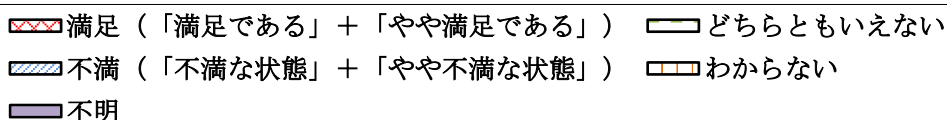
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が80.2%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が1.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の83.5%、最も低いのが沿岸の76.0%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が18.8%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合29.4%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央（21.1%）、男女別では男性（21.2%）、年代別では20歳代（23.3%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

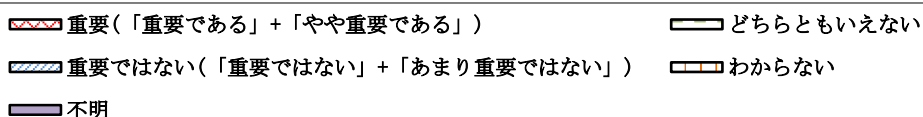


問2-45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。

(1) 重要度について

重要が約85% (85.4%)

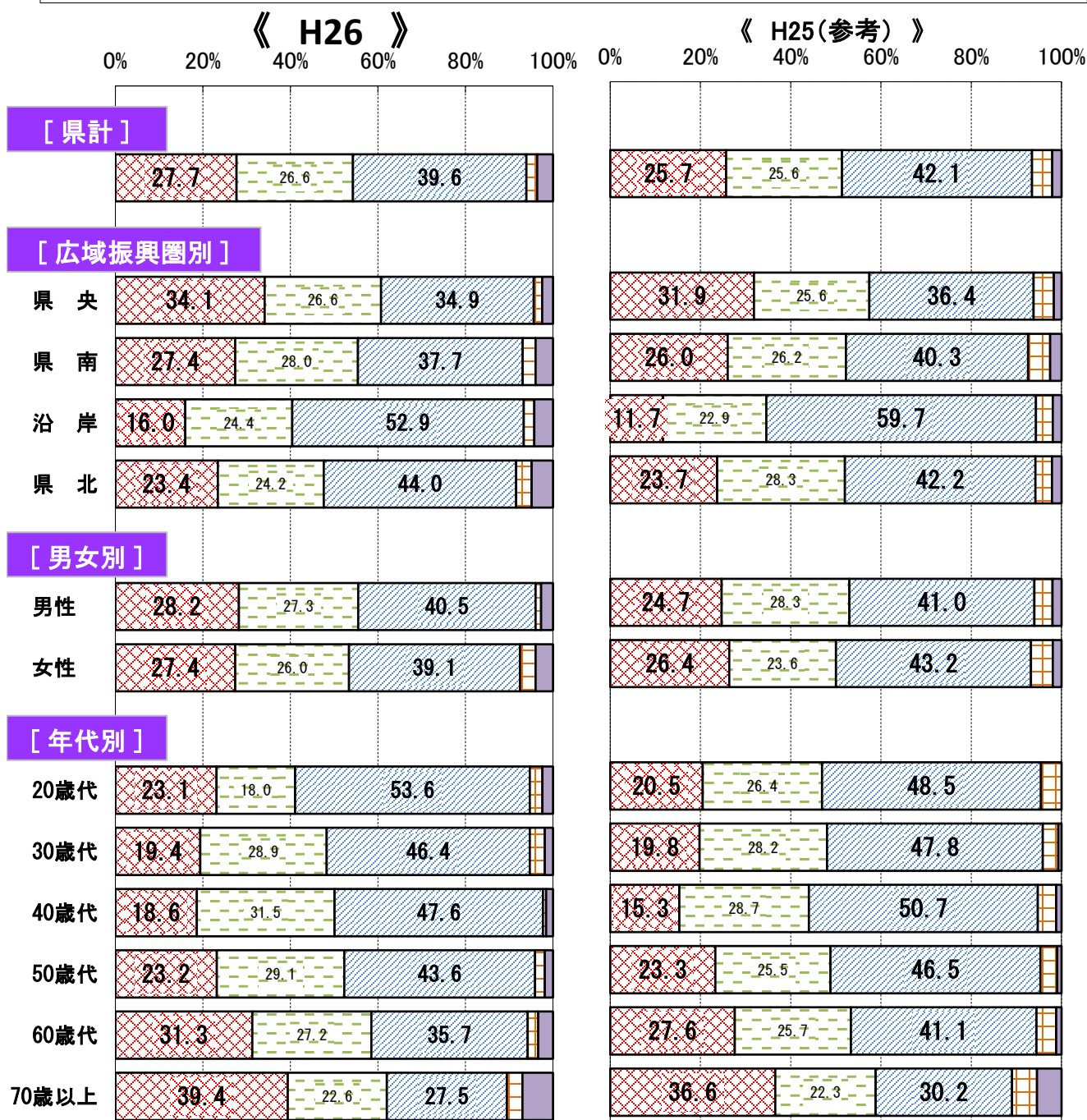
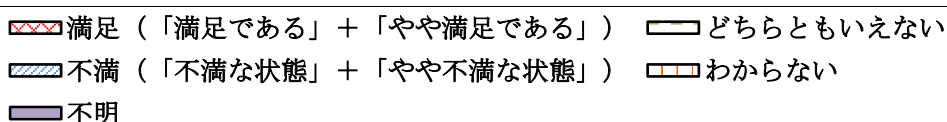
- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が85.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が2.4%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の88.6%、最も低いのが県北の82.9%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を下回る

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が27.7%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合39.6%を下回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央(34.1%)、男女別では男性(28.2%)、年代別では70歳以上(39.4%)において満足(「満足」+「やや満足」)の割合が高くなっている。

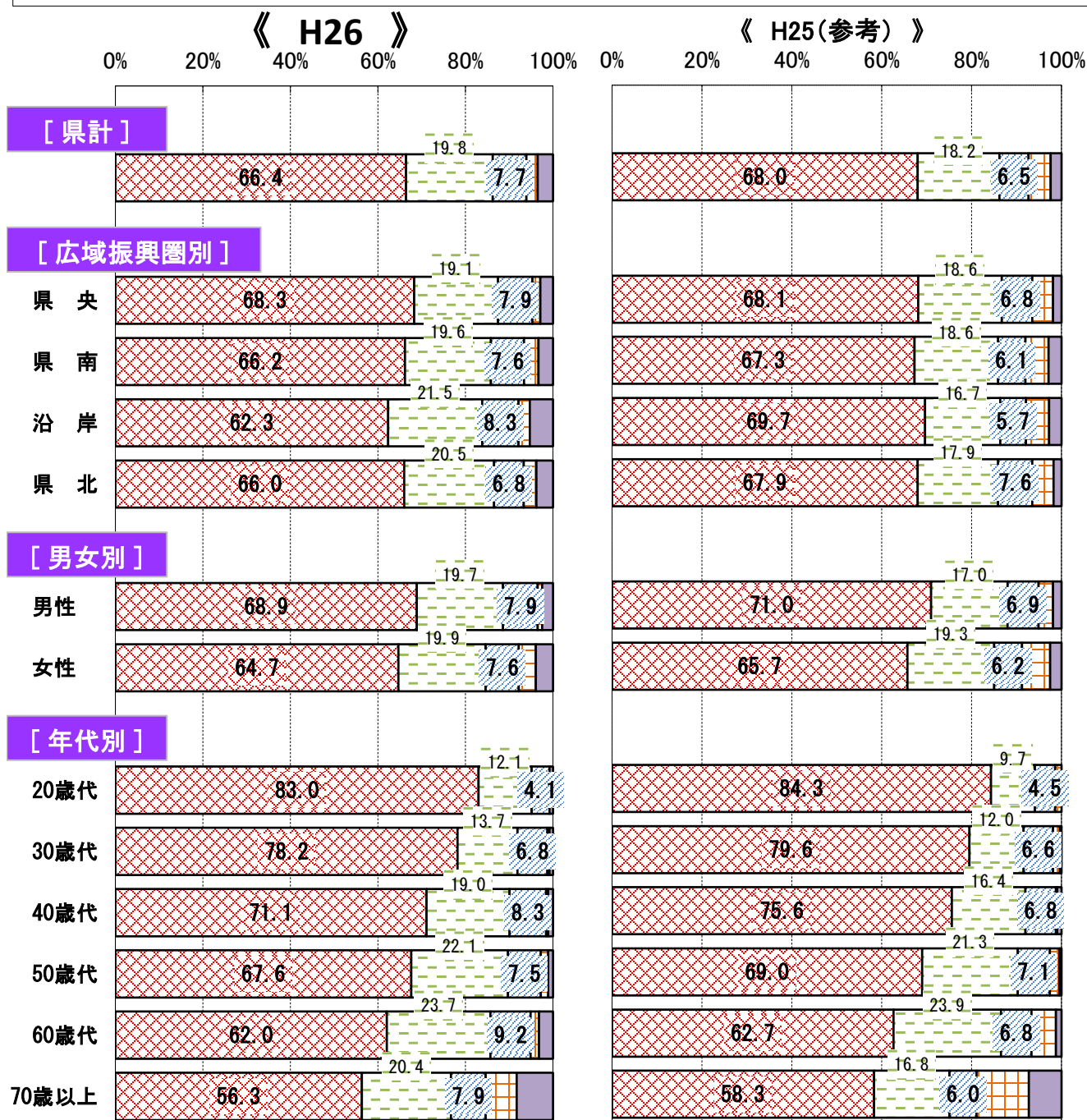
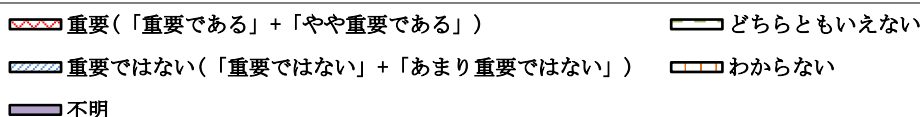


問2-46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に活かされていること。

(1) 重要度について

重要が7割弱(66.4%)

- 県計では、「重要(「重要である」+「やや重要である」)」が66.4%、「重要ではない(「重要ではない」+「あまり重要ではない」)」が7.7%となっている。
- 広域振興圏別では、重要の割合が最も高いのが県央の68.3%、最も低いのが沿岸の62.3%となっている。



(2) 満足度について

満足が不満を上回る

- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が30.4%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合14.8%を上回っている。
- 属性別にみると、広域振興圏別では県央（33.5%）、男女別では男性（33.3%）、年代別では20歳代（40.8%）において満足（「満足」+「やや満足」）の割合が高くなっている。

